

2017-業績一覧-臨床系講座

雑誌名	日本歯科大学生命歯学部研究年報
巻	2017
ページ	42-118
発行年	2018-10
URL	http://id.nii.ac.jp/1102/00000846/



1. 所属構成員等

教 授 五十嵐 勝
准 教 授 前田 宗宏
講 師 小倉 陽子 (4月～9月)
助 教 西田 太郎
臨 床 研 究 生 永島万理子
客 員 教 授 等 興地 隆史 (併任)
非 常 勤 講 師 後藤 浩, 石塚 克巳, 内山 誠也, 箕浦 孝昭, 高橋 千明,
長谷川和貴, 関口 晃弘, 久保田智也, 石川 泰, 依田 陽子,
立浪 秀幸, 小澤 稔史, 内山 浩平, 天野 亮子, 村田 美香,
前田 朋己, 小倉 陽子 (10月～3月)
大 学 院 生 吉田 和貴, 関谷 美貴, 小玉 裕樹, 杉田 浩一, 小柳 圭史,
三枝 慶祐, 宮下 葉月

2. 研究テーマ

- 1) 歯内療法用器材の開発 Development of endodontic instruments and materials.
- 2) 根管の拡大形成法に関する研究 Investigation of root canal preparation method.
- 3) 根管充填法に関する研究 Investigation of root canal obturation method.
- 4) 歯内療法用薬剤に関する研究 Investigation of endodontic agents.
- 5) 根管充填用セメント, 仮封材に関する研究 Investigation of root canal cement and hydraulic temporary sealing materials.
- 6) 歯髄炎症に関する研究 Investigation of pulp inflammation.
- 7) 歯内療法における創傷治癒に関する研究 Investigation of wound healing in endodontics.
- 8) 感染根管臭に関する研究 Investigation of malodorant in infected root canal.
- 9) Er:YAG レーザーの歯内療法分野への応用に関する研究 Application of Er:YAG laser for endodontics.
- 10) 歯内療法における予後に関する研究 Investigation of endodontic prognosis.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 吉田和貴, 楢円根管における回転および手用切削器具の切削効率の評価, 2018年2月6日, 日本歯科大学.
- 2) 関谷美貴, 単根管性槌状根管を有する樹脂製模型を用いた切削動作の異なる4種の拡大形成器具の評価, 2018年2月23日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

- 1) 日本歯科大学学内校友会新潟支部会 学術講演会, 新潟生命歯学部アイヴイホール, 2017年4月7日, 日本歯科大学学内校友会新潟支部会.

- 2) 平成29年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエートコース「これからはじめるマイクロスコープ診療—マイクロエンド初級—」, 日本歯科大学生命歯学部7階臨床実習室, 2017年8月27日, 日本歯科大学生命歯学部歯科保存学講座・新潟生命歯学部歯科保存学第1講座共催.
- 3) 日本歯内療法学会 JEA 市民公開セミナー2017 「歯も、いい根がいいね! ~歯は一生の友達、根は一生の支え~」, 時事通信ホール (東京都), 2017年10月1日, 一般社団法人日本歯内療法学会.
- 4) 新潟県歯科医師会 平成29年度エンド実技講習会, 2017年12月16日, 新潟生命歯学部マルチメディア実習室, 新潟県歯科医師会.

6. 国際交流状況

- 1) ノルウェーのベルゲン大学病理学講座 (Center for Cancer Biomarkers CCBIO and Gade Laboratory for Pathology, Department of Clinical Medicine, University of Bergen, Norway) と歯根膜から分離したマラッセ上皮細胞の上皮細胞の特性に関する研究を継続中である.

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 五十嵐勝 (分担執筆): 第2章 歯髄腔の解剖学, 10-25, 興地隆史・石井信之・小木曾文内 編集主幹, エンドドンティクス 第5版, 株式会社永末書店, 京都市, 2018年, ISBN: 978-4-8160-1340-9.

B. 原著

1. *吉田和貴, 前田宗宏, 勝海一郎, 五十嵐勝: 楕円根管における回転および手用切削器具の切削効率の評価, ○日歯保存誌, 2018; 61 (1): 30-39, doi: 10.11471/shikahozon.61.30. (学位論文)
*Yoshida K, Maeda M, Katsuumi I, Igarashi M: Evaluation of cutting efficiency by rotary and hand files in oval-shaped canals, ○日歯保存誌, 2018; 61 (1): 30-39, doi: 10.11471/shikahozon.61.30. (学位論文)
2. *Sekiya M, Maeda M, Katsuumi I, Igarashi M: Evaluation of Four Instruments with Different Working Motion Using Artificial Plastic Model with C-shaped Single Canal, ◎☆Odontology, 2018; doi: 10.1007/s10266-018-0348-3. [Epub ahead of print] (学位論文)
3. 山田理絵, 湊華絵, 北島佳代子, 新井恭子, 五十嵐勝: エンドレズをラット臼歯の根管充填に用いた後の根尖歯周組織の創傷治癒に関する組織学的観察, ○日歯保存誌, 2017; 60 (3): 170-177, doi: org/10.11471/shikahozon.60.170.
Yamada R, Minato H, Kitajima K, Arai K, Igarashi M: Histological observations of periapical healing after using EndoREZ for root canal obturation in rat molars, ○日歯保存誌, 2017; 60 (3): 170-177, doi: org/10.11471/shikahozon.60.170.
4. 新井恭子, 松田浩一郎, 山田理絵, 北島佳代子, 北野芳枝, 朝比奈壮郎, 五十嵐勝: Ni-Ti ロータリーファイルの切削能に関するマルチファイル法とシングルファイル法の比較, ○日歯保存誌, 2018; 61 (1): 40-47, doi: org/10.11471/shikahozon.61.40.
Arai K, Matsuda K, Yamada R, Kitajima K, Kitano Y, Asahina T, Igarashi M: A comparison of canal

preparation with nickel-titanium and stainless steel instruments, ○日歯保存誌, 2018 ; 61 (1) : 40-47, doi : org/10.11471/shikahozon.61.40.

5. Kitajima K, Yamada R, Minato H, Arai K, Igarashi M : RAT MOLAR ROOT CANAL TREATMENT CARRIED OUT UNDER A DENTAL MICROSCOPE, ○Int. J. Microdent., 2017 ; 8 (2) : 110-114.

C. 総説・解説

1. 五十嵐勝, 北島佳代子 : 歯根未完成歯の歯内療法のお考え方, 日歯保存誌, 60 (4) : 191-196, 2017.
2. 前田宗宏, 五十嵐勝 : デンツプライシロナの NiTi ロータリーファイルの変遷, 日歯理工誌, 37 (1) : 13-14, 2018.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 前田宗宏 (分担執筆), 五十嵐勝 (分担執筆) : 6章 01 根管消毒の変遷, 北村和夫 編著, 歯内療法レベルアップ&ヒント, 86-89, 2017.
2. 北島佳代子, 五十嵐勝 : 歯根未完成歯の生活歯髄への対応, 日本歯科評論, 77 (9) : 69-78, 2017.
3. 五十嵐勝, 前田宗宏, 北島佳代子, 小倉陽子 : ポストグラデュエート・コース これから始めるマイクロスコープ診療—マイクロエンド初級—, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (2) : 1-6, 2017.
4. 北島佳代子, 五十嵐勝 : クリニカル・トピックス 今日の根管治療, 新歯界, 11 : 22-24, 2017.
5. 五十嵐勝 : 治療に導くエンドの秘訣—最新エンド症例集 (12) 根管狭窄を伴う根尖性歯周疾患の治療, 日本歯科評論, 77 (12) : 14-17, 2017.
6. 五十嵐勝, 北島佳代子, 新井恭子 : 歯冠歯根破折を伴う上顎小白歯に対する根管再接着法と意図的再植術の応用, ○日歯内療誌, 38 (2) : 114-121, 2017, doi : org/10.20817/jeajournal.38.2_114. Igarashi M, Kitajima K, Arai K : Application of internal adhesive therapy and intentional replantation for maxillary premolars with crown/root fracture, ○日歯内療誌, 38 (2) : 114-121, 2017, doi : org/10.20817/jeajournal.38.2_114.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 山田理絵, 湊 華絵, 新井恭子, 北島佳代子, 五十嵐勝 : 歯科用顕微鏡下で行ったラット臼歯根管治療の組織学的評価—エンドレズ—, 日本顕微鏡歯科学会第 14 回学術大会プログラムおよび講演抄録集, 53, 2017. (東京, 2017 年 4 月 15 日)
2. Nishida T, Ogura Y, Maeda M : Consideration of access cavity preparation on mandibular incisor by using preparation guide, AAE17, New Orleans, 2017.04.27, <https://www.eventscribe.com/2017/AAE17/agenda.asp?h=Table Clinics&BCFO=TC>. (cited 2018.04.03)
3. 湊 華絵, 新井恭子, 北島佳代子, 山田理絵, 五十嵐勝 : ラットの歯根未完成臼歯の抜髄後に行ったりバスクラリゼーション, 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 49, 2017, (青森市, 2017 年 6 月 9 日) http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_146.html. (引用 2017 年 11 月 28 日)
4. 西田太郎, 石田祥己, 小倉陽子, 前田宗宏, 宮坂 平, 勝海一郎 : ガイドを使用した下顎切歯の髓室開拓位置による根管湾曲の変化, 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回) プ

- プログラムおよび講演抄録集, 123, 2017, (青森市, 2017年6月9日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_146.html. (引用2017年11月28日)
5. 関谷美貴, 前田宗宏, 勝海一郎: ヒト抜去歯 STL データから作製した槌状根管模型ブロックによる根管拡大形成の評価, 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 126, 2017, (青森市, 2017年6月9日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_146.html. (引用2017年11月28日)
 6. 吉田和貴, 前田宗宏, 西田太郎, 勝海一郎: 偏平根管における拡大形成の評価, 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 127, 2017, (青森市, 2017年6月9日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_146.html. (引用2017年11月28日)
 7. 前田宗宏, 橋本修一, 勝海一郎: ポリスチレン添加ユージノール濃度低減酸化亜鉛ユージノールセメント (PS-OSP) の物性について, 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 135, 2017, (青森市, 2017年6月9日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_146.html. (引用2017年11月28日)
 8. 新井恭子, 北島佳代子, 五十嵐勝: 垂直性歯根破折を伴う下顎大臼歯に対する根管内接着法と意図的再植術の応用, 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 149, 2017, (青森市, 2017年6月9日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_146.html. (引用2017年11月28日)
 9. 北島佳代子, 新井恭子, 五十嵐勝: 歯根破折を伴う上顎大臼歯に対する根管内接着法と意図的再植術の応用, 第 38 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 100, 2017. (東京, 2017年7月22日)
 10. 関谷美貴, 前田宗宏, 五十嵐勝: ヒト抜去歯 STL データから作製した槌状根管模型ブロックの拡大形成評価, 第 38 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 107, 2017. (東京, 2017年7月22日)
 11. 吉田和貴, 前田宗宏, 西田太郎, 五十嵐勝: 偏平根管における各種拡大形成の根管壁切削率の評価, 第 38 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 109, 2017. (東京, 2017年7月22日)
 12. 湊 華絵, 新井恭子, 北島佳代子, 山田理絵, 五十嵐勝: ラットの歯根未完成歯に行ったりバスクラリゼーションの組織学的観察, 第 38 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 131, 2017. (東京, 2017年7月22日)
 13. 北島佳代子, 湊 華絵, 新井恭子, 五十嵐勝: 意図的再植術を応用した垂直性歯根破折歯の根管内接着療法の後研修用 VTR 教材の製作, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 40, 2017, (松本市, 2017年7月28・29日)
<http://www.lynx-dent.com/jdea36/programposter.pdf>. (引用2017年11月28日)
 14. 西田太郎, 石田祥己, 小倉陽子, 前田宗宏, 宮坂 平, 五十嵐勝: ガイドを使用した下顎切歯の髓室開拓時の歯質切削率の比較, 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 147 回) プログラムおよび講演抄録集, 176, 2017, (盛岡市, 2017年10月27日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_147.html. (引用2017年11月28日)
 15. 関谷美貴, 前田宗宏, 勝海一郎, 五十嵐勝: ヒト抜去歯 STL データから作製した根管模型ブロックによる槌状根管の拡大形成評価, 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 147 回) プログラムおよび講演抄録集, 178, 2017, (盛岡市, 2017年10月27日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_147.html. (引用2017年11月28日)

16. 清水公太, 湊 華絵, 北島佳代子, 新井恭子, 横須賀孝史, 佐藤友則, 松田浩一郎, 山田理絵, 五十嵐勝: RECIPROC® direct を使用した根管拡大の作業時間と荷重および形成域に関する研究, 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 147 回) プログラムおよび講演抄録集, 179, 2017, (盛岡市, 2017 年 10 月 27 日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_147.html. (引用 2017 年 11 月 28 日)
17. 前田宗宏, 橋本修一, 五十嵐勝: 血清中への浸漬がポリスチレン添加ユージノール濃度低減酸化亜鉛ユージノールセメント (PS-OSP) の物性に及ぼす影響について, 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 147 回) プログラムおよび講演抄録集, 186, 2017, (盛岡市, 2017 年 10 月 27 日)
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_147.html. (引用 2017 年 11 月 28 日)
18. 関谷美貴, 前田宗宏, 勝海一郎, 五十嵐勝: 槌状根管模型ブロックを用いた拡大形成におけるファイル操作法の比較, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 15, 2017. (東京, 2017 年 12 月 9 日)
19. 湊 華絵, 新井恭子, 北島佳代子, 山田理絵, 清水公太, 五十嵐勝: 歯内療法の実験的研究へのラット臼歯の応用, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 18, 2017. (東京, 2017 年 12 月 9 日)

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 五十嵐勝: 根管の探索と形成, 永田歯科医院月例講演会, 品川区, 2017 年 4 月 22 日.
2. 五十嵐勝: どう対応する根管治療難症例, 日本歯科大学広島県校友会講演会, 広島市, 2017 年 5 月 28 日.
3. 前田宗宏: 歯内療法の基本的な考え方, 平成 29 年度和歌山県日本歯科大学校友会学術講演会, 和歌山市, 2017 年 7 月 31 日.
4. 五十嵐勝: 確実性の高い歯内療法実践のための技術革新, 日本歯科大学校友会東海地区歯学研修会, 名古屋市, 2017 年 10 月 15 日.
5. 五十嵐勝: 歯内療法の治療計画・記録・予後観察, 日本歯内療法学会 2017 年度学会認定臨床研修会, 大阪市, 2017 年 12 月 10 日.
6. 五十嵐勝: 根管治療時の各ステップにおける留意点, 日本歯科大学東京都北多摩校友会, 国分寺市, 2018 年 2 月 24 日.

1. 所属構成員等

教 授 奈良陽一郎
准 教 授 柵木 寿男
助 教 前野 雅彦
非常勤講師 杉山 征三, 森 のり子, 貴美島 哲, 吉村 英則, 中村 昇司,
長倉 弥生, 江黒 徹, 原 学, 山田 正, 石井 詔子,
小川信太郎, 丸山沙絵子
大学院生 村田 卓也, 林 孝太郎, 越田 清祐, 河本 芽, 鵜田 智重

2. 研究テーマ

- 1) 次世代低侵襲性接着修復法の確立に向けた基礎的臨床的評価検討 Basic and clinical examination for the establishment of next generation MI restoration.
- 2) 革新的デジタルレストレーションシステムの構築を見据えた総合的評価検討 Comprehensive investigation of the innovative digital restoration system.
- 3) メタルフリー接着修復による高品位審美性の具現化 Realization of the high-definition aesthetic treatment with metal-free adhesive restoration.
- 4) 審美的修復材料の *in vivo/in vitro* 接着評価 *In vivo/in vitro* bonding examination of aesthetic restorative materials.
- 5) 口腔内環境想定複合ストレス条件下における接着挙動の究明 Investigation of bonding behaviors under combination stress simulating intra-oral environment.
- 6) 新規修復用器材の開発と評価検討 Development and investigation of new restorative materials.
- 7) 非破壊接着評価法の探究 Investigation of non-destructive evaluation.
- 8) 非回転切削法による新規修復法の考究 Development of new restorative technique without rotating preparation.
- 9) 歯質との親和・一体化を図ったバイオアドヒージョンの創生 Revitalization of bio-adhesion for the affinity of tooth substance.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 村田卓也, 即時象牙質シーリングの応用方法が CAD/CAM セラミックアンレー修復の接着に及ぼす影響, 平成 30 年 2 月 23 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 共同研究: 奈良陽一郎, 柵木寿男, 前野雅彦, 河合貴俊, 村田卓也, 林 孝太郎, 越田清祐, 河本 芽, 鵜田智重とハーバード大学歯学部 I.L. Dogon 教授および S. Nagai 准教授 (アメリカ合衆

国)との共同研究,「次世代修復に関する基礎的臨床的研究」,1985年より継続中.

- 2) Dental Consultant in Dental Education for Project HOPE 委任:奈良陽一郎, Dental Education for Project HOPE (アメリカ合衆国, 米国保健政策機関 Project HOPE)としての委任, 2000年より継続中.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~29 年度, 蛍光色素を用いた非侵襲的色素浸透試験法による接着性修復の辺縁封鎖性検討, 柵木寿男 (代表), 山瀬 勝 (分担), 新田俊彦 (分担), 代田あづさ (分担), 前野雅彦 (分担), 河合貴俊 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 650,000 円.
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~31 年度, デジタルおよびアナログ方式によるメタルフリー歯冠修復に対する質的・量的接着評価, 奈良陽一郎 (代表), 柵木寿男 (分担), 前野雅彦 (分担), 河合貴俊 (分担), 新田俊彦 (分担), 山瀬 勝 (分担), 4,550,000 円, 平成 29 年度 1,300,000 円.
- 3) 企業委託研究費・デンツプライシロナ株式会社 (新規), 平成 30 年 1 月 1 日~平成 30 年 12 月 31 日, 弊社製品の接着性・審美性・操作性 等に関わる評価検討, 奈良陽一郎 (代表), 柵木寿男 (分担), 前野雅彦 (分担), 林 孝太郎 (分担), 越田清祐 (分担), 河本 芽 (分担), 鴫田智重 (分担), 河合貴俊 (分担), 山瀬 勝 (分担), 1,000,000 円.
- 4) 企業委託研究費・クラレノリタケデンタル株式会社 (新規), 平成 30 年 1 月 1 日~平成 31 年 12 月 31 日, 試作品の評価およびボンディング, CR, セメント分野における製品の評価, 奈良陽一郎 (代表), 柵木寿男 (分担), 前野雅彦 (分担), 林 孝太郎 (分担), 越田清祐 (分担), 河本 芽 (分担), 鴫田智重 (分担), 河合貴俊 (分担), 新田俊彦 (分担), 1,000,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

- 1) 1) 奈良陽一郎, 河合貴俊 (分担執筆): 8. Minimum Intervention, 82-91, 接着歯学のための重要 13 キーワードベスト 240 論文, 矢谷博文, 峯 篤史, 奈良陽一郎, 坪田有史, 木本克彦, 二瓶智太郎, 星 憲幸 著者, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7812-0572-4.
- 2) 柵木寿男, 前野雅彦 (分担執筆): 10. Resin Composite Restoration, 102-111, 接着歯学のための重要 13 キーワードベスト 240 論文, 矢谷博文, 峯 篤史, 奈良陽一郎, 坪田有史, 木本克彦, 二瓶智太郎, 星 憲幸 著者, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7812-0572-4.
- 3) 奈良陽一郎 (分担執筆): 4 グラスアイオノマーセメント, 149, 8 サンドイッチテクニック, 151, 9 リペアテクニック, 152, 接着歯学のための重要 13 キーワードベスト 240 論文, 矢谷博文, 峯 篤史, 奈良陽一郎, 坪田有史, 木本克彦, 二瓶智太郎, 星 憲幸 著者, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7812-0572-4.
- 4) 柵木寿男 (分担執筆): 6 ユニバーサルアドヒーシブ/マルチユースアドヒーシブ, 150, 7 トータルエッチング, 151, 34 レジン修復に使用する材料, 181, 接着歯学のための重要 13 キーワードベスト 240 論文, 矢谷博文, 峯 篤史, 奈良陽一郎, 坪田有史, 木本克彦, 二瓶智太郎, 星 憲幸 著者, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7812-0572-4.
- 5) 前野雅彦 (分担執筆): 2 エッチアンドリンスシステム, 148, 3 セルフエッチングシステム, 148, 5 ワンステップアドヒーシブ, 150, 接着歯学のための重要 13 キーワードベスト 240 論

- 文, 矢谷博文, 峯 篤史, 奈良陽一郎, 坪田有史, 木本克彦, 二瓶智太郎, 星 憲幸 著者, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0572-4.
2. 1) 奈良陽一郎 (分担執筆) : Chapter 10 窩洞, 52-59, Chapter 14 コンポジットレジン修復, 95-109, Chapter 17 コンポジットレジンインレー, 130-133, Chapter 20 合着・接着・歯髄保護に用いるセメント, 146-153, 歯科国試パーフェクトマスター, 奈良陽一郎, 柵木寿男 著者, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45809-9.
 - 2) 柵木寿男 (分担執筆) : Chapter 1 歯の構造と加齢による変化, 1-6, Chapter 3 齲蝕の病因と病態, 13-17, Chapter 4 齲蝕の予防・管理, 18-21, Chapter 5 滅菌・消毒と感染対策, 22-25, Chapter 7 齲蝕の治療, 32-35, Chapter 8 非齲蝕性硬組織疾患の治療, 36-46, Chapter 14 コンポジットレジン修復, 86-95, Chapter 16 メタルインレー修復, 124-129, 歯科国試パーフェクトマスター, 奈良陽一郎, 柵木寿男 著者, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45809-9.
 - 3) 前野雅彦 (分担執筆) : Chapter 6 口腔検査, 26-31, Chapter 9 硬組織の切削, 47-51, Chapter 15 グラスアイオノマーセメント修復, 110-116, Chapter 16 メタルインレー修復, 117-123, Chapter 18 セラミックインレー修復, 134-142, 歯科国試パーフェクトマスター, 奈良陽一郎, 柵木寿男 著者, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45809-9.

B. 原 著

1. *Murata T, Maseki T, Nara Y : Effect of immediate dentin sealing applications on bonding of CAD/CAM ceramic onlay restoration, ◎☆Dent. Mater. J., 2018 ; doi : 10.4012/dmj.2017-377. (学位論文)

C. 総説・解説

1. 奈良陽一郎 : 変貌を遂げる歯科医師国家試験—平成 30 年版 歯科医師国家試験出題基準<改定案>を受けて—, 日本歯科医学教育学会雑誌, 33 : 1-3, 2017.
2. 奈良陽一郎 : ホワイトニングコーディネーター その役割と取り組み, 一般社団法人日本歯科審美学会 ホワイトニングコーディネーター講習会テキスト 第 12 版, 3, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 柵木寿男, 前野雅彦 : 海外ジャーナル Watching 「レジンコーティング」してますか?, デンタルダイヤモンド, 42, 8 : 89, 2017.
2. 奈良陽一郎 : ようこそ IFED 2017 へ, 日本歯科新聞, 2017 年 6 月 27 日号.
3. 奈良陽一郎 : これからの歯科審美を見据えて, 日本歯科審美学会ニュースレター, 35 : 1, 2017.
4. 奈良陽一郎 : 桜花爛漫の「みなづき会」, みなづき会新聞, 2017 年 7 月 20 日号.
5. 奈良陽一郎 : 期待に応える東京短期大学雑誌, 日本歯科大学東京短期大学雑誌, 7 : 1, 2017.
6. 柵木寿男 : 201 号に寄せて, DE, 201 : 159, 2017.
7. 柵木寿男 : 編集後記, 接着歯学, 35 : 106, 2017.
8. 柵木寿男, 山瀬 勝 : 海外ジャーナル Watching アンテか脱アンテか、それが問題だ, デンタルダイヤモンド, 42, 12 : 93, 2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 柵木寿男, 奈良陽一郎 : DIAGNOcam を用いた蛍光染色によるエナメル質微小亀裂の観察法, 平成 29 年度春期 第 69 回 日本歯科理工学会学術講演会プログラムおよび講演集, 158, 2017.
2. 奈良陽一郎 : シンポジウム「顔面と口腔の美—特に健康的機能美を中心に—」シンポジウム開催のねらい, 2017 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 青森, 2017 年 6 月 8 日.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_146/program.pdf. (参照 3 月 30 日)
3. 村田卓也, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : 即時象牙質シーリングの応用方法が CAD/CAM セラミックアンレー修復の接着に及ぼす影響, 2017 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 青森, 2017 年 6 月 8 日.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_146/A1-5_B1-5.pdf. (参照 3 月 30 日)
4. 越田清祐, 河本 芽, 鴫田智重, 小川信太郎, 長倉弥生, 中村昇司, 杉山征三, 奈良陽一郎, I.L.Dogon : メタルフリー間接修復材料を介した最近の LED 照射器透過光によって重合した接着性レジンセメントの硬化状態, 2017 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 青森, 2017 年 6 月 9 日.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_146/P1-60.pdf. (参照 3 月 30 日)
5. Maeno M, Hayashi K, Koshida S, Maseki T, Nara Y : Efficacy of immediate dentin sealing to abutment on adaptation of CAD/CAM ceramic crown restoration, IFED 2017 in Toyama Program, 67, 2017.
6. 河本 芽, 鴫田智重, 越田清祐, 前野雅彦, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : レジンインプレグネーション法によって処置されたエナメル質微小亀裂の審美的変化, 2017 年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第 147 回) プログラムおよび講演抄録集, 岩手, 2017 年 10 月 27 日.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_147/P54-130.pdf. (参照 3 月 30 日)
7. 越田清祐, 河本 芽, 鴫田智重, 前野雅彦, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : レジンセメンテーション用前処理材の多種メタルフリー修復材料への接着有効性, 2017 年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第 147 回) プログラムおよび講演抄録集, 岩手, 2017 年 10 月 27 日.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_147/ABC6-15.pdf. (参照 3 月 30 日)
8. Maseki T, Kawai T, Maeno M, Nara Y : Effect of the resin impregnation technique for enamel micro-crack, Dent Mater, 33S : e51, 2017.
9. 林 孝太郎, 前野雅彦, 奈良陽一郎 : 支台歯形成面への臨床的対応が CAD/CAM セラミッククラウン修復の接着に及ぼす影響, 接着歯学, 35 (3) : 57, 2017.
10. 鴫田智重, 河本 芽, 越田清祐, 前野雅彦, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : レジンコーティングが大臼歯に対する CAD/CAM セラミッククラウン修復の適合性に及ぼす効果, 接着歯学, 35 (3) : 67, 2017.
11. Tokita C, Komoto M, Koshida S, Maeno M, Maseki T, Nara Y : Effect of Resin-coating on Adaptation of CAD/CAM-ceramic-crown Restoration for Molar, J. Dent. Res., 97 (Spec. Iss.-A), Fort Lauderdale, USA, 2018.03.22, <https://aad2018.zerista.com/poster/member/121349>. (cited 2018.03.31)
12. Komoto M, Tokita C, Koshida S, Maeno M, Maseki T, Nara Y : Esthetic change of enamel micro-crack treated by resin-infiltration materials, J. Dent. Res., 97 (Spec. Iss.-A), Fort Lauderdale, USA, 2018.03.22, <https://aad2018.zerista.com/poster/member/121669>. (cited 2018.03.31)
13. Koshida S, Komoto M, Tokita C, Maeno M, Maseki T, Nara Y, I.L.Dogon, Nagai S : Bonding efficiency of recent adhesive resin cementation to metal-free restoratives, J. Dent. Res., 97 (Spec. Iss.-A), Fort Lauderdale, USA, 2018.03.23, <https://aad2018.zerista.com/poster/member/121511>. (cited 2018.03.31)

14. Maeno M, Tokita C, Komoto M, Koshida S, Nara Y, I.L. Dogon, Nagai S : Bonding characteristics of recent adhesive-resin-cement systems to metal-free restorative materials, J. Dent. Res., 97 (Spec. Iss.-A), Fort Lauderdale, USA, 2018.03.23, <https://aadr2018.zerista.com/poster/member/121510>. (cited 2018.03.31)
15. Nara Y, Murata T, Maseki T : Effect of Immediate-dentin-sealing on bonding-behavior of CAD/CAM restoration under thermomechanical-cyclic-stress, J. Dent. Res., 97 (Spec. Iss.-A), Fort Lauderdale, USA, 2018.03.23, <https://aadr2018.zerista.com/poster/member/121547>. (cited 2018.03.31)
16. Hayashi K, Maeno M, Nara Y : Influence of clinical-applications to prepared abutment-surface on bonding of CAD/CAM-ceramic-crown-restoration, J. Dent. Res., 97 (Spec. Iss.-A), Fort Lauderdale, USA, 2018.03.23, <https://aadr2018.zerista.com/poster/member/121548>. (cited 2018.03.31)
17. Murata T, Maseki T, Nara Y : Bonding effect of immediate-dentin-sealing applications on CAD/CAM ceramic-onlay restoration, J. Dent. Res., 97 (Spec. Iss.-A), Fort Lauderdale, USA, 2018.03.23, <https://aadr2018.zerista.com/poster/member/121549>. (cited 2018.03.31)

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 奈良陽一郎：患者・国民・会員が期待する日本歯科審美学会を目指して，日本歯科審美学会 第28回学術大会，理事長講演，富山市，2017年9月17日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 柵木寿男：みんなに優しい歯冠修復2017，平成29年度 香川県日本歯科大学校友会総会・学術講演会，香川県高松市，2017年6月24日。
2. 柵木寿男：やさしい接着歯冠修復2017，平成29年度 日本接着歯学会 卒後研修セミナー，福岡県福岡市（2017年9月19日），東京都千代田区（2017年11月22日）。
3. 奈良陽一郎：今こそメタルフリー接着修復を活かして！，平成29年度 日本歯科大学地区歯学研修会 東海地区歯学研修会，愛知県名古屋市，2017年10月15日。
4. 奈良陽一郎：患者・国民が求めるメタルフリーCAD/CAM 修復を目指して！，東京都歯科技工士会2017 全都講習会，東京都千代田区，2017年10月22日。
5. 柵木寿男：接着歯冠修復のストラテジー2017，平成29年度 日本歯科大学校友会町田支部学術講演会，東京都町田市，2017年12月9日。
6. 前野雅彦：ボンディングシステム本来の性能を引き出す勘所，学術フォーラム2018，東京都千代田区，2018年2月25日。
7. 柵木寿男：接着修復のストラテジー—直接修復と間接修復—，平成29年度 医療法人社団三島会全体セミナー，神奈川県横浜市，2018年3月31日。

1. 所属構成員等

教 授 沼部 幸博
准 教 授 伊藤 弘, 関野 愉
講 師 村樫 悦子, 石黒 一美 (併任)
助 教 五十嵐 (武内) 寛子, 倉治竜太郎 (併任)
客員教授等 花田 信弘 (4月~3月), 久世 香澄 (4月~3月), 稲田 全規 (4月~3月)
非常勤講師 玉澤 修, 鈴木 設矢, 林 英昭, 大崎 忠夫, 加治 彰彦,
加藤 智崇, 清信 浩一, 佐藤 宏和, 鈴木 設矢, 高橋 亮一,
藤田 佑三, 帆足 公人, 吉永 英司, 若尾 徳男
大 学 院 生 上原 直, 藤田美也子, 呉 亞欣, 立浪 秀恭, 三代 紗季,
和田 祐季
聴 講 生 加治 彰彦, 佐野 哲也, 鈴木香奈子, 横田 秀一, 榎本 秀太,
奈良 由佳, 笠井 雄太, 福田 晃士, 矢吹 一峰, 小倉 直子,
福田 知樹, 蔵元 庸之, 荒川 大地, 小林 秀樹, 篠田 和明,
石井マイケル大宣, 簡 澤民, 大久保美佐 (4月~9月)

2. 研究テーマ

- 1) 喫煙が歯周組織免疫応答に及ぼす影響—特に好中球の機能に及ぼす影響について— Smoking effects on human PMN in periodontal tissue.
- 2) 歯肉溝滲出液 (GCF) における酵素活性について Investigation of periodontal status using gingival crevicular fluid (GCF).
- 3) 禁煙が歯周組織へ及ぼす影響 Effect of smoking cessation on human periodontal tissue.
- 4) 歯肉溝滲出液 (GCF) 成分解析を応用した新規歯周病診断キットの開発 Development of the new periodontal diagnostic kit by GCF contents analysis.
- 5) 要介護高齢者の歯周疾患の実態について Periodontal disease in elderly in need of care.
- 6) 高萩市における歯周疾患の疫学調査 Epidemiology of periodontal disease in Takahagi city.
- 7) Nd:YAG レーザーを用いた細胞活性の検索 Cell activity using Nd:YAG Laser.
- 8) LED を用いた新たな歯周病予防法と治療法の開発に向けた基礎的研究 Basic research for new prevention and treatment of periodontal disease by LED (light-emitting diode) .
- 9) LED 照射が歯周組織由来培養細胞および歯周病原細菌に与える影響 The effect of LED irradiation on human gingival fibroblasts and periodontal bacteria.
- 10) 喫煙による歯肉の線維化について Effect of smoking to human gingival fibrosis.
- 11) ヒト歯根膜由来血管内皮細胞に対する結合組織増殖因子 (CCN2/CTGF) の血管形成に関する研究 The effect of CCN2/CTGF on human endothelial cells to tube formation.
- 12) 歯周疾患と非アルコール性脂肪性肝炎との関係 Relationship between periodontal disease and Non-alcoholic steatohepatitis.
- 13) ラット・マウス口腔内実験に用いる開口器の開発 Development of mouth gag to be used in the rat and mouse oral experiments.
- 14) LPS 刺激ヒト歯肉線維芽細胞における α -リポ酸の NF- κ B シグナル依存性炎症性サイトカイン産生の抑制について Alpha-lipoic acid inhibits NF- κ B signal transduced inflammatory cytokines secretion

in LPS-induced human gingival fibroblasts.

- 15) 歯肉溝滲出液 (GCF) 中における歯周病早期診断マーカーの有用性 Usefulness as periodontal disease early diagnostic marker in gingival crevicular fluid.
- 16) 口腔由来 LPS が歯周組織及び全身に及ぼす影響 Effects of oral-cavity-derived LPS is on periodontal tissue and systemic.
- 17) ラット実験的歯周炎におけるテアフラビンの組織炎症および骨吸収抑制効果に関する研究 Theaflavins inhibits inflammation and bone resorption on experimental periodontitis in rats.
- 18) 歯周病原細菌由来エンドトキシンの全身への影響とその体内動態 Systemic effects and pharmacokinetics of endotoxin derived from periodontopathic bacteria.
- 19) ラット実験的歯周炎における病態の解析 Pathologic analysis of experimental periodontitis in rats.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 第 102 回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2016 年大会 JSP/JACP ポスターGeneral/Basic Research 部門 最優秀賞, 倉治竜太郎, 平成 29 年 5 月 12 日, 「*Porphyromonas gingivalis* induced periodontitis exacerbates NASH progression in rat」.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座同門会講演会, 東京, 平成 29 年 4 月 1 日, 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座.
- 2) 東京都歯科医師会卒後研修会 保険診療で可能な歯周組織再生療法, 東京, 平成 29 年 7 月 16 日, 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座・日本歯科大学附属病院総合診療科.
- 3) 日本歯科大学校友会平成 29 年度ポストグラデュエート・コース (A コース) 日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる一歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用一, 日本歯科大学生命歯学部, 東京, 平成 29 年 7 月 23 日, 沼部幸博. (口腔解剖学第 1 講座主催) (協力)

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~31 年度, 発症前診断に有効かつ世界基準を凌駕する次世代歯周病検査による有病率 8 割への挑戦, 伊藤 弘 (代表), 小川智久 (分担), 沼部幸博 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 2,210,000 円.
- 2) 科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~31 年度, 歯周病再発予防のための歯肉溝滲出液 (GCF) 検査法の開発, 沼部幸博 (代表), 伊藤 弘 (分担), 4,550,000 円, 平成 29 年度 1,560,000 円.
- 3) 科学研究費補助金, 若手研究 (B) (継続), 平成 28~30 年度, 喫煙および禁煙がヒト歯周組織由来培養細胞に与える影響および効果について, 五十嵐 (武内) 寛子 (代表), 3,900,000 円, 平成 29 年度 1,560,000 円.

- 4) 平成 29 年度生命歯学部研究プロジェクト (学内研究), 公募研究 2 (新規), 平成 29 年度, 低出力レーザー照射による歯肉組織創傷治癒促進のメカニズム解明—バイオインフォマティクス解析ツールを用いた新たな解析—, 村樫悦子 (代表), 沼部幸博 (分担), 鈴木麻美 (分担), 石黒一美 (分担), 五十嵐 (武内) 寛子 (分担), 和田祐季 (分担), 3,000,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 鴨井久一 (編著), 沼部幸博 (著): 新・歯周病をなおそう 第 2 版, 砂書房, 東京, 2017, ISBN : 978-4-901894-64-7.
2. 1) 沼部幸博 (分担執筆): Chapter 4 レーザーと生体反応 section 5 抗菌 PDT と LED の応用, 79-81, インプラント周囲炎とレーザー 効果的で安全なテクニックとエビデンスによる検証, 一般社団法人日本レーザー歯学会 (編), 渡辺 久 (監修), クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0558-8.
2) 関野 愉, 沼部幸博, 石黒一美, 村樫悦子, 伊藤 弘 (分担執筆): Chapter 7 インプラント周囲炎へのレーザー治療の指針・クリニカルクエスチョン section 1 文献レビュー, 115-122, インプラント周囲炎とレーザー 効果的で安全なテクニックとエビデンスによる検証, 一般社団法人日本レーザー歯学会 (編), 渡辺 久 (監修), クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0558-8.
3. 沼部幸博 (分担執筆): 6 章 メンテナンス・SPT 85 メインテナンスで何をみるのか, 133-135, 86 メインテナンスや SPT はどのくらいの間隔でおこなうのか, 136-137, 87 メインテナンスと SPT の違い, 138, 88 歯肉増殖症への対応, 139, 聞くに聞けない歯周病治療 100, 若林健史 (総監修), 小方頼昌 (監修), デンタルダイヤモンド社, 東京, 2018, ISBN : 978-4-88510-398-8.
4. 沼部幸博, 関野 愉 (分担執筆): Part 2 第 1 章 1-2 高齢者における歯周病罹患率の推移から考える, 33-37, 患者さんのエイジングに備える 高齢者への歯周治療と口腔管理, 吉江弘正, 吉成伸夫, 米山武義 (監著), インターアクション, 東京, 2018, ISBN : 978-4-909066-05-3.
5. 沼部幸博 (監修): マンガでわかる 歯と口の力 ステップアップガイド, 1-34, 東京法規出版, 東京, 2017.
6. 沼部幸博 (監修): 口腔ケアで全身ケア, 歯周病予防ではじめよう健康づくり, 1-8, 株式会社ライズファクトリー, 東京, 2017.
7. 沼部幸博 (監修): セルフケアと健診で歯と口の健康づくり, よい歯は一生の宝もの, 1-12, 東京法規出版, 東京, 2017.
8. 沼部幸博 (監修): どうして私が保健指導? “歯や口” にトラブルはありませんか?, 1-2, 東京法規出版, 東京, 2017.
9. 関野 愉 (分担執筆): Chapter 3 歯周病をどのように治すかは, こう説明しましょう, 31-38, このまま使える Dr. も DH も! 歯科医院で患者さんにしっかり説明できる本—患者教育に重要なトピック 14—, クインテッセンス出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0581-6.
10. 関野 愉 (分担執筆): N 歯・口腔疾患, N1-N9, 看護師・看護学生のためのレビューブック 2019, 岡庭 豊編集, メディックメディア, 東京, 2018, ISBN : 978-4-89632-691-8.

B. 原 著

1. *Ishii M. H, Murakashi E, Igarashi-Takeuchi H, Shoji H, Numabe Y : Alpha-Lipoic Acid inhibits NF- κ B signal transduced inflammatory cytokines secretion in LPS-induced Human Gingival Fibroblasts, ○日

- 歯周誌, 2017 ; 59 (1) : 28-38, doi : 10.2329/perio.59.28. (学位論文)
2. *Uehara S, Ito H, Hashimoto S, Numabe Y : Relationship between bone-type alkaline phosphatase levels in gingival crevicular fluid and clinical parameters during supportive periodontal therapy, ○日歯周誌, 2018 ; 60 (1) : 26-34, doi : 10.2329/perio.60.26. (学位論文)
 3. 沼部幸博, 村檉悦子 : Nd:YAG レーザー照射による細胞への生物学的効果, ○日レ医誌, 2017 ; 38 (2) : 145-152.
Numabe Y, Murakashi E : Biological Effect of Nd:YAG laser Irradiation on cultured cells, ○JJSLSM, 2017 ; 38 (2) : 145-152.
 4. Nomura Y, Morozumi T, Nakagawa T, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Sekino S (20th), Numabe Y (21st) (38 authors) : Site-level progression of periodontal disease during a follow-up period, ◇◎PLoS One, 2017 ; 12 (12) : e0188670, doi : 10.1371/journal.pone.0188670.
 5. 伊藤 弘 : 歯科衛生士として必要な歯周組織検査 特にプロービング検査結果から得られる情報の応用について, ○日歯周誌, 2017 ; 59 (3) : 179-183, 2017, doi:10.2329/perio.59.179.
Ito H : Indispensable periodontal tissue examination as dental hygienist —Application of the information from a probing examination in particular—, ○J Jpn. Soc. Periodontol, 2017 ; 59 (3) : 179-183, doi: 10.2329/perio.59.179.
 6. Ichimaru R, Tominari T, Yoshinouchi S, Matsumoto C, Watanabe K, Hirata M, Numabe Y (7th) (11 authors) : Raloxifene reduces the risk of local alveolar bone destruction in a mouse model of periodontitis combined with systemic postmenopausal osteoporosis, ☆◎Arch. Oral Biol., 2018 ; 85 : 98-103, doi : 10.1016/j.archoralbio.2017.09.017.
 7. 沼部幸博 : 「メタボ」と「ペリオ」～多職種連携の共通言語を巡って～, ○日歯医師会誌, 2018 ; 70 (11) : 19-28.
Numabe Y : A common language in multi-disciplinary cooperation. “Metabo (Metabolic syndrome)” and “Perio (Periodontal disease syndrome)”, ○J of Japan Dental Association, 2018 ; 70 (11) : 19-28.
 8. Kuraji R, Fujita M, Ito H, Hashimoto S, Numabe Y : Effects of experimental periodontitis on the metabolic system in rats with diet-induced obesity (DIO) : an analysis of serum biochemical parameters, ☆◎Odontology, 2018 ; 106 (2) : 162-170, doi : 10.1007/s10266-017-0322-5.

C. 総説・解説

1. 佐野哲也 : インプラント周囲疾患とどう向き合っていくか?, 顎咬合誌, 37 (1・2) : 9-16, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 沼部幸博 : 知識・技能・態度を学ぶ, MilchZahn, 平成 29 年度版 : 4, 2017.
2. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 1 ギネス認定の歯周病!, 安全と健康, 68 (7) : 82-83, 2017.
3. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 2 戦う相手をよく知ろう!, 安全と健康, 68 (8) : 82-83, 2017.
4. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 3 歯みがきか死か? ~歯周病の危険因子とさまざまな疾患との関係~, 安全と健康, 68 (9) : 86-87, 2017.
5. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 4 歯周病予防の秘訣はプラークコントロールにあり!, 安全と健康, 68 (10) : 82-83, 2017.
6. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 5 歯周病治療は根気よく続ける必要あり!, 安全と健

- 康, 68 (11) : 82-83, 2017.
7. 沼部幸博：歯周病予防で健康寿命アップ 6 歯周病対策と全身の健康, 安全と健康, 68 (12) : 80-81, 2017.
 8. 沼部幸博：すべてが「supreme」!, 第 62 回富士見祭パンフレット, 3, 2017.
 9. 沼部幸博：大学院生命歯学研究科歯周病学について, 歯学, 105 (秋季特集号) : 31, 2017.
 10. 佐藤 巖, 代居 敬, 沼部幸博, 関野 愉, 倉治竜太郎, 小森 成：ポストグラデュエート・コース<A コース>日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる—歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用—, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (2) : 43-51, 2017.
 11. 沼部幸博：ステップアップ歯科衛生士 7step で挑戦! ザ・シャープニング (書評), デンタルハイジーン, 37 (11) : 1270, 2017.
 12. 関野 愉：From International Journal GTR 法 20 年の予後は?, ザ・クインテッセンス, 36 (5) : 208-209, 2017.
 13. 関野 愉：From International Journal サイナスリフトを行い, 長いインプラントを入れるか? ショートインプラントを選ぶか?, ザ・クインテッセンス, 36 (10) : 210-211, 2017.
 14. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! 歯磨剤の「泡立ち」にはどのような効果があるのか?, DHstyle, 4 (135) : 70-71, 2017.
 15. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! 要介護高齢者に対する専門家による口腔清掃の効果は?, DHstyle, 5 (136) : 68-69, 2017.
 16. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! フルマウスディスインフェクションと抗菌療法の効果は長期間続くのか?, DHstyle, 6 (137) : 76-77, 2017.
 17. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! 小児における高濃度フッ素化合物のう蝕予防効果は?, DHstyle, 6 (137) : 66-67, 2017.
 18. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! 子どもはなぜフロスをしないのか?, DHstyle, 8 (139) : 78-79, 2017.
 19. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! インプラント治療後にメンテナンスを受けていないと, どの程度インプラント周囲病変が発症するのか?, DHstyle, 9 (140) : 76-77, 2017.
 20. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! プロービング時の痛みの強さは, 天然歯とインプラントで異なる?, DHstyle, 10 (141) : 78-79, 2017.
 21. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! インプラント周囲粘膜炎の非外科的治療における Emdogain®の適用は有効か?, DHstyle, 11 (142) : 70-171, 2017.
 22. 関野 愉：海外ジャーナル Let's Study! 定期的なメンテナンスを受けないと根分岐部病変はどうなる?, DHstyle, 12 (143) : 86-87, 2017.
 23. 関野 愉：BOP を徹底的に考える, デンタルハイジーン, 37 (7) : 754-759, 2017.
 24. 石黒一美：基礎から学べる歯周治療, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (4) : 53, 2017.
 25. 石黒一美：医学教育セミナーとワークショップ初参加, 新しい医学教育の流れ, 17 (3) : 271-274, 2017.
 26. 石黒一美：医学教育セミナーとワークショップ初参加, 新しい医学教育の流れ, 17 (4) : 355-358, 2017.
 27. 倉治竜太郎：診療室での物語 カルテ No.16 歯科臨床から得た科学へのモチベーション, KOYU Times, 18 : 4, 2017.
 28. 加治彰彦：Quint Short Library 歯科衛生士のための臨床歯周病学のエビデンス活用 BOOK (関野

- 愉 著), ザ・クインテッセンス, 37 (6) : 1296, 2017.
29. 関野 愉 : 教えて! 歯医者さん Q&A, nico, 2018 年 1 月号 : 52-53, 2018.
 30. 関野 愉 : From International Journal 歯周病はいつ発症する?, ザ・クインテッセンス, 37 (1) : 214-215, 2018.
 31. 関野 愉 : 海外ジャーナル Let's Study! 口腔衛生は頭頸部がん患者の生存率に影響する?, DHstyle, 1 (144) : 92-93, 2018.
 32. 関野 愉 : 海外ジャーナル Let's Study! 歯周基本治療において Er:YAG レーザーと超音波スケーラーはどちらが有効?, DHstyle, 2 (145) : 74-75, 2018.
 33. 関野 愉 : 海外ジャーナル Let's Study! 慢性歯周炎が骨粗鬆症のリスクを高める?, DHstyle, 3 (146) : 76-77, 2018.
 34. 関野 愉 : ~歯周基本治療に活かせる! ~あなたが知らないペリオの“キホン” ①プラーク (細菌) のキホン, デンタルハイジーン, 38 (1) : 64-68, 2018.
 35. 関野 愉 : ~歯周基本治療に活かせる! ~あなたが知らないペリオの“キホン” ②ブラッシングのキホン, デンタルハイジーン, 38 (2) : 190-194, 2018.
 36. 関野 愉 : ~歯周基本治療に活かせる! ~あなたが知らないペリオの“キホン” ③歯周病のリスクのキホン, デンタルハイジーン, 38 (3) : 292-295, 2018.
 37. 大野純一, 佐野哲也, 呉 悦明 (分担執筆) : 巻頭特集 現代の超音波スケーラー論, Dental Diamond, 43 (4) : 23-43, 2018.

E. 翻 訳

1. Denez EM, Toma S, Lasserre JF & Brex MC, 関野 愉 : スケーリング・ルートプレーニング後の 10% ポピドンヨードを使用した 1 回の歯肉縁下イリゲーション法の評価: ランダム化比較試験, クインテッセンス, 36 (11) : 151-160, クインテッセンス出版, 東京, 2017.

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 呉 亞欣 : ラット骨編 : ラット実験的歯周炎におけるテアフラビンの組織炎症および骨抑制効果に関する研究, 平成 28 年度研究プロジェクト報告会抄録集, 2, 2017.
2. 上原 直, 伊藤 弘, 沼部幸博, 小川智久, 川村弘樹, 鈴木麻美, 橋本修一 : ポケットの分類による GCF 酵素量の比較~生化学マーカーから見た病状安定~, 日歯周誌, 59 (春季特別号) : 142, 2017.
3. 藤田美也子, 倉治竜太郎, 伊藤 弘, 戸円智幸, 深田哲也, 橋本修一, 沼部幸博 : 高脂肪食摂餌ラットの歯周組織に投与した *Porphyromonas gingivalis* 由来 LPS の動態, 日歯周誌, 59 (春季特別号) : 37, 2017.
4. 倉治竜太郎, 関野 愉, 沼部幸博 : リスクアセスメントに基づき広範型重度慢性歯周炎患者に歯周治療を行った一症例, 日歯周誌, 59 (春季特別号) : 156, 2017.
5. 高橋亮一, 関野 愉, 伊藤 弘, 沼部幸博 : 唾液検査, アンケート調査, および CPI による歯周疾患のスクリーニング検査の有用性の分析, 日歯周誌, 59 (春季特別号) : 136, 2017.
6. 五十嵐 (武内) 寛子, 沼部幸博 : 限局性重度慢性歯周炎を有する患者の一症例, 日歯保誌 (秋季特別号) : 103, 2017.
7. 五十嵐 (武内) 寛子, 沼部幸博 : Er:YAG レーザーによるメラニン色素除去を行った一症例—フェノール法とレーザー法の比較—, 第 29 回日本レーザー歯学会総会・学術大会抄録集, 44, 2017.
8. 仲谷 寛, 大澤銀子, 沼部幸博 : 歯周病学基礎実習におけるスケーリング・ルートプレーニング

- についての教授錯覚—歯石付実習棒の試用—, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 112, 2017.
9. 滑川初枝, 青木春美, 田中とも子, 中西生美, 横澤 茂, 富永徳子, 沼部幸博, 松野智宣, 千葉忠成, 田谷雄二, 松岡孝典, 大津光寛, 仲谷 寛, 石田鉄光: 日本歯科大学生命歯学部第 1 学年 PBL テュートリアル教育における意識調査—平成 23 年度と平成 28 年度との比較—, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 122, 2017.
 10. 宮坂孝弘, 北原和樹, 小林さくら子, 菊池憲一郎, 新谷明一, 柴田 潔, 佐藤 勉, 内川喜盛, 大津光寛, 小川智久, 筒井健夫, 沼部幸博, 羽村 章: チーム基盤型学習法 (TBL) を活用した禁煙支援教育への取り組み, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 134, 2017.
 11. 伊藤 弘, 沼部幸博, 橋本修一, 伊藤明子, 永田達也, 濱田 亮: BOP 検査に歯肉溝滲出液 (GCF) の hemoglobin (Hb) 検査併用の有用性, 日歯保誌 (秋季特別号): 201, 2017.
 12. 五十嵐 (武内) 寛子, 立花利公, 沼部幸博: ヒト歯肉線維芽細胞はニコチンを取り込み空胞変性を生じる, 日歯保誌 (秋季特別号): 123, 2017.
 13. 五十嵐 (武内) 寛子, 立花利公, 沼部幸博: ニコチンがヒト歯根膜由来内皮細胞に与える影響について, 第 11 回日本禁煙学会学術総会 プログラム・抄録集, 192, 2017.
 14. 村樫悦子, 五十嵐寛子, 沼部幸博: Nd:YAG レーザー照射による細胞への生物学的効果, 第 38 回日本レーザー医学会総会 プログラム・講演抄録集, 270, 2017.
 15. Takeuchi-Igarashi H, Kubota S, Tachibana T, Murakashi E, Takigawa M, Numabe Y: Matrix remodeling response of human periodontal fibroblasts and periodontal ligament cells towards fibrosis upon nicotine exposure, The 65th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research program, 113, 2017.
 16. 沼部幸博: Nd:YAG レーザーの歯周治療応用におけるエビデンス, 第 17 回日本歯科用レーザー・ライト学会総会・学術大会抄録集, 22, 2017.
 17. 関野 愉, 沼部幸博, 田村文誉, 菊谷 武: 介護老人福祉施設入居者の口腔衛生状態と歯周疾患罹患状況—検診事業開始 10 年後の観察研究—, 老年歯科医学, 32 (2): 188-189, 2017.
 18. 伊藤 弘, 橋本修一, 沼部幸博: 歯肉溝滲出液 (GCF) における hemoglobin 検査と歯周組織検査との比較, 日歯周誌, 59 (60 周年記念大会特別号): 37, 2017.
 19. 呉 亞欣, 倉治竜太郎, 田谷雄二, 伊藤 弘, 沼部幸博: ラット実験的歯周炎におけるテアフラビンの組織炎症および骨吸収抑制効果に関する研究, 日歯周誌, 59 (60 周年記念大会特別号): 39, 2017.
 20. 沼部幸博: 唾液を歯周病診断にどう利用するか?, 日歯周誌, 59 (60 周年記念大会特別号): 123, 2017.
 21. 五十嵐 (武内) 寛子, 立花利公, 沼部幸博: ヒト歯周組織由来線維芽細胞, 血管内皮細胞および上皮細胞におけるニコチンの取り込みについての検討, 日歯周誌, 59 (60 周年記念大会特別号): 195, 2017.
 22. 石黒一美, 呉 亞欣, 藤田美也子, 沼部幸博: 研究体験による歯学部学生に対する研究マインドの涵養—乳酸菌による歯周病原細菌の増殖抑制効果—, 日歯周誌, 59 (60 周年記念大会特別号): 205, 2017.
 23. 倉治竜太郎, 橋本修一, 伊藤 弘, 沼部幸博: マウス口腔内実験に用いる開口器の開発と使用例—実験的歯周炎モデルへの応用—, 日歯周誌, 59 (60 周年記念大会特別号): 206, 2017.
 24. 石井マイケル大宜, 関野 愉, 沼部幸博: 広範型慢性歯周炎に対して歯周外科処置を行った一症例, 日歯周誌, 59 (60 周年記念大会特別号): 214, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 沼部幸博：超高齢社会に対峙する歯周治療～健康寿命延伸への挑戦～，GCF で探知する歯周病．新たな検査の登場，日本歯科大学歯周病学講座同門会沼部幸博教授就任 10 周年記念講演会，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2017 年 4 月 1 日．
2. 関野 愉：歯周病学におけるエビデンスとその臨床的意義，日本歯周病学会第 60 回春季学術大会，認定医・専門医教育講演，福岡県，2017 年 5 月 13 日．
3. 関野 愉：歯周病学を極める 咬合性外傷を再考する，日本顎咬合学会，生涯に渡り噛んで食べるシリーズ，第 35 回日本顎咬合学会学術大会，東京都，2017 年 6 月 11 日．
4. Numabe Y：GCF as a risk factor for periodontal disease，Special lecture for 5th year students，Chung Shan Medical University lecture room，Chung Shan，2017 年 10 月 19 日．
5. Igarashi-Takeuchi H：Relationship between smoking and human periodontal tissue，Special lecture for 5th year students，Chung Shan Medical University lecture room，Chung Shan，2017 年 10 月 19 日．
6. Kuraji R：Periodontal Disease & Chronic Liver Disease，Special lecture for 5th year students，Chung Shan Medical University lecture room，Chung Shan，2017 年 10 月 19 日．
7. 村檜悦子：Nd:YAG レーザー照射による細胞への生物学的効果（主題 歯科領域のレーザー治療における LLLT），第 38 回日本レーザー医学会総会，シンポジウム，神奈川，2017 年 11 月 11 日．
8. 沼部幸博：Nd:YAG レーザーの歯周治療応用におけるエビデンス，第 17 回日本歯科用レーザー・ライト学会総会・学術大会シンポジウム，歯科医師会館大会議室，東京，2017 年 12 月 9 日．
9. 沼部幸博：唾液を歯周病診断にどう利用するか？，日本歯周病学会 60 周年記念京都大会シンポジウム I 「医科歯科連携を目指した歯周病の検査と診断」，日本歯周病学会 60 周年記念京都大会シンポジウム，京都国際会館，京都，2017 年 12 月 16 日．
10. 沼部幸博：歯周組織検査の現在と未来．歯周病を伝える検査を考える．多職種連携に向けて，日本大学松戸歯学部特別講演会，日本大学松戸歯学部 MD ホール，松戸，2018 年 3 月 15 日．

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 沼部幸博：CBT Type A, L, W, Q の作問方法，岩手医科大学歯学部共用試験歯学系 CBT 問題作成に関わる FD 講習会，岩手医科大学内丸キャンパス歯学部，盛岡，2017 年 4 月 22 日．
2. 沼部幸博：免疫応答と組織変化，日本歯科大学新潟生命歯学部第 3 学年交換講義，日本歯科大学新潟生命歯学部講堂，新潟，2017 年 5 月 23 日．
3. 関野 愉：知っておこう！メンテナンス時に必要な知識～エビデンスを臨床に活かそう～，九州デンタルショー 生涯セミナー，福岡県，2017 年 5 月 28 日．
4. 沼部幸博：命をねらう歯周病，歯周病と全身疾患との関わりとその仕組み，全身の健康は口の中から，医療技術セミナースキルアップ，スタンダード会議室銀座二丁目店，東京，2017 年 6 月 4 日．
5. 沼部幸博：CBT Type Q, Type W の作問法，朝日大学歯学部共用試験歯学系 CBT 問題作成に関わる FD 講習会，朝日大学歯学部講堂，岐阜，2017 年 6 月 6 日．
6. 加治彰彦：臨床医が矯正を極める 矯正治療必要度の高い患者を見抜くポイント，第 35 回日本顎咬合学会学術大会，東京，2017 年 6 月 11 日．
7. 関野 愉：インプラント周囲炎を徹底的に理解する～知識・技術の「決まり事」を識る～，バイオインテグレーション学会第 25 回教育研修講演，東京都，2017 年 6 月 25 日．
8. 沼部幸博：生命歯学部の入試，日本歯科大学入試学内説明会，日本歯科大学生命歯学部九段ホー

- ル，東京，2017年7月2日。
9. 伊藤 弘：歯周治療の基本技術，平成29年度青森県歯科衛生士会第2回生涯研修，2017年7月2日。
 10. 沼部幸博：罹患率8割への挑戦—歯周病は治せないのか？そして歯科衛生士の役割は？—，秋田県歯科衛生士会講演会，秋田文化会館，秋田，2017年7月9日。
 11. 伊藤 弘：歯周基本治療を成功に導く歯周組織検査，日本歯周病学会第72回歯科衛生士教育講演日本歯科衛生士会第4次生涯研修，2017年7月9日。
 12. 沼部幸博：加齢と歯周病：老年歯周病学の落とし穴，平成29年度日本歯科大学四国地区歯学研修会，ホテルクレメント徳島，徳島，2017年7月16日。
 13. 関野 愉：GTR法，日本歯科大学校友会平成29年度ポストグラデュエート・コース，2017年7月16日。
 14. 関野 愉：GTR法 文献的検討，日本歯科大学校友会平成29年度ポストグラデュエート・コース，東京都，2017年7月16日。
 15. 沼部幸博：第111回歯科医師国家試験について，平成29年度臨実ゼミナール，日本歯科大学生命歯学部135講堂，東京，2017年7月21日。
 16. 沼部幸博：歯周外科手術に必要な解剖，日本歯科大学校友会ポストグラデュエートコース，日本歯科大学生命歯学部151講堂・解剖学実習室，東京，2017年7月22・23日。
 17. 沼部幸博，関野 愉，倉治竜太郎：解剖標本観察 歯周病学的立場からの示説，日本歯科大学校友会平成29年度ポストグラデュエート・コース（Aコース） 日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる—歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用—，日本歯科大学生命歯学部，2017年7月23日。
 18. 関野 愉：歯周病学におけるエビデンスとその臨床的意義 完全版，FMS 歯科研究会，東京都，2017年8月5日。
 19. 沼部幸博：歯医者さんになろう！，日本歯科大学生命歯学部オープンキャンパス，日本歯科大学生命歯学部152講堂，東京，2017年8月26日。
 20. 関野 愉：スカンジナビアの歯周病学に基づく歯周病とインプラント，ストローマン歯周病インプラントコース，東京都，2017年8月26日。
 21. 関野 愉：エビデンスを罹患してワンランクアップした歯科衛生士へ，DGSN シンポジウム，東京都，2017年8月27日。
 22. 佐野哲也：Cavitron® café in Tokyo Cavitron® フォローアップセミナー，東京，2017年8月31日，10月4日。
 23. 沼部幸博：20年後の歯科医師の可能性と夢，平成29年度第3学年日本歯科大学ワークショップ講演，日本歯科大学生命歯学部富士見ホール，東京，2017年9月22日。
 24. 関野 愉：インプラントのメンテナンスにおける歯周病学的アプローチ：Oral Reconstruction Symposium JAPAN，東京都，2017年10月9日。
 25. 沼部幸博：歯周病専門医から学ぶ「歯周病と全身疾患との深いかかわり」—全身との関係，予防から治療法まで—，足立区歯周病予防教室，足立保健所2階会議室，東京，2017年11月17日。
 26. 沼部幸博：専門職が知っておきたい歯周病最前線「歯周病と全身疾患との関わり～歯周医学の世界が語るもの～」，平成29年度口腔保健支援センター医療従事者向け講演会，八王子医師会館，八王子，2017年11月22日。
 27. 佐野哲也：専門職が知っておきたい歯周病最前線「歯周病における再生療法とインプラント治療」，平成29年度口腔保健支援センター医療従事者向け講演会，八王子医師会館，八王子，2017年11

月 22 日.

28. 沼部幸博：生命歯学部概要，日本歯科大学・日本歯科大学校友会共催入試説明会，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2017 年 11 月 26 日.
29. 関野 愉：非外科的歯周基本治療を効果的に行うためには，福島県歯科衛生士会，福島県，2017 年 12 月 3 日.
30. 関野 愉：歯周病の基礎，超音波スケーラーを用いた歯周基本治療，歯面清掃器を用いたメインテナンス，東京歯科産業セミナー，東京都，2018 年 1 月 25 日.
31. 関野 愉：歯科衛生士が知っておくべき歯周病学のエビデンス，ラムズセミナー，東京都，2018 年 1 月 28 日.
32. 沼部幸博：命をねらう歯周病，歯周病予防で健康寿命アップ，千代田区民公開講座，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2018 年 2 月 15 日.
33. 五十嵐（武内）寛子：見て触って！Nd:YAG レーザーのテクニック，テーブルクリニック，日本歯科大学校友会主催学術フォーラム 2018，東京，2018 年 2 月 25 日.
34. 関野 愉：歯周治療におけるエビデンスの重要性，福和学会，福岡県，2018 年 2 月 25 日.
35. 加治彰彦：一般臨床医が取り組むべき矯正治療，松風 1day セミナー，東京，2018 年 2 月 25 日.
36. 沼部幸博：歯周病予防で健康寿命アップ!!～お口のケアですこやかならだづくり～，墨田区民公開講座，墨田区リバーサイドホール，東京，2018 年 2 月 26 日.
37. 沼部幸博：歯科医師と喫煙，平成 29 年度第 4 学年臨床実習オリエンテーション，日本歯科大学附属病院牛込ホール，東京，2018 年 3 月 14 日.
38. 関野 愉：今だから聞ける歯周病ここだけの話，宮城県日本歯科大学校友会特別講演，宮城県，2018 年 3 月 17 日.

1. 所属構成員等

教 授 志賀 博
准 教 授 横山 正起
助 教 上杉 華子, 岡田 大和, 小見野真梨恵
短大教授 小池 麻里 (併任)
客員教授 赤川 安正
非常勤講師 渡邊 誠, 佐藤 泰彦, 田中 武, 沖 淳, 中野 幸夫,
藤井 重壽, 菊地 康記, 難波 錬久, 小松 義典, 王 孝,
林 清平, 内藤 順, 稲富 健祐, 寺辺やよひ, 武田 悦孝,
村上 義和, 石川 忠, 萩原 彰, 岩波 行紀, 高草 木章,
石原 裕之, 仁村秀由喜, 芳賀 景嗣, 中島 邦久, 田中 彰,
萩沢 宏美, 荒川 一郎, 松尾 卓, 千綿 一郎, 田口 智久,
千切 一恵, 石川 礼乃, 橋本 真, 渡邊 篤士
大 学 院 生 田中 優香, 山本 早織, 倉持 淳子

2. 研究テーマ

- 1) ヒトの睡眠中の Bruxism に関する臨床的研究 Clinical study on bruxism in human during sleep.
- 2) 咀嚼運動の機能的分析 The analysis of masticatory movements.
- 3) 血糖測定機器による簡便な咀嚼能率の評価法 A simplified method of evaluation for masticatory efficiency by glucose meter.
- 4) 側頭下顎障害患者の精神内分泌反応 The psychoendocrine responses of the patients with temporomandibular disorders.
- 5) 人工歯咬合面形態と下顎運動機能 Occlusal morphology of artificial teeth and mandibular movement.
- 6) 顎関節音に関する臨床的研究 Clinical study on TMJ sound.
- 7) EMG パワースペクトルの分析による咀嚼筋機能の定量的評価 Quantitative evaluation of masticatory muscle function using EMG power spectral.
- 8) 近赤外分光装置による脳内血流の変化 Change in brain blood flow using near-infrared spectroscopy.
- 9) 咀嚼運動経路のパターンと側方咬合位の咬合接触状態との関係 Relationship between masticatory path patterns and occlusal contacts at lateral position.
- 10) 小型の下顎運動記録装置の開発 Developing a compact device for measuring mandibular movement.
- 11) 側頭下顎障害患者の咀嚼機能と咀嚼能力 Masticatory function and masticatory performance in TMD Patients.
- 12) 味の違いが脳波に及ぼす影響 The effect of taste of food on brain wave.
- 13) 有床義歯装着者の咀嚼能力 Masticatory performance in removable denture wearers.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 山本早織：総義歯補綴治療前後における咀嚼能力と口腔関連 QOL との関係, 平成 30 年 2 月 23 日,

日本歯科大学.

- 2) 田中優香: 残存歯の咬合支持の違いからみた高齢者の咀嚼能力, 平成 30 年 2 月 23 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

- 1) 特定非営利活動法人日本咀嚼学会第 28 回学術大会, 東京都千代田区・日本歯科大学生命歯学部, 2017 年 9 月 22~24 日, 志賀 博.
- 2) 2017 年度東京都歯科医師会卒後研修, 東京都小金井市・日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2017 年 7 月 13 日, 菊谷 武, 志賀 博.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会平成 29 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~31 年度, WEB カメラとコンピュータのみで構成した簡易的な下顎運動測定システムの開発, 横山正起 (代表), 志賀博 (分担), 4,550,000 円, 平成 29 年度 1,950,000 円.

8. 研究業績

A. 著書

- 1) 志賀 博 (分担執筆): 歯ぎしりは昼間でもするのでしょうか?, 100-101, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 (編), 咀嚼の本 2—ライフステージから考える咀嚼と健康—, 財団法人口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN: 978-4896053395.
- 2) 志賀 博 (分担執筆): 歯がなくなると噛む能力は低下しますか?, 108-109, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 (編), 咀嚼の本 2—ライフステージから考える咀嚼と健康—, 財団法人口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN: 978-4896053395.
- 3) 志賀 博 (分担執筆): 入れ歯の安定剤を使うとうまく食べれるようになりますか?, 128-129, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 (編), 咀嚼の本 2—ライフステージから考える咀嚼と健康—, 財団法人口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN: 978-4896053395.
2. 志賀 博 (分担執筆): 「食養」の重要性を早くから説き, 歯科医師が果たす役割にも触れた慧眼の一冊, 124, 日本歯科大学創立 110 周年記念誌編集委員会 (編), 新たな序章—中原市五郎先生生誕 150 周年とともに—日本歯科大学創立 110 周年, 一世印刷株式会社, 東京, 2017.
3. 志賀 博 (分担執筆): 咀嚼機能評価②下顎運動解析装置を使った機能評価, 52-65, 小野高裕, 増田裕次 (編), 成人~高齢者向け 咀嚼機能アップ BOOK, クインテッセンス出版, 東京, 2018, ISBN: 978-4-7812-0600-4.

B. 原著

1. 倉持淳子, 志賀 博, 石川礼乃, 小見野真梨恵, 上杉華子, 横山正起: 高齢者における咀嚼能力と身長, 体重との関係, ○日本全身咬合学会雑誌, 2017 ; 23 : 51-54.
Kuramochi A, Shiga H, Ishikawa A, Komino M, Uesugi H, Yokoyama M : Relationship between masticatory performance and height or weight in elderly adults, ○The Journal of the Japanese Academy of Occlusion and Health, 2017 ; 23 : 51-54.
2. *Yamamoto S, Shiga H : Masticatory performance and oral health-related quality of life before and after complete

denture treatment, ☆◎Journal of Prosthodontic Research, 2018 ; pii : S1883-1958(18)30006-9, doi : 10.1016/j.jpor.2018.01.006. [Epub ahead of print] (学位論文)

3. *Tanaka Y, Shiga H : Masticatory performance of the elderly as seen from differences in occlusal support of residual teeth, ☆◎Journal of Prosthodontic Research, 2018 ; pii : S1883-1958(18)30007-0, doi : 10.1016/j.jpor.2018.01.007. [Epub ahead of print] (学位論文)

C. 総説・解説

1. 志賀 博 : 簡単にできる咀嚼機能検査 グミゼリー咀嚼時のグルコースの溶出量による咀嚼能力測定法, ○日本咀嚼学会雑誌, 27 : 27-28, 2017.

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 倉持淳子, 志賀 博, 中島邦久, 稲富健祐, 寺辺やよひ, 武田悦孝, 佐藤晃夫, 岡村健弘, 三輪雅彦, 石原裕之, 小松義典 : 総義歯補綴治療前後における咀嚼運動経路と咀嚼運動リズム, 日本補綴歯科学会誌, 9・126 回特別号 : 198, 2017.
2. 田中優香, 志賀 博, 上杉華子, 小見野真梨恵, 倉持淳子 : 高齢者における咬合状態でみた咀嚼能力, 日本咀嚼学会雑誌, 27 : 106, 2017.
3. 倉持淳子, 志賀 博, 上杉華子, 小見野真梨恵, 横山正起 : 高齢者における咀嚼能力の性差, 日本全身咬合学会第 27 回学会学術大会プログラム・抄録集, 39, 2017.
4. 山本早織, 志賀 博, 中島邦久, 荒川一郎 : 総義歯装着者における咀嚼能力と口腔関連 QOL との関係, 日本全身咬合学会第 27 回学会学術大会プログラム・抄録集, 45, 2017.
5. 山本早織, 志賀 博, 中島邦久, 荒川一郎, 武田悦孝 : 有歯顎者と総義歯装着者の咀嚼能力, (公社) 日本補綴歯科学会東京支部総会・第 21 回学術大会プログラム・抄録集, 32, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 志賀 博 : 有床義歯咀嚼機能検査, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 126 回学術大会ハンズオンセミナー, 神奈川県横浜市・パシフィコ横浜, 2017 年 7 月 2 日.
2. 志賀 博 : 統計解析, 日本顎口腔機能学会第 10 回顎口腔機能セミナー, 新潟県新潟市・メイワサンピア, 2017 年 9 月 8 日.
3. 志賀 博, 加藤 均, 坂口 究, 小見野真梨恵, 倉持淳子 : 咀嚼機能に関する検査法と舌圧検査法の習得, 意義, 日本顎口腔機能学会第 10 回顎口腔機能セミナー, 新潟県新潟市・メイワサンピア, 2017 年 9 月 8~10 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 志賀 博 : 咀嚼の評価, 検査法と評価法, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会第 18 回健康咀嚼指導士認定教育研修講演, 東京都文京区・東京医科歯科大学, 2017 年 8 月 20 日.

2. 志賀 博：有床義歯咀嚼機能を用いた有床義歯補綴治療，東京都歯科技工士会全都講習会，東京都千代田区・日本歯科大学生命歯学部，2017年10月22日.
3. 菊谷 武，志賀 博：歯科診療室からオーラルフレイルを考える，東京都歯科医師会卒後研修，東京都小金井市・日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック，2017年7月13日.
4. 志賀 博：機能回復の総義歯設計，平成29年度日本歯科大学四国地区歯学研修会，徳島県徳島市・ホテルクレメント徳島，2017年7月16日.

1. 所属構成員等

教 授 五味 治徳
准 教 授 新谷 明一
講 師 八田みのり, 黒田 聡一
助 教 白鳥 (清水) 沙久良
客 員 教 授 James E. Parker
非 常 勤 講 師 波多野泰夫, 鈴木 康仁, 大滝 正行, 千葉 栄一, 倉治 康男,
松田 哲治, 山本 尚靖, 片桐 慎吾, 加賀山文雄, 近藤 隆一,
用丸 英則, 横山 大一郎, 山田 眞理, 原田 光佑, 米澤 弥生,
林 捷, 鈴木 貴規
大 学 院 生 新妻 瑛紀, 藤島 伸

2. 研究テーマ

- 1) 口腔内スキャナー (IOS) の精度向上と臨床応用に関する研究 Evaluation of accuracy in oral scanner.
- 2) CT画像からの3D FEMモデル製作システムの構築と標準化 FEM Model Construct from CT.
- 3) CAD/CAMによる歯科診療の高品質化 Quality Control of Dental Treatment with CAD/CAM.
- 4) アルミナ・ジルコニアセラミックスの生体材料における臨床評価 Clinical Evaluation of Fine Ceramics as Biomaterial.
- 5) CAD/CAMによって製作されたクラウンの内面溝加工 (MRG) を援用した接着強さ向上に関する研究 Evaluation of bonding strength of CAD/CAM crowns with MRG.
- 6) ファイバー補強レジン補綴装置の設計と臨床評価 Design of Fiber Reinforced Hybrid Composite for Prosthesis.
- 7) ファイバーポスト併用レジン支台築造のガイドラインの確立とそれらに付随する基礎的研究 Development of Clinical Guideline for FRC Post and Core and Basic Research of Post and Core Materials.
- 8) ショートファイバー補強コンポジットレジンの開発と臨床応用に関する研究 Development of short fiber reinforced composite materials.
- 9) 高強度CADブロックを利用したCAD/CAM冠の臼歯臨床応用に関する臨床評価 Clinical evaluation of CAD/CAM resin crown for posterior.
- 10) オッセオインプラントのネジに対する力学的作用に関する研究 Mechanical behavior of implant screw within mastication for implant structures.
- 11) チタン鑄造支台築造体の力学的評価 Mechanical behavior of post and core made from cast titanium.
- 12) IPN熱可塑性レジンを用いたグラスファイバー補強コンポジットレジンの諸性質 Physical properties of glass-fiber-reinforced IPN (Interpenetrating Polymer Network) thermoplastic composites.
- 13) CADブロックの機械的性質がクラウンに与える力学的影響 Mechanical behavior of material properties on CAD blocks.
- 14) ラミネートベニア用接着性レジンセメントの諸性質 Optical and mechanical properties of adhesive resin cement for veneer.
- 15) 歯質修復機能を付与した自己接着性レジンセメントの機械的性質と歯質に及ぼす影響 Mechanical properties of self-adhesive resin cement with bioactive function and the influence of the tooth surface.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 新妻瑛紀, Effects of filling technique and light irradiation distance on the push-out bond strength of dual and light cured core materials in a direct core build-up, 平成 30 年 2 月 23 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 八田みのりは, 昨年度に引き続き平成 29 年 7 月 31 日まで Turku Clinical Biomaterials Centre-TCBC, Dept. of Biomaterials Science, Institute of Dentistry, University of Turku, Turku, Finland (フィンランド, トゥルク大学) へ研究留学し, Prof. Pekka Vallittu, Dr. Lippo Lassila の指導の下, グラスファイバーを用いた歯科生体材料の研究を行った. 結果の一部は 2018 年の IADR にて発表を行う予定である.
- 2) 白鳥沙久良は, ベルギー・KU ルーヴェン大学と口腔内スキャナーを用いた共同研究を開始した. その打ち合わせ及び研究のため, KU ルーヴェン大学へ 12 月~3 月まで出張した. 結果の一部は 2018 年の IADR にて発表を行う予定である.
- 3) 新谷明一は, フィンランド・トゥルク大学にてミッドウィンターミーティング(2018 年 2 月 9 日) を共同開催し, 口演を行った. 同時期に行われた研究会議にてトゥルク大学と日本歯科大学との今後の共同研究の方針について協議した. また, 2018 サマースクールについても協議を行い, 共同開催で行うことに同意した.

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 五味治徳 (分担執筆): 第 10 章 埋没・鋳造・模型上の調整・研磨, 98-100, 三浦宏之ほか (編), クラウンブリッジテクニク 第 2 版, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45816-7.
2. 新谷明一, 黒田聡一, 横山大一郎 (分担執筆): 第 5 章 歯科用 CAD/CAM システムの基礎的研究, 95-100, 日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 (監修), 末瀬一彦ほか (編), 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-43362-1.
3. Vallittu PK, Shinya A : Structural properties of dental FRC structures, 35-53, Vallittu PK, Ozcan M (Editors), Clinical guide to principles of fiber-reinforced composites in dentistry, Woodhead Publishing, Sawston, 2017, ISBN : 978-0-08-100608-5 (online).

B. 原著

1. Putra A, Chung KH, Flinn BD, Kuykendall T, Zheng C, Harada K, Raigrodski AJ : Effect of hydrothermal treatment on light transmission of translucent zirconias, ☆J. Prosthet. Dent., 2017 ; 118 (3) : 422-429, doi : 10.1016/j.prosdent.2016.10.024.

2. Vallittu PK, Shinya A, Baraba A, Kerr I, Keulemans F, Kreulen C, Lassila L (7th), Malmstrom H (8th), Novotny R (9th), Peumans M (10th), Wolff D (11th), Ozcan M (12th) (12 authors) : Fiber-reinforced composites in fixed prosthodontics-Quo Vadis?, ©Dent Mater., 2017 ; 33 (8) : 877-879, doi : 10.1016/j.dental.2017.05.001.
3. *Shimizu S, Shinya A, Kuroda S, Gomi H : The accuracy of the CAD system using intraoral and extraoral scanners for designing of fixed dental prostheses, ☆Dent Mater., 2017 ; 36 (4) : 402-407, doi : 10.4012/dmj.2016-326. (学位論文)
4. 新妻瑛紀, 新谷明一, 白鳥沙久良 : メタルプライマー処理した歯冠修復用材料に対するセルフアドヒーシブレジンセメントの接着強さ, ○接着歯学, 2017 ; 35 (4) : 94-101.
Niitsuma A, Shinya A, Shiratori S : Effect of metal primer on bond strength to restorative materials using self-adhesive and adhesive resin cement, ○Adhesive Dentistry, 2017 ; 35 (4) : 94-101.
5. 新谷明一, 黒田聡一, 清水沙久良, 新谷明喜 : 鋳造法, 切削加工法と積層造形法による Co-Cr 合金のせん断焼付強さに及ぼす市販ポーセレンの影響, ○歯産学誌, 2017 ; 31 (2) : 12-19.
Shinya A, Kuroda S, Shimizu S, Shinya A : Shear bond strength of commercial porcelains to Co-Cr alloys made by lost-wax casting, milling, and laser-sintering methods, ○J. J. Dent Products, 2017 ; 31 (2) : 12-19.
6. *Niitsuma A, Shinya A, Shiratori S, Kuroda S, Hatta M, Gomi H : Effect of filling technique and light irradiation distance on the push-out bond strength of dual and light cured core materials in a direct core build-up , ○ Journal of Molecular and Engineering Materials , 2017 ; 5 (4) : doi : 10.1142/S2251237317400081. (学位論文)

C. 総説・解説

1. 白鳥沙久良, 新谷明一, 黒田聡一, 八田みのり, 五味治徳 : 口腔内スキャナーの普及により変化する補綴装置製作, 歯学, 105 (秋季特集号) : 17-20, 2017.
2. 新谷明一, 白鳥沙久良 : 口腔内スキャナーを用いたクラウンブリッジに対する適合精度, 日歯技工誌, 39 (1) : 30-33, 2018.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 新谷明一, 原田光佑, 新谷明喜 : バーチャルインプラント・オペレーションの検証, 補綴臨床, 50 : 252-258, 2017.
2. 新谷明一 : ジーシーファイバーポストの臨床, デンタルダイヤモンド, 42 : 88-96, 2017.
3. 新谷明一, 清水沙久良 : 口腔内スキャナーと技工用スキャナーを用いたセラミッククラウン加工精度の臨床評価, 補綴臨床, 50 : 680-689. 2017.
4. 白鳥沙久良, 新谷明一 : 24th European Dental Materials Conference, 歯界展望, 131 : 198, 2018.
5. 新妻瑛紀, 新谷明一 : CAD/CAM 冠装着時の必需品 “チェアサイドサンドブラスター” マイクロエッチャー, クリニカル・M・レポート新聞, 52 : 8, 2017.
6. 新谷明一 : コンタック EZ プレップシュアの有用性, クリニカル・M・レポート新聞, 53 : 1, 2017.
7. 新谷明一, 五味治徳 : 新しいコンセプトのセルフアドヒーシブレジンセメント “ジーシー ジーセム ONE” の特徴と臨床, クリニカルフォーラム, 2017.
8. 新谷明一 : 編集後記, 日本補綴歯科学会誌, 9 (2) : 2017.

E. 翻訳

1. 山本尚吾（著），新谷明一（英文単訳）：Impact Color and internal shape of Anteriores, 1-143, 医歯薬出版，東京，2017，ISBN：978-4-263-46213-3.

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 清水沙久良，新谷明一，新妻瑛紀，黒田聡一，五味治徳：CAD/CAM レジンクラウン内面に付与した補助的保持形態の実測値による加工精度評価，デジタル歯科学会誌，7（1）：50，2017.
2. 清水沙久良，新谷明一，新妻瑛紀，黒田聡一，五味治徳：冠内面に付与した補助的保持形態のマイクロCTによる再現性評価，日補綴会誌，9：238，2017.
3. 新妻瑛紀，新谷明一，清水沙久良，黒田聡一，松田哲治，五味治徳：唾液汚染除去法が補助的保持形態を内面に付与した冠の接着強さにおよぼす影響，日補綴会誌，9：218，2017.
4. Shinya A, Niitsuma A, Shiratori S, Kuroda S, Gomi H : Effect of Micro Retentive Groove for bond strength after decontamination, 24th European Dental Materials Conference, 18, 2017.
5. Shiratori S, Shinya A, Niitsuma A, Kuroda S, Gomi H : Fitting quality of CAD/CAM crowns fabricated with different cement thicknesses, 24th European Dental Materials Conference, 45, 2017.
6. Niitsuma A, Shinya A, Shiratori S, Kuroda S, Gomi H : Effect of Micro Retentive Groove for Bond Strength, 24th European Dental Materials Conference, 44, 2017.
7. 白鳥沙久良，黒田聡一，新谷明一，新妻瑛紀，藤島 伸，五味治徳：レーザー積層造形を用いて製作したチタンの寸法精度，日歯理工誌，36（5）：342，2017.
8. 新妻瑛紀，新谷明一，藤島 伸，白鳥沙久良，黒田聡一，八田みのり，五味治徳：CAD/CAM 冠の接着強さに溝加工の付与とセメントスペースとが接着強さにおよぼす影響，平成 29 年度歯学会学内口頭発表会プログラム・抄録集，4，2017.
9. 新谷明一，新妻瑛紀，白鳥沙久良，五味治徳：CAD/CAM 冠内面に付与した溝の深さとセメントスペースとの関係が接着強さに及ぼす影響，接着歯学，35（3）：68，2017.
10. 白鳥沙久良，新谷明一，新妻瑛紀，五味治徳：ケイ酸カルシウム含有新規セルフアドヒーシブレジンセメントのエナメル質へのせん断接着強さ，接着歯学，35（3）：60，2017.
11. 新妻瑛紀，新谷明一，藤島 伸，白鳥沙久良，八田みのり，五味治徳：象牙質に対する各種レジンセメントのせん断接着強さにサーマルサイクルが及ぼす影響，接着歯学，35（3）：59，2017.
12. 新妻瑛紀，新谷明一，藤島 伸，白鳥沙久良，黒田聡一，八田みのり，五味治徳：各種レジンセメントの厚さが化学重合時における象牙質への接触強さにおよぼす影響，平成 29 年度東京支部総会・第 21 回学術大会プログラム・抄録集，29，2017.
13. 宮坂孝弘，北原和樹，小林さくら子，菊池憲一郎，新谷明一，柴田 潔，佐藤 勉，内川喜盛，大津光寛，小川智久，筒井健夫，沼部幸博，羽村 章：チーム基盤型学習法（TBL）を活用した禁煙支援教育への取り組み，第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会ポスター発表プログラム，33，2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 五味治徳：専門医になるためには，平成 29 年度研修歯科医学術講演会，東京，2017 年 4 月 7 日.
2. 新谷明一：CAD/CAM 補綴との付き合い方，鹿児島県日本歯科大学校友会総会学術講演会，鹿児島，2017 年 6 月 24 日.

3. 新谷明一：接着歯学を活用した支台築造法の現状と未来 ～ガイドライン作成とイノベーション創出を目指して～ 支台築造に対するファイバー補強の可能性 ～Not ファイバーポスト補強レジンコア～，第 126 回日本補綴歯科学会学術大会，横浜，2017 年 7 月 1 日。
4. 五味治徳：スポーツ歯学とマウスガード，東京都卒後研修，東京，2017 年 8 月 24 日。
5. 新谷明一：レジン系材料を用いたクラウン・ブリッジの設計と臨床，全都講習会，東京，2017 年 10 月 22 日。
6. 新谷明一：グラスファイバー補強コンポジットレジンを用いた補綴装置の設計，第 5 回神奈川歯科大学研究談話会，横須賀，2017 年 11 月 15 日。
7. 五味治徳：メタルフリー歯冠修復材料による補綴治療の現状，入間市歯科医師会学術講演会，埼玉，2017 年 11 月 16 日。
8. 新谷明一：デジタルデータの補正に対する考察と臨床，第 3 回補綴歯科臨床研鑽会，大阪，2017 年 12 月 17 日。
9. 五味治徳：材料特性を考慮した補綴装置選択のポイント，群馬県日本歯科大学校友会，群馬，2018 年 1 月 28 日。
10. 新谷明一：CAD/CAM 補綴との付き合い方，富山県日本歯科大学校友会学術大会，富山，2018 年 1 月 28 日。
11. Shinya A：The latest topic of fibre reinforced composite in Japan，Turku Dental Society 2nd TCBC Midwinter Meeting，フィンランド・トゥルク，2018 年 2 月 9 日。
12. Hatta M：The effect of IPN forming polymer to the bonding and mechanical properties of fibre-reinforced composite，Turku Dental Society 2nd TCBC Midwinter Meeting，フィンランド・トゥルク，2018 年 2 月 9 日。
13. 五味治徳：スポーツ歯学 知っておきたい基礎知識～東京オリンピックに向けて，学ぼうスポーツ歯学～，東京都日本歯科大学校友会，東京，2018 年 2 月 22 日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での開催

記載事項なし

1. 所属構成員等

准 教 授 松野 智宣, 宮坂 孝弘
講 師 北原 和樹 (併任)
助 教 浅野 一成, 宮澤 敦子
客 員 教 授 伊藤 敦夫, 大野 忠夫, 田畑 泰彦, 武川 寛樹, 森 良之,
吉岡 亨, 吉本 世一
客 員 准 教 授 井出 勝久
非 常 勤 講 師 秋山 眞一, 井川 淳一, 五十嵐史征, 井出 公一, 伊藤 眞,
大村 眞基, 小俣 和彦, 斉藤 俊夫, 早乙女雅彦, 高松 和広,
玉澤 学, 谷内 俊一, 藤原 博, 宮井 崇宏, 山内 由隆,
山口 昌彦, 山田 隆久
大 学 院 生 三木 貴仁, 山口 友輔

2. 研究テーマ

- 1) 複合骨再生材料を用いた歯槽骨再生の基礎研究 Basic research on alveolar bone regeneration using composite bone biomaterials.
- 2) 骨・歯周組織のための再生医工学 The regenerative medical engineering for bone and periodontal tissue.
- 3) 口腔疾患に対する抗酸化療法 Antioxidative therapy for oral diseases.
- 4) チタンの表面改質が骨生体活性に及ぼす影響 Effects of bone bioactivity by surface modification.
- 5) 骨補填材料の比較研究 Comparative study of bone substitutes.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 口腔インプラント学会平成 29 年度学会優秀論文賞受賞, 斎藤沙耶, 平成 29 年 10 月 24 日, H₂O₂ 水熱酸化処理と FGF-2 によるチタン体表面の機能化の *in vitro* における評価.
- 2) Oral Reconstruction Symposium JAPAN 3rd Prize 受賞, 三木貴仁, 平成 29 年 10 月 9 日, チタンのぬれ性を高める安全で簡単な表面処理.
- 3) 第 30 回台湾口腔外科学会 Award of Best Poster 受賞, 山口友輔, 平成 30 年 3 月 11 日, Pilot study of biphasic bone substitutes with precipitator low crystalline nano hydroxyapatite.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 第 12 回口腔機能再建インプラント研究会, 日本歯科大学生命歯学部, 東京都, 2017 年 7 月 3 日, 松野智宣.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 28~30 年, 電解還元性イオン水によるチタン表面のバイオロジカルエイジングの制御と生体機能化, 松野智宣 (代表), 浅野一成 (分担), 4,810,000 円, 平成 29 年度 1,560,000 円.
- 2) 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 28~30 年, 浅野一成 (代表), 松野智宣 (分担), 高齢者の観血的歯科治療安全チェックリストの作成とその評価, 3,250,000 円, 平成 29 年度 1,100,000 円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 松野智宣 (分担執筆) : 第 4 章 高齢者に多い口腔疾患と対応 4. 口腔カンジダ症, 184-185, 新改訂版 知りたいことがわかる 高齢者歯科医療—歯科医療につながる医学知識—第 2 版, 小谷順一郎, 砂田勝久 (編集), 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1323-2.
2. 松野智宣 (分担執筆) : 6 章 内分泌代謝・骨・血液, 96-99, 5 分で読める! 知りたい全身疾患 29, 中川洋一 (編著), デンタルダイヤモンド社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-88510-379-7.
3. 北原和樹 (分担執筆) : 感染症化学療法, 549-553, 向精神薬, 559-560, 最新 口腔外科学 第 5 版, 榎本昭二, 道 健一, 天笠光雄, 小村 健 (監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45806-8.

B. 原著

1. *Makiishi J, Matsuno T, Ito A, Sogo Y, Satoh T : *In vitro/in vivo* evaluation of the efficacy of gatifloxacin-loaded PLGA and hydroxyapatite composite for treating osteomyelitis, ☆Dent. Mater. J., 2017 ; 36 (6) : 714-723, doi : 10.4012/dmj.2016-338. (学位論文)
2. *Yamauchi Y, Matsuno T, Omata K, Satoh T : Relationship between hyposalivation and oxidative stress in aging mice, ☆J. Clin. Biochem. Nutr., 2017 ; 61 (1) : 40-46, doi : 10.3164/jcfn.16-79. (学位論文)
3. Miyazawa A, Washington J, Bingham EL, Kuo S, Feinberg SE : Utilisation of a bioreactor for culture and expansion of epithelial cells without the use of trypsin or enzymes, ☆Chin. J. Dent. Res., 2018 ; 21 (1) : 21-29, doi : 10.3290/j.cjdr.a39915.
4. Kuo S, Kim HM, Wang Z, Bingham EL, Miyazawa A, Marcelo CL, Feinberg SE : Comparison of two decellularized dermal equivalents, ☆J. Tissue Eng. Regen. Med., 2018 ; 12 (4) : 983-990, doi : 10.1002/term. 2530.

C. 総説・解説

1. 松野智宣, 浅野一成, 又賀 泉 : インプラント治療における骨移植材の必要性とその特徴, 顎顔面インプラント誌, 16 : 3-9, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 松野智宣, 高橋恭久 : 対談企画 自家骨に代わりうる骨補填材料はあるか?—材料の特徴とその選択基準—, Quinestence DEANTAL Implantology, 24 : 36-48, 2017.
2. 近藤博子, 筑比地昌子, 田村文誉, 田沼直之, 高橋 智, 松野智宣 : 座談会 子供の食を育む歯科からのアプローチ, 日歯医学会誌, 37 : 5-32, 2018.

3. 松野智宣：トピックス 口腔内の白色病変，日歯医学会誌，37：71，2018.
4. 松野智宣：BOOKS 薬剤・ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 MRONJ～最新 米国口腔顎顔面外科学会と本邦の予防・診断・治療の指針～，日歯会誌，70：417，2017.
5. 松野智宣：BOOKS アナトミー インプラントのための外科術式と画像診断，日歯会誌，70：569，2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 松野智宣，浅野一成，北原和樹：FGF-2 を局所徐放するゼラチン/ハイドロキシアパタイト複合体顆粒による骨再生，歯薬療法，36（2）：77，2017.
2. 浅野一成，荘司洋文，藤城建樹，柳下寿郎，井出吉昭，中原 貴，松野智宣：下顎犬歯と癒着し，口腔内に露出した複雑性歯牙腫の1例，日口外誌，63（Supplement）：216，2017.
3. 三木貴仁，山口友輔，浅野一成，松野智宣：電解還元性イオン水によるチタン表面のバイオロジカルエイジングの制御と生体機能化，顎顔面インプラント誌，16（3）：246，2017.
4. 滑川初枝，青木春美，田中とも子，横澤 茂，富永徳子，沼部幸博，松野智宣，千葉忠成，田谷雄二，松岡孝典，中西生美，大津光寛，仲谷 寛，石田鉄光：日本歯科大学生命歯学部1年生PBLテュートリアル教育における意識調査—平成23年度と平成28年度との比較—，第36回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集，112，2017.
5. 鈴木 恵，茂原宏美，浦野瑤子，小倉千幸，池田亜紀子，須田真理，関口洋子，市川順子，野村正子，合場千佳子，池田利恵，内川喜盛，北原和樹，佐藤 勉，小口春久，奈良陽一郎：日本歯科大学東京短期大学におけるコミュニケーション学の効果と問題点，第36回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集，133，2017.
6. 宮坂孝弘，北原和樹，小林さくら子，菊池憲一郎，新谷明一，柴田 潔，佐藤 勉，内川喜盛，大津光寛，小川智久，筒井健夫，沼部幸博，羽村 章：チーム基盤型学習法（TBL）を活用した禁煙支援教育への取り組み，第36回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集，134，2017.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 松野智宣：シンポジウム 骨補填材の特徴とその適応，第20回日本先進インプラント医療学会総会・学術大会，東京，2017年9月3日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 松野智宣：口福・腸美人は健康のもと～口内環境と腸内フローラ調整で健康維持，読売・日本テレビ文化センター健康公開講座，神戸，2017年4月1日.
2. 松野智宣：骨補填材の適材適所を学ぶ，京セラ The Meeting of Bone Substitutes，札幌，2017年4月2日.
3. 松野智宣：骨補填材の適材適所を学ぶ，京セラ The Meeting of Bone Substitutes，大阪，2017年4月9日.
4. Mastuno T, Asano K : Osteoinductive grafting material using FGF-2/hydroxyapatite for sinus floor

- augmentation: Case report, 9th Asia Pacific Dental Congress, Macau, China, May 23, 2017.
5. Miki T, Asano K, Miyasaka T, Matsuno T : Evaluation of the novel surface treatment method of titanium by electrolytic reduction ion water, 9th Asia Pacific Dental Congress, Macau, China, May 23, 2017.
 6. 松野智宣：ゼラチン/ハイドロキシアパタイト複合体顆粒による FGF-2 を局所徐放骨再生に及ぼす影響, 京都大学ウイルス・再生医科学研究所臓器再建応用分野セミナー, 京都, 2017年6月22日.
 7. 松野智宣：骨造成に必要な骨再生と骨移植材の基礎を学ぶ, Advanced Implant Institute 6日間コース, 東京, 2017年7月15日.
 8. 松野智宣：MI (Minimal Invasive) な骨造成, 第12回口腔機能再建インプラント研究会, 東京, 2017年7月30日.
 9. 松野智宣：高齢者の服用薬からわかること, モニタリングからわかること 3. 主治医に病状を照会するためのポイント ABC, 日本老年歯科医学会高齢者医療臨床研修会, 大阪, 2017年10月1日.
 10. 松野智宣：Minimum invasive bone augmentation ～MI な骨造成～, Oral Reconstruction Symposium JAPAN, 東京, 2017年10月9日.
 11. 三木貴仁, 浅野一成, 山口友輔, 松野智宣：チタンのぬれ性を高める安全で簡単な表面処理, Oral Reconstruction Symposium JAPAN, 東京, 2017年10月9日.
 12. 松野智宣：Minor Bone Augmentation—Minimal Invasive な骨造成ノススメー, 第29回バイオインテグレーション学会教育研修講演会, 東京, 2017年10月25日.
 13. 松野智宣：安心安全な高齢者歯科治療のために必要な医学的知識～問診票作成から紹介状の書き方のポイント～, 浜松市歯科医師会学術講習会, 浜松, 2017年11月26日.
 14. 松野智宣, 浅野一成, 田畑泰彦：ゼラチン/多孔質ハイドロキシアパタイト複合体の FGF-2 徐放効果と骨再生, 第7回 DDS 再生医療研究会, 東京, 2017年12月23日.
 15. 松野智宣：低侵襲に骨を造成する～Minor bone augmentation のすすめ～, OZ の会 12月例会, 東京, 2017年12月24日.
 16. 松野智宣：HA とチタンインプラントの使い分け～それぞれの特徴をご存じですか?～, 第13回口腔機能再建インプラント研究会, 東京, 2018年1月21日.
 17. 宮坂孝弘：高齢者リスク患者の歯科診療への対応について—トラブルを避けるための口腔外科小手術のポイント—, 千葉県日本歯科大学校友会学術講演会, 千葉, 2018年1月28日.
 18. 松野智宣：インプラント治療における骨造成について, 第1回ミューワン症例検討会, 東京, 2018年2月1日.
 19. 松野智宣：チタンと HA の生体親和性, 京都大学ウイルス・再生医科学研究所臓器再建応用分野セミナー, 京都, 2018年2月15日.
 20. 松野智宣：Osseointegration と Biointegration～それぞれの特徴, 周囲炎, 使い分け～, Advanced Implant Institute 6日間コース, 東京, 2018年2月24日.
 21. 松野智宣：直ぐに使える問診票と医療面接のポイントから歯科的対応まで～疾患別の照会状の書き方～, 学術フォーラム 2018, 東京, 2018年2月25日.
 22. Miki T, Asano K, Yamaguchi Y, Matsuno T : Evaluation of the novel surface treatment method of titanium by electrolytic reduction ion water, 9th Asia Pacific Dental Congress, Kaohsiung, Taiwan, Mar 10, 2018.
 23. Yamaguchi Y, Asano K, Miki T, Mitsuhashi F, Matsuno T : Pilot study of biphasic bone substitute with precipitator low crystalline nano hydroxyapatite, Kaohsiung, Taiwan, Mar 10, 2018.
 24. 宮坂孝弘：平成 29 年度高萩市 市民講座「歯とからだの講演会」, 茨城, 2018年3月11日.

25. 松野智宣：Minor bone augmentation, IOM 国際口腔医療ネットワーク第 76 回例会, 東京, 2018 年 3 月 17 日.
26. 松野智宣：インプラントの表面性状が周囲炎に及ぼす影響, 第 31 回口腔インプラント学会専門医臨床技術向上講習会, 東京, 2018 年 3 月 18 日.

1. 所属構成員等

教 授 砂田 勝久
講 師 篠原健一郎, 筒井友花子
助 教 森本 恵子, 酒井 有沙
臨 床 研 究 生 町田 詩織, 佐藤 那奈
客 員 教 授 等 中村 達雄, 勝山 直彦, 新崎 裕一
非 常 勤 講 師 山城三喜子, 天野 高志, 三浦 誠, 重枝 昭広, 吉江 誠,
花俣 直利, 高木 元英, 山下 香絵, 吉野 秋男, 三浦 明子,
西澤 克哉, 岡本 豊
大 学 院 生 辻本源太郎 (4月~10月), 石井 彩里, 安田 佑理, 村田奈保子,
藤森 翔子, 深見 隼人, 押切 孔

2. 研究テーマ

- 1) 塩酸デクスメドミジンが局所麻酔薬の効果に及ぼす影響 Study of Dexmedetomidine for effect of local anesthesia.
- 2) 局所麻酔薬の組織浸透性に関する研究 Study of tissue permeability of local anesthetics.
- 3) 局所麻酔薬に添加された血管収縮薬が SHR の循環動態に与える影響について The effect of vasoconstrictors added in local anesthetics on hemodynamic responses of SHR.
- 4) 交感神経ブロックが末梢神経再生に与える影響について Effect of sympathetic block for peripheral nerve regeneration.
- 5) 静脈内鎮静法の安全性向上に関する研究 Study of safety measures for intravenous sedation.
- 6) 歯科用局所麻酔施行時の不安に関する研究 Study of anxiety before dental local anesthesia.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 辻本源太郎, 頸部交感神経節切除が Polyglycolic acid-collagen tube による顔面神経再建に及ぼす影響, 平成 29 年 12 月 1 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 砂田勝久: Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies (FADAS) 理事. 日中韓が中心となって運営しているアジア歯科麻酔学会の日本代表理事として, 学会運営に携わっている.
- 2) 砂田勝久: Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine (JDAPM) Editor of Japanese Division. FADAS の official journal である JDAPM の editor として, 雑誌の発行に携わっている.

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 28 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤（C）（継続），平成 28～30 年度，バソプレシン局所投与による血管収縮作用とリドカインの局在延長効果の検討，砂田勝久（代表），4,550,000 円，平成 29 年度 910,000 円。
- 2) 日本歯科薬品株式会社，委託研究（継続），平成 28～30 年，香りを有する表面麻酔剤の塗布による局所麻酔剤注射時の不安軽減に関する研究，筒井友花子（代表），700,000 円。（総額 700,000 円という契約になっており，年度毎に区切っておりません。）

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 砂田勝久（分担執筆）：脳梗塞，62-65，小谷順一郎，砂田勝久（編），新訂版 知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療—歯科医療につながる医学知識—，永末書店，京都市，2017，ISBN：978-4-8160-1323-2.
- 2) 砂田勝久（分担執筆）：脳出血，66-67，小谷順一郎，砂田勝久（編），新訂版 知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療—歯科医療につながる医学知識—，永末書店，京都市，2017，ISBN：978-4-8160-1323-2.
- 3) 砂田勝久（分担執筆）：常備すべき救急薬剤，252-253，小谷順一郎，砂田勝久（編），新訂版 知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療—歯科医療につながる医学知識—，永末書店，京都市，2017，ISBN：978-4-8160-1323-2.
2. 砂田勝久（分担執筆）：体重減少・体重増加，68-69，今井 裕，岩淵博史（監修），有病者歯科学，永末書店，京都市，2017，ISBN：978-4-8160-1335-5.

B. 原著

1. *Sato N, Saiki C, Tamiya J, Imai T, Sunada K : Imidazoline 1 receptor activation preserves respiratory drive in spontaneously breathing newborn rats during dexmedetomidine administration, ◎☆Pediatric Anesthesia, 2017 ; 27 : 506-515, doi : 10.1111/pan.13107. (学位論文)
2. *Tsujiimoto G, Sunada K, Nakamura T : Effect of cervical sympathetic ganglionectomy on facial nerve reconstruction using polyglycolic acid-collagen tubes, ◎☆Brain Research, 2017 ; 1669 : 79-88, doi : 10.1016/j.brainres.2017.05.028. (学位論文)
3. *Shionoya Y, Sunada K, Shigeno K, Nakada A, Honda M, Nakamura T : Can nerve regeneration on an artificial nerve conduit be enhanced by ethanol-induced cervical sympathetic ganglion block?, ◎☆◇PLOS ONE, 2017 ; 12 (12) : e0189297, doi : 10.1371/journal.pone.0189297. (学位論文)
4. *Tonooka Y, Sunada K : Dexmedetomidine Enhances the Pulpal Anesthetic Effect of Lidocaine: A Pilot Study, ◎Anesthesia Progress, 2018 ; 65 (1) : 38-43, doi : 10.2344/anpr-65-01-05. (学位論文)
5. *杉本直哉, 砂田勝久 : エスモロールまたはニカルジピンで血圧コントロールした SHR/Izm の舌にアドレナリンを投与した場合の循環動態の比較, ○歯科薬物療法, 2017 ; 36 (1) : 15-20. (学位論文)
Sugimoto N, Sunada K : The comparison of hemodynamics for adrenaline injection to tongue of spontaneously hypertensive rats/Izm with esmolol hydrochloride or nicardipine hydrochloride, ○Oral Therapeutics and Pharmacology, 2017 ; 36 (1) : 15-20.
6. Morimoto K, Tsutsui Y, Ogura S, Sunada K : Are Wireless Electric Stethoscopes useful for respiratory rate Monitoring During Intravenous Sedation?, ◎☆J Oral Maxillofac. Surg., 2017 ; 76 (1) : 70.e1-70.e5,

doi : 10.1016/j.joms.2017.08.023. [Epub 2017 Aug 24]

7. Tsutsui Y, Sunada K : A Combination of Dexmedetomidine and Lidocaine Is a Cardiovascularly Safe Dental Local Anesthetic for Hypertensive Rats Treated With a Nonselective β -Adrenergic Antagonist, ©Anesth. Prog., 2017 ; 64 (4) : 221-225, doi : 10.2344/anpr-64-04-09.
8. Tsutsui Y, Sunada K : Dexmedetomidine Increases the Latency of Thermal Antinociception in Rats, ©Anesth. Prog., 2017 ; 64 (4) : 230-234, doi : 10.2344/anpr-65-01-08.

C. 総説・解説

1. 砂田勝久 : よく聞く, よく効く麻酔, 日本歯科医師会雑誌, 70 (2) : 37-44, 2018.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 砂田勝久 (分担執筆) : 表面麻酔 浸潤麻酔の仕方, 小児歯科臨床, 22 (7) : 6-11, 2018.
2. 砂田勝久 : 読むとよく効く歯科麻酔の勘所 Q&A, ザ・クインテッセンス, 36 (7) : 98-109, 2018.
3. 筒井友花子 : 第 17 回韓国集中治療医学会・日本集中治療医学会学術交流合同会議に参加して, 日歯麻誌, 45 (3) : 385, 2017.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Shinohara K, Ishii S, Sunada K : Anesthetic management of a patient with post-hyperventilation apnea during dental treatment, FDI World Dental Congress Madrid 2017 Final Program, 203, 2017, <http://2017.world-dental-congress.org/index.php/en/abstracts/abstract-book>. (参照 2018.4.2)
2. 川田理絵, 武居まゆみ, 上地 瞳, 谷戸 茜, 櫻井 渚, 卯月若葉, 藤田千紘, 今野 歩, 篠原健一郎, 三浦 誠, 砂田勝久, 武藤光央, 吉田直人 : 当センターにおける日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士に対する意識調査, 日歯麻誌, 45 (4) : 615, 2017.
3. Tsutsui Y, Mizuno J, Sunada K : Effects of dental local anesthesia on mental stress and autonomic nerve activity, The Korean Society of Critical Care Medicine, 129, 2017.
4. Sakai A, Morimoto K, Tsutsui Y, Shinohara K, Sunada K : A clinical statistical study on the management of general anesthesia and intravenous sedation in the Tama Oral Rehabilitation Clinic, The Nippon Dental University, FADAS 2017 ABSTRACT BOOK, 30, 2017 (Seoul, 2017.6.18), http://www.fadas2017.org/docs/FADAS2017abstract_book.pdf/. (参照 2018.3.15)
5. Morimoto K, Ogura S, Shinohara K, Sunada K : Respiratory rate is an inadequate parameter of ventilation in non-intubated sedation, FADAS 2017 ABSTRACT BOOK, 30, 2017 (Seoul, 2017.6.18), http://www.fadas2017.org/docs/FADAS2017abstract_book.pdf/. (参照 2018.3.15)
6. 森本恵子, 筒井友花子, 小倉 晋, 砂田勝久 : 鎮静下呼吸管理における無線式聴診器の有用性, 臨床モニター, 28 : 59, 2017.
7. 筒井友花子, 水野 樹, 砂田勝久 : 歯科用局所麻酔宣言前後の緊張感, 不安感, 恐怖感, 心拍変動, 唾液アミラーゼ活性の性別解析, 日歯麻誌, 45 (4) : 539, 2017.
8. 筒井友花子, 水野 樹, 砂田勝久 : 歯科用局所麻酔宣言前後の香り付き表面麻酔剤の自己選択が精神的ストレスおよび自律神経活動へ及ぼす効果, 障害者歯科, 38 (3) : 308, 2017.
9. 塚脇香苗, 森本恵子, 筒井友花子, 砂田勝久 : メチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素欠損症を疑う

- 重度知的障害者に日帰り全身麻酔を行った一症例, 日本臨床麻酔学会誌, 27 (6) : S336, 2017.
10. 酒井有沙, 砂田勝久 : デクスメデトミジンがクロルプロマジン投与ラットの循環動態と心機能に及ぼす影響—アドレナリン投与時との比較—, 日歯麻誌, 45 (4) : 597, 2017.
 11. 酒井有沙, 伊藤みゆき, 岩重春伽, 平川景子, 塚脇香苗, 宮下直也, 砂田勝久 : Lennox-Gastaut 症候群患者に対するプロポフォールを用いた静脈内鎮静法経験, 障歯誌, 38 (3) : 311, 2017.
 12. 結城百合子, 石垣佳希, 吉田和正, 北詰栄里, 丹野咲希, 麻生真希, 小谷田貴之, 阿部恵一, 中村仁成, 森本恵子, 砂田勝久 : Landau-Kleffner 症候群患者の全身麻酔下での抜歯経験, 第 27 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 146, 2018.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Sunada K : Dental Anesthesia for the Special Needs. How to Manage Dental Phobia Patients, The 10th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies and the 17th Annual Meeting of the Korean Society of Dental Anesthesiology, Symposium, Seoul, 2017.6.18.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 砂田勝久 : 聞くとよく効く麻酔の話, 国立歯科医師会, 国立市 (4 月 19 日), DENTSPLAY 社講演, 東京 (5 月 11 日), JACID 日本インプラント学会認定講習会, 大阪 (5 月 14 日), バイオインテグレーション学会, 東京 (9 月 3 日), 比企郡歯科医師会, 埼玉 (9 月 10 日), コサカ学術研修会, 東京 (9 月 15 日), DENTSPLAY 社講演, 広島 (10 月 8 日), DENTSPLAY 社講演, 札幌 (10 月 22 日), DENTSPLAY 社講演, 名古屋 (11 月 19 日), DENTSPLAY 社講演, 名古屋 (11 月 26 日), DENTSPLAY 社講演, 大阪 (12 月 3 日), DENTSPLAY 社講演, 徳山 (12 月 17 日).
2. 砂田勝久 : こんな患者が来院したら, 北足立歯科医師会, 鴻巣市 (5 月 17 日), 埼玉歯科医師会, (7 月 23 日), 埼玉県歯科医師会, さいたま市 (11 月 17 日).

1. 所属構成員等

教 授 新井 一仁
助 教 鈴木 章弘, 栃木 啓佑, 佐是奈織美, 秋山宗太郎
臨 床 研 究 生 塩谷 翔太, 生駒 美沙
客 員 教 授 大野 肅英, 近藤 悦子
客 員 准 教 授 中村 俊弘
非 常 勤 講 師 隅田 能英, 堂 信夫, 藤城 康二, 清水 秀彦, 菊池 薫,
上保 基, 大坪 邦彦, 織田聰一郎, 新谷まきは, 大野由希肅,
秦 響子, 渡辺 和也, 星野 亨
大 学 院 生 幸田 隆史, 川嶋 優花, 佐藤 絢香, 松村 嘉子, 矢部 愛子,
加藤万紀子, 舘 晶彦
聴 講 生 矢沢 貴, 木本 晶子

2. 研究テーマ

- 1) 歯列弓形態の三次元的分析 Three-dimensional morphometric analysis of dental arch form.
- 2) プリアジャステッド・アプライアンスのメカニクスに関する臨床的研究 Clinical study in treatment mechanics of preadjusted appliances.
- 3) 矯正歯科治療における咀嚼運動の三次元 6 自由度分析 Chewing movement and orthodontic treatment in three-dimensional and six-degree of freedom.
- 4) 不正咬合の人類学的研究 Anthropological study of malocclusion.
- 5) 歯の異常の遺伝的背景 Genetic origin of dental anomalies.
- 6) 矯正力の三次元バイオメカニクス Three-dimensional biomechanics of orthodontic force.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本矯正歯科学会 学術大会優秀発表賞, 大坪邦彦, 藤田浩嗣, 今井なほこ, 海老原康宏, 櫻井誠人, 小笠原法子, 黒田由紀子, 林 澄玲:平成 29 年 10 月 20 日, デンタルインプラント治療を併用した包括的矯正単独治療により咬合を再構築した高齢者の骨格性下顎前突症例.

4. 学位取得者

- 1) 生駒美沙, 上顎前歯部に重度の叢生を伴う Angle I 級成人女性患者の頭蓋顔面の形態的特徴, 平成 29 年 9 月 4 日, 日本歯科大学.
- 2) 川嶋優花, セファロ分析上の特徴が矯正歯科治療後の女性患者における正貌スマイルの審美評価に与える影響, 平成 30 年 2 月 23 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) Professor Thomas Fischer (Assistant Clinical Professor, Department of Orthodontics, Tufts University, School of Dentistry, Boston, Massachusetts, United States) による講演会を, 歯科矯正学講座内にて

大学院生を主な対象として開催。演題「Smile Analysis in Orthodontics」。(2017年4月7日)

- 2) Professor Steven Jay Bowman (MSD, Adjunct Associate Professor at Saint Louis University, Clinical Associate Professor at Case Western Reserve University, and an instructor at The University of Michigan, United States) による講演会を、本館3階講堂において日本歯科大学歯科矯正学教室同門会会員および歯科矯正学講座と大学院生を対象として開催。演題「Pushing back or moving forward: miniscrews simplified for Class III's and II's」。(2017年7月6日)
- 3) Professor Abdullah M. Aldrees (BDS, DMSc, Vice-Dean for Academic Affairs, Professor, Division of Orthodontics, Department of Pediatric Dentistry and Orthodontics, College of Dentistry, King Saud University, Riyadh, Saudi Arabia) による講演会を、本館3階講堂において日本歯科大学歯科矯正学教室同門会会員および歯科矯正学講座と大学院生を対象として開催。演題「Finishing in Orthodontics: What the Experts Say」。(2017年7月7日)
- 4) 新井一仁, 織田聡一郎 : Prof. Leslie A. Will and Dr. Matt R. Miner (米国, Department of Orthodontics, Boston University) との共同研究, 「歯列弓・歯槽基底弓形態の三次元的分析」, 2001年～継続中。
- 5) 新井一仁 : Prof. Sheldon Peck (米国, University of North Carolina) との共同研究, 「Japanese Angle Students from 1907 to 1926」, 「Ethnic difference in orthodontics」, 2006年～継続中。
- 6) 新井一仁 : Dr. Pornrachanee Sawaengkit (タイ, Mahidol University, School of Dentistry, Department of Orthodontics) との共同研究, 「日本人とタイ人の歯科矯正学における形態計測学的研究」, 2010年～継続中。
- 7) Arai K : Ambassador of the American Association of Orthodontists (AAO) (2014～)。
- 8) Arai K, Ikoma M, Hata K : Research collaboration with Dr. Joseph Bouserhal and Professor Nayla Bassil-Nassif, Saint Joseph University, Beirut, Lebanon, Join institution Perception in facial esthetics in orthodontics (March 2016～)。
- 9) Arai K : By-Laws Committee member, Eastern Component of the Edward Hartley Angle Society of Orthodontists (March 2016～)。

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 若手研究 (B) (継続), 平成28～30年度, ゲル状磁気式触覚センサを応用した新たな歯根膜矯正力測定システムの開発, 栃木啓佑 (代表), 4,160,000円, 平成29年度 650,000円。
- 2) 生命歯学部公募研究 研究機器購入, アイトラッキング分析による矯正装置装着が顔貌認知に与える影響の評価, 新井一仁 (代表), 松村嘉子 (分担), 3,635,000円, 平成29年度 3,635,000円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 新井一仁 (共著) : 野澤 茂の夢、松本茂暉の願い, 1-14, 医療法人社団 日本整美会 整美会矯正歯科クリニック 50周年記念誌, 整美会矯正歯科クリニック, 東京都, 2017。

B. 原著

1. *Shioya S, Arai K : Dentoskeletal morphology of adult Class II division 1 and 2 severe deep overbite malocclusions, *Orthodontic waves*, 2017 ; 76 (2) : 97-104, doi : 10.1016/j.odw.2017.01.003. (学位論文)
2. *Ikoma M, Arai K : Craniofacial morphology in women with Class I occlusion and severe maxillary anterior

crowding, ☆◎American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics, 2018 ; 153 (1) : 36-45, doi : 10.1016/j.ajodo.2017.05.026. (学位論文)

3. *Suzuki A, Arai K, Hisa I: Mandibular dental-basal arch forms in skeletal Class III patients with mandibular prognathism, ○Orthodontic waves, 2017 ; 76 (3) : 174-183, doi : 10.1016/j.odw.2017.05.002. (学位論文)
4. *Kimoto A, Oda S, Arai K: Effect of vertical reference point deviations on crown inclination, ○Orthodontic Waves, 2017 ; 76 (3) : 151-156, doi : 10.1016/j.odw.2017.05.003. (学位論文)

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 新井一仁: 下顎用の細いラウンド・ニッケルチタンアーチワイヤーの形態的評価, Variation in form of mandibular, light, round, preformed NiTi archwires, 英文誌掲載論文紹介, 東京矯正歯科学会雑誌, 27 (1) : 41, 2017.
2. 前田芳信, 細川隆司, 近藤尚知, 前田早智子, 菊池 薫: 特別対談「補綴治療と矯正治療のよりよい相互補充のアプローチ」後編 補綴医の症例を矯正医とともに検討する, 補綴臨床, 50 (3) : 286-304, 2017.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 栃木啓佑, 新井一仁, 佐是奈織美, 幸田隆史: エッジワイズ装置における下顎舌側転位時の結紮方法の違いでみた各歯に加わる力の違い, 第 70 回日本歯科理工学会学術講演会プログラムおよび講演集, 407, 2017.
2. 栃木啓佑, 新井一仁, 佐是奈織美, 幸田隆史: 結紮方法の違いでみた舌側転位した下顎切歯に加わる唇側方向の矯正力の比較, 第 76 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 76: 173, 2017.
3. 栃木啓佑, 佐是奈織美, 幸田隆史, 新井一仁: マルチブラケット装置における下顎左側側切歯の舌側転位量の違いが各歯に加わる力に与える影響, 第 69 回日本歯科理工学会学術講演会プログラムおよび講演集, 156, 2017.
4. 幸田隆史, 佐是奈織美, 栃木啓佑, 新井一仁: ステンレススチール製矯正用プリフォームドアーチワイヤーの犬歯間と第一大臼歯間の幅径, 第 69 回日本歯科理工学会学術講演会プログラムおよび講演集, 400, 2017.
5. 秋山宗太郎, 新井一仁: 歯槽性上下顎前突における歯の位置的評価, 東京矯歯誌, 27 (2) : 144, 2017.
6. 塩谷翔太, 新井一仁: 過蓋咬合を伴う Angle II 級 1 類と 2 類不正咬合の形態的特徴, 東京矯歯誌, 27 (2) : 144, 2017.
7. 塩谷翔太, 新井一仁: Angle II 級 1 類および 2 類の過蓋咬合の程度に関連する形態的特徴の比較, 第 76 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 76 : 262, 2017.
8. 小林さくら子, 片岡綾乃, 吉屋慶章, 小森 成, 塩谷翔太, 新井一仁: 矯正歯科における症例検討会に対する参加者の意識調査, 第 36 回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集,

33 (3) : 147, 2017.

9. 生駒美沙, 新井一仁: 上顎両側犬歯の低位唇側転位を伴う Angle I 級成人女性患者の頭蓋底の形態的特徴, 第 76 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 76 : 153, 2017.
10. 大坪邦彦, 藤田浩嗣, 今井なほこ, 海老原康宏, 櫻井誠人, 小笠原法子, 黒田由紀子, 林 澄玲: デンタルインプラント治療を併用した包括的矯正単独治療により咬合を再構築した高齢者の骨格性下顎前突症例, 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 76 : 284, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 新井一仁: 科学的な歯科医療と非科学的な歯科医療, 平成 29 年度歯科医師臨床研修講演, 日本歯科大学九段ホール, 2017 年 4 月 19 日.
2. 新井一仁: アングル・スクールの誕生, 国立大学法人徳島大学大学院講義 (先端口腔科学特論) 口腔顎顔面矯正学分野同門会講演会, 歯学部 4 階示説室, 徳島市, 2017 年 7 月 19 日.
3. 新井一仁: 野澤茂の夢と松本茂暉の願い, 整美会矯正歯科クリニック 50 周年記念祝賀会, ホテルグランドヒル市ヶ谷, 東京都, 2017 年 9 月 2 日.
4. 渡辺和也: ストレートワイヤーエッジワイズシステムの臨床, 大阪歯科大学歯科矯正学講座同門会 秋期学術講演, 大阪市, 2017 年 9 月 28 日.
5. 渡辺和也: 開業歯科医の地域における社会貢献について, 日本歯科大学生命歯学部歯科矯正学講座平成 29 年度臨床セミナー, 千代田区, 2017 年 10 月 6 日.
6. 新井一仁: 卒後教育委員会兼務研修機関検討委員会からのお願い—American Association of Orthodontists, Benefits of AAO International Membership, 公益社団法人 日本矯正歯科学会, 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会, 指導者講習会卒後教育委員会, 北海道札幌市, 2017 年 10 月 18 日.
7. 大坪邦彦: 進化するカスタムメイド (マウスピース型) 矯正歯科治療—診断の重要性と治療上の注意点—, 長野県矯正研究会, 長野県長野市, 2017 年 12 月 3 日.
8. Arai K : Critique to The Boundaries of Tooth Movement: Bone and Company by Joseph Ghafari, Aida Room, Hotel Rosa Grand, Milano, Italy, March 13th, 2018.
9. Otsubo K : Deep Horizontal Impaction of the Mandibular Second Molar, Angle East-EHASO 2018 Meeting, Milano, Italy, March 9th–March 13th, 2018.

1. 所属構成員等

教 授 荻部 洋行
准 教 授 河上 智美
講 師 名生 幸恵
助 教 加藤 雄一, 岡本亜祐子
臨 床 研 究 生 小口 莉代
客 員 教 授 小口 春久
非 常 勤 講 師 坂井 正彦, 萩原 洋子, 石井 伸明, 米山 博己, 宮島 圭介,
小方 清和, 酒寄 浩章, 荻原 栄和, 中 暁子, 島津 貴咲
大 学 院 生 鎌田 弘明

2. 研究テーマ

- 1) 若年期の口腔顔面痛に関する研究 Orofacial pain in children and adolescents.
- 2) 小児の歯科治療における情動に関する研究 Emotional mechanism in children during dental treatment.
- 3) 若年期の行動歯科学に関する研究 Behavioral dentistry in children and adolescents.
- 4) 全身疾患を有する小児の歯・顎顔面頭蓋の成長に関する研究 Dent-maxillo-craniofacial growth in children with systemic disease.
- 5) 小児期における口腔疾患の予防に関する研究 Prevention of dental disease for children.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) International Association of Paediatric Dentistry, J Morita Award, 荻部洋行, 2017年10月7日, Geographical differences in orofacial pain conditions and daily activities in Japanese children.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 平成29年度 日本歯科大学歯学会 第4回ウインターミーティング, 東京, 平成29年12月9日, 荻部洋行.

6. 国際交流状況

- 1) 荻部洋行 : Dr. Greg Goddard (University of California San Francisco, USA) との共同研究, 歯科治療における統合医療の有効性に関する研究, 2006年10月1日～継続中.
- 2) 荻部洋行 : Dr. Masahiro Heima (Case Western Reserve University) との共同研究, 若年期の行動歯科学に関する研究, 2017年4月～継続中.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会研究費, 基盤研究 (C) (新規), 平成29～32年度, 非侵襲的脳機能画像法による歯科恐怖症の脳内ネットワークの解明と新たな対応法の開発, 荻部洋行 (代表), ほかに3名 (分担), 4,810,000円, 平成29年度 1,560,000円.

- 2) 日本学術振興会研究費，基盤研究 (C) (新規)，平成 29～31 年度，抗腫瘍薬による歯髄組織障害の客観的評価と齶蝕原因菌への効果的なアプローチ法の探索，河上智美 (代表)，荏部洋行 (分担)，4,680,000 円，平成 29 年度 1,820,000 円。
- 3) 日本学術振興会研究費，若手研究 (B) (継続)，平成 24～26 年度 (期間延長)，健全エナメル質フッ素化度測定による新たなカリエスリスク判定基準の開発，名生幸恵 (代表)，4,420,000 円。
- 4) 日本学術振興会研究費，若手研究 (B) (継続)，平成 27～29 年度，2 次元マトリックス化による歯科心身症の診断法の確立と治療体系の構築，加藤雄一 (代表)，3,900,000 円，平成 29 年度 1,040,000 円。
- 5) 日本学術振興会研究費，基盤研究 (C) (新規)，平成 29～31 年度，歯科治療時における嘔吐反射を抑制する新しいリラクセーション法の臨床応用，岡本亜祐子 (代表)，荏部洋行 (分担)，4,680,000 円，平成 29 年度 2,600,000 円。
- 6) 日本学術振興会研究費，基盤研究 (C) (新規)，平成 29～31 年度，免疫抑制剤服用小児における歯肉増殖症の発症メカニズムの解明と予防プロトコルの確立，島津貴咲 (代表)，荏部洋行 (分担)，ほか 2 名 (分担)，4,550,000 円，平成 29 年度 1,560,000 円。
- 7) 日本学術振興会研究費，基盤研究 (C) (継続)，平成 26～28 年度 (期間延長)，歯科医学教育の効率化に向けた視覚認知パターンの解析，田中聖至 (代表)，荏部洋行 (分担)，ほか 1 名 (分担)，4,810,000 円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 荏部洋行 (分担執筆)：第 11 章 齶蝕 V. 歯内療法，203-221，第 14 章 口腔軟組織疾患および顎疾患 III. 顎関節症，275-284，白川哲夫，飯沼光生，福本 敏 (編)，小児歯科学 第 5 版，医歯薬出版，東京，2017，ISBN：978-4-263-45807-5。
- 2) 小方清和 (分担執筆)：第 18 章 障害児の歯科治療 VI. 障害の種類と口腔所見 6 感覚障害，7 音声言語障害，8 てんかん，382-388，白川哲夫，飯沼光生，福本 敏 (編)，小児歯科学 第 5 版，医歯薬出版，東京，2017，ISBN：978-4-263-45807-5。
2. 1) 荏部洋行 (分担執筆)：III. 精神疾患，パーソナリティ障害患者の対応ポイント 20. “落ち着けない自分”に困る子供たち，92-95，岡田智雄 (編著)，さあ，どうしよう？対応に困る患者さんたち スタッフと共有する，振り回されないためのポイント，ヒョーロンパブリシャーズ，東京，2017，ISBN：978-4-86432-036-8。
- 2) 加藤雄一 (分担執筆)：IV. 歯科でできる治療・医科との連携のポイント，102-117，岡田智雄 (編著)，さあ，どうしよう？対応に困る患者さんたち スタッフと共有する，振り回されないためのポイント，ヒョーロン・パブリッシャーズ，東京，2017，ISBN：978-4-86432-036-8。
3. 加藤雄一 (分担執筆)：10 章 痛みへの対応 03 神経障害性疼痛への対応，160-161，北村和夫 (編)，歯内療法のレベルアップ&ヒント，デンタルダイヤモンド社，東京，2017，ISBN：978-4-88510-388-9。
4. 小方清和 (分担執筆)：III. 合併症に対する留意点医学的視点からみたケアのポイント I. 歯科・口腔外科；重症心身障害児に対する口腔ケア，194-203，朝倉次男 (監修)，重症心身障害児のトータルケア 改訂第 2 版，へるす出版，東京，2017，ISBN：978-4-892-69934-4。
5. 小口春久 (共著)：小児科と小児歯科の保健検討委員会 (編)，子どもの歯・口・食の問題をめぐる育児支援ガイド，日本小児医事出版社，東京，2017，ISBN：978-4-88924-253-9。

B. 原 著

1. *Oguchi R, Takahashi Y, Shimazu K, Urano-Tashiro Y, Kawarai T, Konishi K, Karibe H : Contribution of *Streptococcus gordonii* Hsa adhesin to biofilm formation, ☆Jpn. J. Infect. Dis., 2017 ; 70 (4) : 399-404, doi : 10.7883/yoken.JJID.2016.492. (学位論文)
2. 加藤雄一, 石井隆資, 岡田智雄, 荻部洋行 : アリピプラゾールとバルプロ酸の併用によって奏効した口腔異常感症の1例, ○日歯心身, 2017 ; 32 (1) : 7-9.
Kato Y, Ishii T, Okada T, Karibe H : A case of oral dysesthesia successfully treated with the use of aripiprazole and valproic acid, ○J. Psychosom. Oral Med., 2017 ; 32 (1) : 7-9.
3. 雲野泰史, 杉本花織, 佐藤 勉, 小口春久 : 歯科技工士のインタラクション感情と歯科技工指示書による歯科医師と歯科技工士との意思疎通, ○日歯医療管理誌, 2018 ; 52 (4) : 172-181.
Kumono Y, Sugimoto K, Sato T, Oguchi H : Thoughts on Interaction of Dental Technicians and Mutual Understanding between Dentists and Dental Technicians Based on Dental Technician Instruction Form, ○ Japanese Journal of Dental Practice Administration, 2018 ; 52 (4) : 172-181.

C. 総説, 解説

1. 荻部洋行 : リスク評価による齲蝕管理法—日本版 CAMBRA の提案—, ○東京矯歯誌, 27 (2) : 159-165, 2017.
2. 河上智美 : 小児がん経験者の歯根はなぜV字型となるのか—抗腫瘍薬によるマウス臼歯の歯根形成抑制—, ○小児歯誌, 55 (3) : 345-351, 2017.
3. 小方清和, 川島由香 : てんかんや障がいをもつ子どもの歯科診療, 小児看護, 40 (7) : 770-776, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 荻部洋行 : 第4回ウインターミーティング開催, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (3) : 66-67, 2017.
2. 荻部洋行 : 第26回国際小児歯科学会にて“J Morita Award”を受賞して, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (3) : 75, 2017.
3. 河上智美 : 26th IAPD (International Association of Paediatric Dentistry) Congress に参加して, 小児歯科臨床, 23 (1) : 97-99, 2018.
4. 小方清和 : 「第2回 新生児口腔ケア研究会」に参加して, 歯界展望, 130 (3) : 590, 2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Karibe H, Okamoto A, Shimazu K, Kawakami T : Geographical differences in orofacial pain conditions and daily activities in Japanese children, Int. J. Paediatr. Dent., 27 (Suppl. 2) : 43, 2017.
2. Kawakami T, Hagiwara Y, Yoneyama H, Nakamura Y, Ogata K, Karibe H : Dental management of oral self-injurious behavior in patients with epilepsy: a Case report, Int. J. Paediatr. Dent., 27 (Suppl. 2) : 98, 2017.
3. Karibe H, Okamoto A, Kato Y, Shimazu K, Goddard G : Inter-examiner and intra-examiner reliability

- of gag reflex measurement, 31st IADR-SEA & 28th SEAADE abstract book, 201, 2017.
4. Tanaka S, Matsuda K, Kato Y, Ono S, Kamoda T, Komatsuzaki A, Karibe H, Sekimoto T : How will the dental student eye movement change with the visual material presentation methods?, 31st IADR-SEA & 28th SEAADE abstract book, 191, 2017.
 5. Yoh H, Yoshida H, Matsuzaki Y, Shirase T, Uchikawa Y, Okamura H, Karibe H : Semi-rigid splint method for severe dental trauma, FDI World Dental Congress 2017, Madrid, Spain, 2017.8.29–9.1. http://2017.world-dental-congress.org/images/site/Posters_sessions.pdf. [P358] (2018.4.6. Accessed)
 6. Koeda M, Watanabe A, Ikeda Y, Karibe H, Tateno A, Matsuura M, Suzuki H, Okubo Y : Interaction effect of voice-specific function and BDNF Val66Met: An fMRI study, Organization for Human Brain Mapping 2017, Vancouver, Canada, 2017.6.25–29. https://www.humanbrainmapping.org/files/2017/Program_Book_Final.pdf. (2018.4.6. Accessed)
 7. Koeda M, Tomizawa D, Hama T, Kato Y, Karibe H, Tateno A, Okubo Y : Cerebral Response to Non-verbal Painful Vocalization: A Preliminary fMRI Study, 24th World Congress of Psychosomatic Medicine, Beijing, China, 2017.9.13–16, <http://icpm2017.medmeeting.org/Home/AbstractSearchEn/4666>. [Abstract ID : 704493] (2018.4.6. Accessed)
 8. Takahashi Y, Oguchi R, Shimazu K, Tashiro Y, Kawarai T, Karibe H, Konishi K : Detection of *Streptococcus gordonii* Hsa gene and expression of Hsa adhesin in wild type strains, International Union of Microbiological Societies Congress 2017 (Sands Expo & Convention Centre, Singapore), 19th of July, Program book, PO189, 2017.
 9. Urano-Tashiro Y, Takahashi Y, Oguchi R, Konishi K : Two arginine residues of *Streptococcus gordonii* Hsa essential for the binding to host cell receptors, International Union of Microbiological Societies Congress 2017 (Sands Expo & Convention Centre, Singapore), 19th of July, Program book, PO219, 2017.
 10. 苅部洋行, 加藤雄一 : 歯科医師に対する信頼度と健康関連QOLとの関連性, 心身医, 57 (6) : 683, 2017.
 11. 河上智美, 小方清和, 岡本亜祐子, 苅部洋行 : てんかん患者の口腔自傷に対して保存的歯科管理を行った1例, 障歯誌, 38 (3) : 331, 2017.
 12. 加藤雄一, 石井隆資, 岡田智雄, 苅部洋行 : プレガバリンが奏効した非定型顔面痛の1例, 日歯心身, 32 (2) : 93, 2017.
 13. 鎌田弘明, 苅部洋行, 佐藤 巖 : 離乳期マウスの三叉神経節と咬筋における神経伝達物質の発現について, 第123回日本解剖学会抄録集, 180, 2018. (東京, 2018年3月28–30日)
 14. 田中聖至, 松田貴絵, 加藤雄一, 小野幸絵, 鴨田剛司, 小松崎明, 苅部洋行, 関本恒夫 : 臨床実習前後における眼球運動変化, 第36回日本歯科医学教育学会プログラム抄録集 : 106, 2017. (松本, 2018年7月28–29日)
 15. 山田裕之, 松田英恵, 小方清和, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 田村文誉 : 東京都多摩地区における小児在宅歯科医療の取り組み, 小児歯誌, 55 (2) : 189, 2017.
 16. 松田英恵, 小方清和, 山田裕之, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 渡邊里子, 田村文誉 : 多摩地区における小児在宅歯科医療の支援システム構築と医療連携, 小児歯誌, 56 (1) : 108–109, 2017.
 17. 鈴木厚子, 小方清和, 佐藤潤子, 渡邊里子, 松田英恵, 山田裕之 : 小児総合病院小児歯科における初診患者の特徴と関係機関との連携, 小児歯誌, 56 (1) : 107–108, 2017.
 18. 山田裕之, 田村文誉, 杉本 明, 辰野 隆, 田村光平, 矢島悠里, 水上美樹, 土方深雪, 小方清和, 菊谷 武 : 訪問看護ステーションが対応している重症心身障害児と在宅歯科医療の現状を確

認したアンケート，障歯誌，38（3）：451，2017.

19. 杉本花織，雲野泰史，佐藤 勉，小口春久：歯科技工士のインタラクティブ感情と歯科技工指示書による歯科医師と歯科技工士との意思疎通，第58回日本歯科医療管理学会総会・学術大会プログラム・抄録集，日歯医療管理誌，52（1）：38，2017.
20. 市川順子，小池麻里，今井久枝，関口洋子，合場千佳子，池田利恵，小口春久：歯科衛生士学生卒業時の意識とステークホルダー調査の比較—短期大学における教育の改善と質の向上を目指して—，第58回日本歯科医療管理学会総会・学術大会プログラム・抄録集，日歯医療管理誌，52（1）：42，2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 荻部洋行：リスク評価による齲蝕管理法—日本版CAMBRAの提案—，東京矯正歯科学会，平成29年春季セミナー，東京，2017年4月13日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 荻部洋行：最近の小児歯科の話題から—リスクに応じた疾患予防プログラム—，神奈川県日本歯科大学校友会総会・学術講演会，静岡，2017年8月26日.
2. 河上智美：小児がん既往の患者さんが来院したら—口腔内症状と対応法—，日本小児歯科学会女医の会講演会，神奈川，2018年2月12日.
3. 小方清和：有病児と向き合う小児歯科医療，シンポジウム3，第64回日本小児保健協会学術集会，大阪，2017年7月1日.
4. 小方清和：障害児歯科治療と医療連携—多摩地区の重症児歯科治療の今とこれから—，日歯校友会多摩連合，東京，2017年7月8日.
5. 小方清和：多摩地区の訪問歯科診療の今とこれから—多摩小児在宅歯科医療連携ネットとしての取り組み—，都立小児総合医療センター療育チーム勉強会，東京，2017年10月12日.
6. 小方清和：乳歯早期脱落で診断された歯限局型低ホスファターゼ症—歯科初診と内分泌科初診の2症例，多摩HPPフォーラム，東京，2017年11月9日.
7. 小方清和：多摩地区の訪問歯科診療の今とこれから—多摩小児在宅歯科医療連携ネットとしての取り組み—，町田市歯科医師会，東京，2018年3月1日.
8. 島津貴咲：現代の母親が望む小児歯科診療～齲蝕・歯列不正の予防から治療まで～，東京都日本歯科大学校友会杉並支部学術講演会，東京，2018年2月23日.
9. 小口春久：平成29年度全国歯科技工士教育協議会任教員講習会専任教員講習会I「客観試験問題作成法（ワークショップ）」，河原医療大学校（名古屋），2017年8月9日.

1. 所属構成員等

教 授 代居 敬
准 教 授 佐藤 健児, 河合 泰輔
講 師 浅海利恵子
助 教 浅井まどか
非 常 勤 講 師 有地 淑子, 飯久保正弘, 香川 豊宏, 柳 文修, 生駒 文俊,
山形 勇夫, 前野 雅一, 近藤 亘由, 玉澤 賢, 五十嵐祐二

2. 研究テーマ

- 1) 画像診断学 Image diagnosis.
- 2) 放射線防護 Radiation protection.
- 3) 骨 (含インプラント) Bone (Including implantology) .
- 4) 放射線計測 Radiation dosimetry.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) NPO 法人日本歯科放射線学会 第 23 回コンピュータ応用・画像情報研究会, 鹿児島県民交流センター・東棟 4F 小研修室第 2 (鹿児島), 2017 年 6 月 2 日, 主催者: 佐藤健児.
- 2) 全国公私立歯科大学 (歯学部) 歯科放射線担当者研修会, 穂高ビューホテル (長野県), 平成 29 年 8 月 25 日・26 日, 主催者: 代居 敬, 金田 隆.

6. 国際交流状況

- 1) 河合泰輔: 姉妹校である香港大学歯学部 (The Prince Philip Dental Hospital: 菲臘牙科医院) に Honorary Associate Professor として留学. (2017 年 8 月~2018 年 2 月)
- 2) 河合泰輔: スリランカのペラデニア大学訪問およびスリランカで開かれた香港大学 KE (Knowledge Exchange) プロジェクトに参加. (2018 年 2 月)

7. 外部・学内研究費

- 1) 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 2016~2019 年度, 歯科用コーンビーム CT の患者線量推定プログラムの作成, 佐藤健児 (代表), 浅海利恵子 (分担), 496 万円, 2017 年度 91 万円.
- 2) 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 2015~2018 年度, 相同モデル化理論を応用した歯列石膏模型のデータ化による個人識別法の開発, 柳 文修 (代表: 岡山大学), 河合泰輔 (分担), 390 万円, 2017 年度 65 万円.

8. 研究業績

A. 著書

- 1) 代居 敬 (分担執筆) : 顎骨に影響する全身疾患, 365-378, 岡野友宏ほか (編), 歯科放射線学 第6版, 医歯薬出版, 東京, 2018, ISBN : 978-4-263-45812-9.
- 2) 代居 敬 (分担執筆) : 歯科インプラントの検査, 430-438, 岡野友宏ほか (編), 歯科放射線学 第6版, 医歯薬出版, 東京, 2018, ISBN : 978-4-263-45812-9.
- 3) 佐藤健児 (分担執筆) : 放射線の量・単位, 31-35, 岡野友宏ほか (編), 歯科放射線学 第6版, 医歯薬出版, 東京, 2018, ISBN : 978-4-263-45812-9.
- 4) 佐藤健児 (分担執筆) : 付表1 放射線に関連する線量と単位, 480-483, 岡野友宏ほか (編), 歯科放射線学 第6版, 医歯薬出版, 東京, 2018, ISBN : 978-4-263-45812-9.

B. 原著

1. Kawai T, Sato I, Asaumi R, Yosue T : Cone-beam computed tomography and anatomical observations of normal variants in the mandible: variant dentists should recognize, ☆Oral Radiol., doi: 10.1007/s11282-017-0307-7. [Epub ahead of print]
2. Hayashi T, Arai Y, Chikui T, Hayashi-Saka S, Honda K, Indo H, Kawai T, Kobayashi K, Murakami S, Nagasawa M, Naitoh M, Nakayama E, Nikkuni Y, Nishiyama H, Shoji N, Suenaga S, Tanaka R, A Committee on Clinical Practice Guidelines, Japanese Society for Oral and Maxillofacial Radiology : Clinical guidelines for dental cone-beam computed tomography, ☆Oral Radiol., doi : 10.1007/s11282-018-0314-3. [Epub ahead of print]
3. Miwa Y, Asaumi R, Kawai T, Maeda Y, Sato I : Morphological observation and CBCT of the bony canal structure of the groove and the location of blood vessels and nerves in the palatine of elderly human cadavers, ☆Surg. Radiol. Anat., *in press*, doi : 10.1007/s00276-017-1952-6.

C. 総説・解説

1. 日本歯科放射線学会防護委員会 (佐藤健児ほか) : 日本歯科放射線学会ガイドライン JSOMR TR-0001 : 2017, 携帯型口内法 X 線装置による手持ち撮影のためのガイドライン, 2017. http://jsomfr.sakura.ne.jp/wp-content/uploads/2017/12/portable_guideline.pdf.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総論や解説等)・紀要

1. 坂本彩香, 杉崎貴裕, 佐藤健児 : 当院における口内法 X 線撮影の撮影条件と患者入射線量の検討, 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会会誌, 27 (2) : 67-71, 2017.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載学会講演抄録

1. 佐藤健児, 浅海利恵子 : 歯科用コーンビーム CT の面積線量から実効線量への換算係数, 歯科放射線, 57 (増刊号) : 63, 2017.
2. 浅井まどか, 浅海利恵子, 河合泰輔, 佐藤健児, 代居 敬 : 犬歯窩における前上歯槽管の走行に関する X 線学的検討, 歯科放射線, 57 (増刊号) : 78, 2017.
3. 栗田 努, 奥山 祐, 坂本彩香, 後藤賢一, 三島 章, 杉崎貴裕, 虻川亜紀子, 佐藤健児, 有地

榮一郎：3 大学歯学部・歯科大学附属病院の口内法 X 線撮影における撮影条件，NPO 法人日本歯科放射線学会第 22 回臨床画像大会プログラム・抄録集，24，2017.

4. 浅井まどか，岩田 洋，林 宗廣，浅海利恵子，丹野咲貴，莊司洋文，柳下寿郎，代居 敬：上顎骨に発生した歯原性粘液線維腫の 1 例，NPO 法人日本歯科放射線学会第 22 回臨床画像大会プログラム・抄録集，演題 32，2017.
5. Miwa Y, Asaumi R, Sunohara M, Sato I: Observation of the greater and lesser palatine foramen in maxilla, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集，168，2018.
6. 佐藤健児，浅海利恵子：歯科用コーンビーム CT における患者実効線量を推定するための変換係数，日本歯科放射線学会第 225 回関東地方会・第 37 回北日本地方会・第 25 回合同地方会，日本歯科大学新潟生命歯学部，2017 年 7 月 1 日，https://www.jsomfr.org/images/pdf/2017_225kanto.pdf.
7. 浅海利恵子，河合泰輔，浅井まどか，佐藤健児，代居 敬：歯科用コーンビーム CT 画像を用いた上顎結節部の骨形態の観察，歯科放射線，57（増刊号）：72，2017.
8. Asaumi R, Mizutani M, Kawai T, Nakagawa A, Kumazawa Y, Yamaguchi A: Observation of the general placement area of orthodontic anchor screw using CT images, The 21th International Congress of Dental-Maxillofacial Radiology, abstract book, 93, 2017.
9. Kawai T, Kumazawa Y, Mizutani M, Asaumi R, Yamaguchi A, Yosue T: Observation of the anterior loop length in the jaw deformity patients, The 21th International Congress of Dental-Maxillofacial Radiology, abstract book, 127, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Kawai T: How much do we know about mandibular canal? Keynote Lecture 3, Faculty Annual Scientific Meeting of Hong Kong University 2017, Prince Philip Dental Hospital, The University of Hong Kong, Sai-Ying Pun, Hong Kong, 2017.12.14.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 代居 敬：インプラントの画像診断，日本歯科先端技術研究所，日本歯科先端技術研究所講堂（東京都），2017 年 4 月 9 日.
2. 代居 敬：画像診断，新潟再生歯学研究会，日本歯科大学新潟生命歯学部（新潟市），2017 年 4 月 16 日.
3. 代居 敬：インプラントにおけるエックス線診断，北日本口腔インプラント研究会，北海道歯科医師会館（札幌市），2017 年 5 月 14 日.
4. 代居 敬：画像診断（インプラント治療に関連して），埼玉インプラント研究会，ラフレ埼玉（大宮），2017 年 7 月 9 日.
5. 佐藤健児：線量測定の基本—線量と線質—，NPO 法人 日本歯科放射線学会，第 4 回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会，坂戸グランドホテル WIN（埼玉），2018 年 1 月 6 日.
6. 佐藤健児：歯科用コーンビーム CT 装置の出力特性，NPO 法人 日本歯科放射線学会，第 3 回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会，明海大学（埼玉），2018 年 1 月 7 日.
7. 浅海利恵子：デンタル・パノラマの診断を最新の三次元画像で検証する，福井県日本歯科大学校友会学術講演会，ホテルグランディア芳泉（福井県あわら市），2017 年 6 月 24 日.
8. Asaumi R, Kawai T, Miwa Y, Sato I: Morphological and histological observation of alveolar bone around

maxillary molar region, The 1st Japan-Korea International Conference of Oral and Maxillofacial Radiology, Okinawa, 2017.11.25.

1. 所属構成員等

教 授 羽村 章
助 教 有友たかね (生命歯学部)

2. 研究テーマ

- 1) 高齢者の歯科治療 Study of Clinical Gerodontology.
- 2) 歯科教育システムの開発 Development of Dental Education System.
- 3) 心療歯科患者の臨床統計 Statistics in Psychosomatic dentistry.
- 4) 病院機能研究 Study of Quality Health Care.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) ヒューマノイド歯科教育研究会第1回研究発表会, 大阪(株式会社モリタプラザ OSAKA 2F 100周年記念ホール), 2017年11月18日, 羽村 章.

6. 国際交流

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 文部科学省大学改革推進等補助金, 課題解決型高度医療人材養成プログラム(健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成), 「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム」(継続), 平成26~30年度, 地域連携と摂食支援, 羽村 章(分担代表), ほか4大学連携, 10,130,000円, 平成29年度 4,776,000円.

8. 研究業績

A. 著 書

- 1) 1) 羽村 章(分担編集): 疾患を有する高齢者の口腔健康管理, 一般財団法人口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN: 978-4-89605-336-4.
2) 羽村 章(分担執筆): 第10章 うつ病患者の口腔健康管理, 211-219, 羽村 章ほか(編集), 疾患を有する高齢者の口腔健康管理, 一般財団法人口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN: 978-4-89605-336-4.
2. 羽村 章(分担執筆): 第7章 訪問歯科診療における有病者歯科治療の実際 1. 訪問歯科患者の状況と歯科治療の留意点, 279-284, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会(編), 今井 裕, 岩淵博史(監修), 有病者歯科学, 有病者歯科学, 永末書店, ISBN: 978-4-8160-1335-5.

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

1. 羽村 章 (共著) : わが国の歯科大学・大学歯学部における老年歯科医学教育の実態, 老年歯科医学, 32 (2) : 65-71, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 羽村 章 : Close Up 《未来の医療人を作る場》 徹底した現場主義で意欲的な人材の育成, 月刊医歯薬進学, 2017 (12) : 16-19, 2017.
2. 羽村 章 : 目指せ 8020～歯が元気なら体も元気～, きょうの健康, 347 : 16-17, 2017.
3. 古屋裕康, 有友たかね, 菊谷 武 : “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 地域医療機関として地域とかかわる, DENTAL DIAMOND, 42 (9) : 166-169, 2017.
4. 有友たかね (分担執筆) : 12 ヶ月でこっそり習得 集まれ! 訪問ビギナーズ 1 月目 訪問依頼が来たら、まずは情報収集!, 菊谷 武 (監修), 歯科衛生士, January 2018 vol. 42 : 60-67, クインテッセンス出版, 東京, 2017.
5. 有友たかね (分担執筆) : 12 ヶ月でこっそり習得集まれ! 訪問ビギナーズ 2 月目 訪問に行けるとなったら、どんな準備が必要?, 菊谷 武 (監修), 歯科衛生士, February 2018 vol. 42 : 59-66, クインテッセンス出版, 東京, 2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 新藤広基, 仲澤裕次郎, 矢島悠里, 田中康貴, 有友たかね, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武 : 就寝前の口腔清掃が就寝中の高齢者の細菌数に与える効果, 老年歯学, 32 (2) : 160-161, 2017.
2. 尾関麻衣子, 矢島悠里, 菊谷 武, 佐川敬一朗, 有友たかね, 田中祐子 : 摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおいて歯科医師と管理栄養士による栄養状態の改善を図った症例, 日本在宅栄養管理学会誌, 4 (1) : 60, 2017.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 羽村 章 : 健康長寿に貢献する歯科医療従事者を輩出する歯学教育, 日本顎咬合学会第 35 回学術大会, 依頼講演, 東京, 2017 年 6 月 10 日.
2. 羽村 章 : 支部組織・地域保健医療福祉検討委員会シンポジウム 地域歯科医療から学会を再考する, 第 28 回日本老年歯科医学会, シンポジウム, 名古屋, 2017 年 6 月 16 日.
3. 羽村 章 : 診療参加型臨床実習に参加する学生への患者からの評価を考える, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, シンポジウム, 松本, 2017 年 7 月 29 日.
4. Hamura A : The effect of Xylitol in caries prevention, The 10th Vietnam International Dental Exhibition & Congress, 招待講演, ハノイ (ベトナム), 2017 年 8 月 24 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 有友たかね：口腔から健康アップ，平成 29 年度小金井市介護予防リーダー研修会，東京都小金井市，2017 年 6 月 27 日。
2. 有友たかね：「口腔ケアの実技・研修」，平成 29 年度口腔保健支援事業 第 2 回口腔ケア実技講習会，千葉県船橋市、船橋市保健福祉センター，2017 年 9 月 12 日。
3. 有友たかね：口腔衛生管理～嚥下障害のある患者への口腔ケア～，斎藤病院院内研修会，東京都府中市、斎藤病院，2017 年 11 月 16 日。
4. 有友たかね：歯科衛生士バズセッションおよびミート・ザ・メンター，第 34 回日本障害者歯科学会総会・学術大会，福岡県福岡市，2017 年 10 月 29 日。

1. 所属構成員等

教 授 那須 優則
准 教 授 鈴木さつき
講 師 戸円 智幸, 堀江 哲郎
助 教 三橋扶佐子, 深田 哲也
客 員 教 授 橋本 尚詞 (4月～3月), 相良 洋 (4月～3月), 立花 利公 (4月～3月)
技 術 職 員 片柳 亮太

2. 研究テーマ

- 1) 骨型アルカリ性ホスファターゼ (ALP) の分子構造に課す 2 価金属イオンの役割 Role of divalent metal ions on molecular structure of bone type alkaline phosphatase (ALP).
- 2) ラット炎症惹起歯髄内におけるプロスタグランジン類生成酵素の活性発現とこれら酵素に対する歯科用薬剤・ユージノールの作用について Effect of eugenol as a dental medicine on appearances of prostaglandin synthetase activities in inflamed pulps of rat mandibular incisors.
- 3) *C. albicans* の病原性におけるオートファジーの研究 Study of the autophagy in the virulence of *C. albicans* infection.
- 4) 唾液腺に対する放射線防護 Radioprotection on salivary gland.
- 5) 幼児の栄養ケア・マネジメント Nutritional care and management for children.
- 6) 網膜神経回路の形態学的解析法の開発 Development of new methods for analyzing neural circuits in the retina.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金 基盤研究(C) (継続), 平成 27～29 年度, bFGF と脂肪細胞培養法による上皮組織再生機構の解明, 菊池憲一郎 (代表), 那須優則 (分担), 堀江哲郎 (分担), ほか 2 名 (分担), 4,810,000 円, 平成 29 年度 1,170,000 円.
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金 基盤研究(C) (継続), 平成 27～29 年度, 口臭物質による歯槽骨吸収を制御するメカニカルストレスの生理学的役割, 今井敏夫 (代表), 那須優則 (分担), 4,810,000 円, 平成 29 年度 780,000 円.

- 3) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金 基盤研究(C)(継続),平成27~29年度,放射線照射歯根形成障害メカニズム解明の基盤研究~新たな知見を創設可能な実験システム~,井出吉昭(代表),那須優則(分担),ほか4名(分担),4,810,000円,平成29年度 1,690,000円.
- 4) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金 基盤研究(C)(新規),平成28~30年度,歯科医療の発展に寄与する粉末積層造形法の導入を目指した新たな展開,小池麻里(代表),堀江哲郎(分担),ほか1名(分担),4,680,000円,平成29年度 1,560,000円.
- 5) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金 若手研究(B)(継続),平成28~30年度,炎症惹起歯髄のPGE2経路に対するユージノールの作用,深田哲也(代表),3,900,000円,平成29年度 1,300,000円.
- 6) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金 基盤研究(C)(新規),平成29~31年度,新規マーカー解析による前駆細胞の機能に着目した歯髄再生メカニズムの解明,小林朋子(代表),那須優則(分担),ほか1名(分担),4,680,000円,平成29年度 1,950,000円.
- 7) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金 基盤研究(C)(新規),平成29~32年度,放射線による歯胚形成障害のメカニズムの解明~エナメル結節と周囲間葉の遺伝子動態~,岩田洋(代表),井出吉昭(分担),深田哲也(分担),ほか1名(分担),4,680,000円,平成29年度 1,170,000円.
- 8) 平成29年度科学研究費申請研究,口腔内常在菌 *C. albicans* が生存するためのオートファジーの生理機能の解明,堀江哲郎(代表),那須優則(分担),三橋扶佐子(分担),小池麻里(分担),1,330,000円.

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. Kawamata T, Horie T, Matsunami M, Sasaki M, Ohsumi Y : Zinc Starvation Induces Autophagy in Yeast, ◎☆J. Biol. Chem., 2017 ; 292 (20) : 8520-8530, doi : 10.1074/jbc.M116.762948.
2. Hashimoto H, Kawabe T, Fukuda T, Kusakabe M : A Novel Ataxic Mutant Mouse Line Having Sensory Neuropathy Shows Heavy Iron Deposition in Kidney, ◎☆Neurodegener Dis., 2017 ; 17 (4-5) : 181-198, doi : 10.1159/000457126.
3. Horie T, Kawamata T, Matsunami M, Ohsumi Y : Recycling of Iron Via Autophagy Is Critical for the Transition from Glycolytic to Respiratory Growth, ◎☆J. Biol. Chem., 2017 ; 292 (20) : 8533-8543, doi : 10.1074/jbc.M116.762963.
4. Yamamoto S, Muramatsu M, Azuma E, Ikutani M, Nagai Y, Sagara H, (25 authors) : A subset of cerebrovascular pericytes originates from mature macrophages in the very early phase of vascular development in CNS, ◎☆Sci. Rep., 2017 ; 7 (1) : 3855, doi : 10.1038/s41598-017-03994-1.
5. Shindou H, Koso H, Sasaki J, Nakanishi H, Sagara H, Nakagawa KM (14 authors) : Docosahexaenoic acid preserves visual function by maintaining correct disc morphology in retinal photoreceptor cells, ◎☆J. Biol. Chem., 2017 ; 292 (29) : 12054-12064, doi : 10.1074/jbc.M117.790568.
6. Kobayashi K, Suemasa F, Sagara H, Nakamura S, Ino Y, Kobayashi K (12 authors) : MiR-199a Inhibits Secondary Envelopment of Herpes Simplex Virus-1 Through the Downregulation of Cdc42-specific GTPase Activating Protein Localized in Golgi Apparatus, ◎☆Sci. Rep., 2017 ; 7 (1) : 6650, doi :

10.1038/s41598-017-06754-3.

7. 鈴木麻美, 角田憲祐, 白子未佳, 三橋扶佐子, 阪奈津子, 藤倉枝里子 (20 authors) : 金銀パラジウム合金鑄造クラスプの変色や腐食に影響を及ぼす因子についての調査研究, ○日本歯科人間ドック学会誌, 2017 ; 12 (1) : 11-20.
Suzuki A, Tsunoda N, Shirako M, Mitsuhashi F, Saka N, Fujikura E (20 authors) : A Clinical Study on Discoloration and Tarnishing of 12 wt% Au-Ag-Pd Cast Clasps, ○Journal of the Japan Academy of Dental Human Dock, 2017 ; 12 (1) : 11-20.
8. Kobayashi R, Kato A, Sagara H, Watanabe M, Maruzuru Y, Koyanagi N (8 authors) : Herpes Simplex Virus 1 Small Capsomere-Interacting Protein VP26 Regulates Nucleocapsid Maturation, ◎☆J. Virol., 2017 ; 91 (18) : e01068-17, doi : 10.1128/JVI.01068-17.
9. Horie T, Kawamata T, Ohsumi Y : Recycling of trace metals by bulk autophagy in *Saccharomyces cerevisiae*, ○Evidence-based Medicine & Public Health 2017 ; 3 : e1602, doi : 10.14800/emph.1602.
10. Noda T, Murakami S, Nakatsu S, Imai H, Muramoto Y, Shindo K, Sagara H (7th) (8 authors) : Importance of the 1+7 configuration of ribonucleoprotein complexes for influenza A virus genome packaging, ◎☆Nat. Commun., 2018 ; 9 (1) : 54, doi : 10.1038/s41467-017-02517-w.
11. Hirukawa S, Sagara H, Kaneto S, Kondo T, Kiga K, Sanada T (8 authors) : Characterization of morphological conversions of *Helicobacter pylori* under anaerobic conditions, ◎Microbiol. Immunol., 2018 ; 62 (4), 221-228, doi : 10.1111/1348-0421.12582.
12. Nakatsu S, Murakami S, Shindo K, Horimoto T, Sagara H, Noda T (7 authors) : Influenza C and D Viruses Package Eight Organized Ribonucleoprotein Complexes, ◎☆J. Virol., 2018 ; 92 (6) : e02084-17, doi : 10.1128/JVI.02084-17.
13. Takeda M, Nasu M, Kanazawa T, Takahashi M, Shimazu Y : Chemokine ligand 2/chemokine receptor 2 signaling in the trigeminal ganglia contributes to inflammatory hyperalgesia in rats, ◎☆Neurosci. Res., 2018 ; 128 : 25-32, doi : 10.1016/j.neures.2017.07.008.
14. Hirabayashi T, Takahashi H, Watanabe M, Tachibana T : Establishment and characterization of a squamous cell carcinoma cell line, designated hZK-1, derived from a metastatic lymph node tumor of the tongue, ◎☆Human Cell, 2017 ; 30 (4) : 319-326, doi : 10.1007/s13577-017-0165-y.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 那須優則, 三橋扶佐子, 筒井健夫 : 研究力増進プログラム (18) 細胞培養基礎実習, テキストと報告書, 日本歯科大学生命歯学部共同利用研究センター, 2017年12月.
2. 田中宏之, 川延京子, 三橋扶佐子, 南雲 保 : 群馬・福島県境, 尾瀬沼地域の珪藻, 日本歯科大学紀要, 47 : 7-23, 2018, doi : 10.14983/00000820.
3. 堤ちはる, 三橋扶佐子 : 保育園等における栄養士の存在意義に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイドの開発に関する研究」平成 29 年度総括・分担研究報告書, 74, 研究代表者 : 石川みどり (国立保健医療科学学院), 2018年3月.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Fujita M, Kuraji R, Ito H, Toen T, Fukada T, Hashimoto S, Numabe Y : Dynamics of LPS derived from *Porphyromonas gingivalis* injected to periodontal tissues of rats fed a high fat diet, JSP, 59 : 37, 2017.
2. 堤 ちはる, 三橋扶佐子 : 保育所通所児の保護者の食育支援に関する調査研究, 小児保健研究, 76 : 180, 2017.
3. 立花利公 : 動物試料作製の基礎, 第 73 回日本顕微鏡学会学術講演会要旨集, 36, 2017. (札幌, 2017 年 5 月 30 日)
4. Kusakabe M, Kawabe T, Hashimoto H : Sequencing analysis of the novel hereditary ataxic mouse, The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, 千葉市, 2017 年 7 月 22 日.
http://www.jnss.org/abstract/neuro2017/meeting_planner/sessiondetail.php?st_id=201711253&u=1524641156&yz=0. (参照 2018 年 3 月 20 日)
5. 立花利公 : 固定・脱水・包埋の基礎, 日本顕微鏡学会主催第 28 回電顕サマースクール 2017, 148-160, 2017. (東京, 2017 年 8 月 3 日)
6. 澤野和生, 菊池憲一郎, 那須優則, 堀江哲郎, 池田利恵, 高田清美 : マウス顎下腺への放射線照射に対する鉛板の防護条件の検討, J. Oral. Biosci., 59 (Suppl.) : 481, 2017.
7. Ide Y, Fukada T, Nasu M, Nakahara T : Establishment of local irradiation method for the mouse tooth germ, and the morphological observation of the irradiated tooth germ during root formation, JAOB, 59 : 204, 2017.
8. Fukada T, Toen T, Hashimoto S : The effects of zinc-oxide eugenol mixture on prostaglandin E receptors in inflamed pulps of rat mandibular incisors, JAOB, 59 : 428, 2017.
9. Toen T, Fukada T, Hashimoto S, Sunada K : Effects of dexmedetomidine on the intercellular space of human umbilical vein endothelial cells treated with histamine, JAOB, 59 : 517, 2017.
10. 堤ちはる, 三橋扶佐子 : 保育所職員への食育支援に関する調査研究, 栄養学雑誌, 75 (5 Supplement) : 249, 2017.
11. 鳥居大祐, 小林朋子, 松井美紀子, 堀江哲郎, 筒井健夫 : Scleraxis-knockout ヒト歯根膜細胞における遺伝子発現解析, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 18, 2017. (東京, 2017 年 12 月 9 日)
12. Koike M, Horie T, Hummel S.K, Mitchell R.J, Okabe T : Biofilm Accumulation on Titanium-Alloy Fabricated by Additive-Layer-Manufacturing vs. Conventional Casting, 47th Annual meeting & Exhibition of the AADR, Fort Lauderdale, Fla, March 21-24, 2018.
<https://aad2018.zerista.com/poster/member/121586>. (参照 2018 年 3 月 14 日)

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 堀江哲郎 : オートファジーによる鉄イオンのリサイクリング (農芸化学におけるオートファジー研究のこれから), 2018 年度日本農芸化学学会大会, シンポジウム, 名古屋, 平成 30 年 3 月 18 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 数野 渚, 鈴木秀和, 松岡孝典, 三橋扶佐子, 田中次郎: 日本産ハナラビケイソウ属 *Denticula* の形態と分類, 日本珪藻学会第37回研究集会, 福井県若狭町, 2017年10月14日.

1. 所属構成員等

教 授 三ツ林裕巳
准 教 授 渡辺 昌司
講 師 矢島 愛治
臨 床 教 授 古畑 升, 池松 武直, 渡辺 尚彦, 小松 一俊
臨 床 講 師 権 寧博
書 記 補 北田加代美

2. 研究テーマ

- 1) 高血圧症の成因 Pathogenesis of hypertension.
- 2) 中枢神経の血圧制御 Central control of blood pressure.
- 3) 血圧変動の解析 Analysis of blood pressure variation.
- 4) 睡眠時無呼吸症候群の成因 Pathogenesis of sleep apnea disorder.
- 5) 呼吸器疾患の病態生理・疾患バイオマーカーの研究 Pathophysiology of respiratory diseases: study for biomarker.
- 6) IT 技術を活用した呼吸器診療ツールの開発 Development of IT tools for clinical use on respiratory diseases.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~29 年度, 気道分泌型エクソソームの情報に基づく喘息・COPD の病態解明とバイオマーカー探索, 権 寧博 (代表), ほかに 4 名 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 910,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 古畑 梓, 古畑 升, 松田正道, 三ツ林裕己: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群治療において, 口腔内装置の使用により発症・悪化した有害事象に対するボツリヌス療法の有用性, 睡眠口腔医学, 8, 2017.
2. 古畑 升, 古畑 梓, 三ツ林裕己: OSA 患者に歯列弓の拡大と下顎の前方移動を同時に行う口腔内装置 (SHTA 改良型) を適応した例 (第 2 報), 日本睡眠学会第 42 回定期学術集会プログラム・抄録集, 219, 2017.

G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会での講演

記載事項なし

1. 所属構成員等

教 授 富田 涼一
講 師 竹川 本夫
兼 任 講 師 小豆畑丈夫, 藤崎 滋, 高本 雄幸

2. 研究テーマ

- 1) 消化器疾患の手術前・後における病態生理学的検討 Pathophysiological studies in patients before and after operation for digestive diseases.
- 2) 小腸移植と免疫機能 Assessments on immunological function for small bowel transplantation.
- 3) 侵襲時の生体反応とくに humoral mediator の動態 Kinetics of humoral mediators in critically ill patients.
- 4) 臨床腫瘍学 Clinical oncology.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項無し

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. Tomita R, Azuhata T, Fujisaki S, Hirano T, Sakurai K, Takamoto Y, Park E : Pathophysiology of interdigestive migrating motor complex in human, ○Japanese Journal of Clinical Physiology, 2017 ; 47 (3) : 121-125.
2. Tomita R : Importance of the lower esophageal sphincter to prevent alkaline reflux esophagitis in patients after total gastrectomy reconstructed by Roux-en Y for gastric cancer, ○Japanese Journal of Clinical Physiology, 2017 ; 47 (5) : 165-169.
3. Tomita R : Is anorectal myectomy useful for Hirschsprung's disease and its allied disorders?, ○Journal of

Nihon University Medical Association, 2017 ; 76 (4-5) : 169-173.

4. Tomita R, Sakurai K, Fujisaki S : Relationships between length of the antral cuff and postgastrectomy disorders and gastric emptying function in patients after pylorus-preserving gastrectomy for early gastric cancer, ©Journal of Cancer Therapy, 2017 ; 8 (10) : 867-879, doi : 10.4236/jct.2017.810076.
5. Fujisaki S, Takashina M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T : Long-term survival following hepatectomy, radiation, and chemotherapy for recurrent pancreatic carcinoma: a case report, ©World Journal of Surgical Oncology, 2017 ; 15 (157) : 1-4, doi : 10.1186/s12957-017-1232-2.
6. Fujisaki S, Takashina M, Sakurai K, Tomita R, Takayama T : Long-term survival after resection for primary undifferentiated pleomorphic sarcoma of the jejunum with lymph node metastasis, ©Journal of Cancer Therapy, 2017 ; 8 (12) : 1079-1085, doi : 10.4236/jct.2017.812092.
7. Tomita R : Lower oesophageal sphincter-preserving Roux-en-Y esophagojejunostomy with a jejunal J-pouch reconstruction-added His angle formation after total gastrectomy in patients with gastric cancer, ©Surgical Practice, 2018 ; 22 (1) : 30-37, doi : 10.1111/1744-1633.12297.
8. 富田涼一, 小豆畑丈夫, 藤崎 滋, 高本雄幸, 櫻井健一 : 胃癌切除後の Minor leakage と Major leakag からみた臨床的特徴, ○臨床と研究, 2017 ; 94 (8) : 84-87.
Tomita R, Azuhata T, Fujisaki S, Takamoto Y : Clinical characteristic's in patient after gastrectomy with or without anastomotic leakage, ○The Japanese Journal of Clinical and Experimental Medicine, 2016 ; 94 (8) : 84-87.
9. 櫻井健一, 藤崎 滋, 窪田仁美, 原由起子, 鈴木周平, 安達慶太, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛, 嵯峨玲奈, 槇島 誠 : 乳癌胆癌状態で同一臨床病期における年齢別 Indoleamine 2,3-Dioxygenase の発現状態の検討, ○癌と化学療法, 2017 ; 44 (10) : 886-888.
Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Hara Y, Suzuki S, Adachi K, Tomita R, Enomoto K, Hirano T, Saga R, Makishima M : Indoleamine 2,3-dioxygenase activity during fulvestrant therapy for aromatase inhibitor resistant metastatic breast cancer, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2017 ; 44 (10) : 886-888.
10. 櫻井健一, 藤崎 滋, 窪田仁美, 原由起子, 鈴木周平, 安達慶太, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛, 嵯峨玲奈, 槇島 誠 : Letrozol が長期に奏効している超高齢者局所進行乳癌症例治療経過中の Indoleamine 2,3-Dioxygenase の発現について, ○癌と化学療法, 2017 ; 44 (10) : 892-895.
Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Hara Y, Suzuki S, Adachi K, Tomita R, Enomoto K, Hirano T, Saga R, Makishima M : Indoleamine 2,3-dioxygenase activity during letrozole therapy for elderly breast cancer patient, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2017 ; 44 (10) : 892-895.
11. 後藤洋伯, 櫻井健一, 藤崎 滋, 窪田仁美, 原由起子, 鈴木周平, 安達慶太, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛, 嵯峨玲奈, 槇島 誠 : 炎症性乳癌型再発における治療経過中の IAP の変化について, ○癌と化学療法, 2017 ; 44 (10) : 909-911.
Goto H, Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Hara Y, Suzuki S, Adachi K, Tomita R, Enomoto K, Hirano T, Saga R, Makishima M : Clinical evaluation of immunosuppressive acidic protein in the serum of patients with inflammatory breast recurrence, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2017 ; 44 (10) : 909-911.
12. 窪田仁美, 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由起子, 鈴木周平, 安達慶太, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛, 嵯峨玲奈, 槇島 誠 : 局所進行乳癌における Mohs ペースト使用時の Indoleamine 2,3-Dioxygenase 発現の変化について, ○癌と化学療法, 2017 ; 44 (10) : 915-917.
Kubota H, Sakurai K, Fujisaki S, Hara Y, Suzuki S, Adachi K, Tomita R, Enomoto K, Hirano T,

- Saga R, Makishima M : Clinical evaluation of indoleamine 2,3-dioxygenase in the serum of patients with locally advanced breast cancer during Mohs paste treatment, *○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 2017 ; 44 (10) : 915-917.
13. 禹有佳里, 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利 : 胃癌根治術後遠隔期に骨転移, 皮膚転移, 卵巣転移をきたし加療が有効であった1例, *○癌と化学療法*, 2017 ; 44 (12) : 1571-1573.
- Woo Y, Fujisaki S, Takashina M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T : A case of metastases to the bone, skin, and ovary from gastric cancer occurring more than eight years after distal gastrectomy, *○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 2017 ; 44 (12) : 1571-1573.
14. 藤原麻子, 櫻井健一, 藤崎 滋, 窪田仁美, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛 : 嚢胞内腫瘍の形態を呈した乳腺非浸潤性内分泌癌の1例, *○癌と化学療法*, 2017 ; 44 (12) : 1592-1594.
- Fujiwara A, Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Hara Y, Suzuki S, Adachi K, Tomita R, Enomoto K, Hirano T : A case of neuroendocrine ductal carcinoma in situ of the breast detected as an intra-cystic tumor using ultrasonography, *○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 2017 ; 44 (12) : 1592-1594.
15. 櫻井健一, 藤崎 滋, 窪田仁美, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛 : 浸潤性小葉癌と非浸潤性乳管癌が同時に併存した1例, *○癌と化学療法*, 2018 ; 45 (1) : 73-75.
- Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Hara Y, Suzuki S, Adachi K, Tomita R, Enomoto K, Hirano T : Synchronous and unilateral breast cancers (invasive lobular carcinoma and non-invasive ductal carcinoma)-a case report, *○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 2018 ; 45 (1) : 73-75.
16. 櫻井健一, 藤崎 滋, 窪田仁美, 原由起子, 鈴木周平, 安達慶太, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛 : Fluvestrant による長期内分泌療法が奏功し切除可能となった高齢者局所進行乳癌, *○癌と化学療法*, 2018 ; 45 (1) : 76-78.
- Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Hara Y, Suzuki S, Adachi K, Tomita R, Enomoto K, Hirano T : Long-term effect of fulvestrant for locally advanced breast cancer in an elderly patient-A case report, *○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 2018 ; 45 (1) : 76-78.
17. 阪上雅史, 平野智寛, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 原由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一 : 集学的治療により pCR を得た Stage IV 乳癌の1例, *○癌と化学療法*, 2018 ; 45 (1) : 190-192.
- Sakagami M, Hirano T, Suzuki S, Adachi K, Kubota H, Hara Y, Enomoto K, Tomita R, Fujisaki S, Sakurai K : A case of advanced breast cancer with liver metastasis successfully treated with multi-disciplinary, *○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 2018 ; 45 (1) : 190-192.
18. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利 : 長期生存が得られた門脈本幹腫瘍栓 (Vp4) 合併肝細胞癌の1切除例, *○癌と化学療法*, 2018 ; 45 (2) : 297-299.
- Fujisaki S, Takashina M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T : A case of a long-term survivor who underwent surgical intervention for hepatocellular carcinoma combined with tumor thrombus in the main trunk of the portal vein, *○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 2018 ; 45 (2) : 297-299.
19. 藤崎 滋, 高階 幹, 禹有佳里, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利 : 胃癌・大腸癌に併発乳頭部腫瘍に対する経十二指腸乳頭切除術の経験, *○癌と化学療法*, 2018 ; 45 (2) : 300-302.
- Fujisaki S, Takashina M, Woo Y, Tomita R, Sakurai K, Takayama T : A case of transduodenal ampullectomy for an ampullary neoplasm coexisting with gastric and colon cancer, *○Japanese Journal of Cancer and*

Chemotherapy, 2018 ; 45 (2) : 300-302.

20. 渡辺美帆, 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 十二指腸原発の神経内分泌癌の2例, ○癌と化学療法, 2018 ; 45 (3) : 483-485.
Watanabe M, Fujisaki S, Takashina M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T : Two case of neuroendocrine carcinoma of the non-ampullary duodenum, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2018 ; 45 (3) : 483-485.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 高本雄幸: 早期胃癌における幽門輪温存幽門側胃切除術後の腹部膨満感について, 日本外科学会雑誌, 118 (2) : 177, 2017.
2. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 増尾有紀, 窪田仁美, 長島沙樹, 原由紀子, 富田涼一, 安達慶太, 榎本克久, 平野智寛: Letrozol が長期に奏功している超高齢者局所進行乳癌症例治療中の Indoleamine 2, 3-deoxygenase 発現について, 第38回癌免疫外科研究会プログラム集, 10, 2017.
3. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 増尾有紀, 窪田仁美, 長島沙樹, 原由紀子, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛: 乳癌担癌状態で同一臨床病気における年齢別 Indoleamine 2, 3-deoxygenase の発現状態の検討, 第38回癌免疫外科研究会プログラム集, 14, 2017.
4. 後藤洋伯, 鈴木周平, 安達慶太, 増尾有紀, 榎本克久, 原由紀子, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一: 炎症性乳癌型再発における治療中の IAP の変化について, 第38回癌免疫外科研究会プログラム集, 20, 2017.
5. 窪田仁美, 安達慶太, 鈴木周平, 増尾有紀, 原由紀子, 藤崎 滋, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛, 櫻井健一: 局所進行癌における Mohs ペースト使用時の Indoleamine 2, 3-deoxygenase の発現の変化について, 第38回癌免疫外科研究会プログラム集, 30, 2017.
6. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 和賀瑛子, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 長期にわたる Fulvestrant による内分泌療法が奏功し切除可能となった局所進行乳癌の1例, 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 34 (Suppl.) : S138, 2017.
7. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 和賀瑛子, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 内分泌療法中に発生した異時性乳房3多発癌の1例, 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 34 (Suppl.) : S138, 2017.
8. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 窪田仁美, 鈴木周平, 安達慶太, 増尾有紀, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: HNPCC に併発した甲状腺乳頭癌術後リンパ節転移に超音波検査が有用であった1例, 乳腺甲状腺超音波医学, 6 (2) : 110, 2017.
9. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 増尾有紀, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 超音波検査が有用であった異時性両側乳房3多発癌の1例, 乳腺甲状腺超音波医

- 学, 6 (2) : 147, 2017.
10. 窪田仁美, 鈴木周平, 安達慶太, 藤崎 滋, 原由紀子, 増尾有紀, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛, 櫻井健一: 若年者同時性同側性多発乳癌の 1 例, 第 26 回日本癌病態治療研究会プログラム集, 10, 2017.
 11. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 長期間の術前内分泌療法により切除可能となった高齢者局所進行乳癌の 1 例, 第 26 回日本癌病態治療研究会プログラム集, 12, 2017.
 12. Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Nagashima S, Masuo Y, Adachi K, Tomita R, Suzuki S, Hara Y, Enomoto K, Hirano T: Indoleamine 2, 3-dioxygenase activity in intra-cystic breast tumors, The 63rd Annual Congress of International College of Surgeons Japan Section program book, 44, 2017. (Tokyo, June 17, 2017)
 13. Sakurai K, Fujisaki S, Kubota H, Nagashima S, Masuo Y, Adachi K, Tomita R, Suzuki S, Hara Y, Enomoto K, Hirano T: Breast cancer with micro invasion and lymph node metastasis diagnosed by microdochoectomy: Report of a case, The 63rd Annual Congress of International College of Surgeons Japan Section program book, 44, 2017. (Tokyo, June 17, 2017)
 14. Fujisaki S, Takashina M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T: Isolated biliary fungal infection mimicking hilar cholangiocarcinoma, J. Hepatobiliary Pancreat Sci., 24 (S1), A282, 2017. (The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Joint Congress of The 6th Biennial Congress of the Asia-Pancreatic Hepato-Biliary Association, PACIFICO Yokohama, June 8, 2017)
 15. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 和賀瑛子, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: Fulvestrant による長期内分泌療法が速効し切除可能となった高齢者局所進行乳癌の 1 例, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 132, 2017.
 16. 窪田仁美, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛, 櫻井健一: 乳房温存手術に成功した若年者同時性多発癌の 1 例, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 133, 2017.
 17. 藤崎 滋, 高階 幹, 禹有佳里, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 胃癌・大腸癌に併発乳頭部腫瘍に対する経十二指腸乳頭切除術の経験, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 161, 2017.
 18. 藤崎 滋, 高階 幹, 禹有佳里, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 長期生存が得られた門脈本幹腫瘍栓 (Vp4) 合併肝細胞癌の 1 切除例, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 134, 2017.
 19. 禹有佳里, 藤崎 滋, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 胃癌根治術後遠隔期に骨転移, 皮膚転移, 卵巣転移をきたし加療が有効であった 1 例, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 190, 2017.
 20. 渡邊美帆, 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 十二指腸 (球部, 下行脚) 原発の神経内分泌細胞癌の 2 例, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 199, 2017.
 21. 富田涼一, 藤崎 滋, 小豆畑丈夫, 櫻井健一, 高本雄幸: 下行結腸癌術後局所再発による大腸癌イレウスに脳転移を認めた症例の治療, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 220, 2017.
 22. 窪田仁美, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 富田涼一, 榎本克久, 平野智寛, 櫻井健一: 中枢性乳頭腫が発生母地と考えられた乳腺非浸潤性神経内分泌癌の 1 例, 第 39 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 238, 2017.

23. 阿部華保里, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 藤崎 滋, 平野智寛, 櫻井健一: 片側が神経内分泌癌であった異時性両側乳癌の1例, 第39回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 239, 2017.
24. 平野智寛, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一: 長期異常乳頭分泌の経過観察中の末に発見され, 診断に難渋した非浸潤性乳管癌の1例, 第39回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 239, 2017.
25. 坂上雅史, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 藤崎 滋, 平野智寛, 櫻井健一: 集学的治療により pCR を得た Stage IV 乳癌の1例, 第39回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 243, 2017.
26. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 原由紀子, 和賀瑛子, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 浸潤性小葉癌と非浸潤性乳管癌が同時に併存した1例, 第39回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 94, 2017.
27. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一: 胃癌切除後 minor leakage 症例の検討, 日本外科系連合学会誌, 42 (3) : 544, 2017.
28. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 窪田仁美, 増尾有紀, 長島沙樹, 和賀瑛子, 原由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 液性成分を伴う乳房増殖性病変における Indoleamine 2, 3-dioxygenase の発現について, 第25回日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 560, 2017.
29. 窪田仁美, 安達慶太, 鈴木周平, 藤崎 滋, 増尾有紀, 長島沙樹, 和賀瑛子, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 櫻井健一: 中枢性単発性の乳管内乳頭腫が癌化したと考えられた乳腺非浸潤性神経内分泌癌の1例, 第25回日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 757, 2017.
30. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 朴 英智: 胃全摘兼食道空腸 Roux-en Y 吻合術での迷走神経・下部食道括約筋温存の有用性, 第72回日本消化器外科学会総会プログラム集, 183, 2017.
31. 渡邊美帆, 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 十二指腸原発の神経内分泌細胞癌の2切除例, 第72回日本消化器外科学会総会プログラム集, 215, 2017.
32. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一: 胃癌切除術後における Minor leakage の臨床的特徴について, 第76回日本癌学会学術総会プログラム集, 267, 2017.
33. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一: 嚢胞内腫瘍性病変における indoleamine 2, 3-dioxygenase の発現について, 第76回日本癌学会学術総会プログラム集, 114, 2017.
34. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 消化器癌治療中に発生した化膿性脊椎炎の5例, 第25回日本消化器関連学会 JDDW 2017 プログラム集, 286, 2017.
35. 櫻井健一, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 和賀瑛子, 後藤洋伯, 榎本克久, 窪田仁美, 藤崎 滋, 富田涼一, 平野智寛: 2次検診施設における人間ドックで発見された乳頭血性分泌症の病態の検討, 第55回日本癌治療学会学術集会抄録集, P-69-2, 2017.
36. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾由有紀, 藤原麻子, 渡邊美帆, 禹由佳里, 和賀瑛子, 後藤洋伯, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 超高齢者乳癌における外科的治療の役割, 第55回日本癌治療学会学術集会抄録集, P-57-7, 2017.
37. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一: Upside down stomach を呈する食道裂孔ヘルニアに併発した進行胃癌の1例, 第55回日本癌治療学会学術集会抄録集, P-182-5, 2017.
38. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 大腸癌の集学的治療における肺切除の意義, 日本大腸肛門病学会雑誌, 70 (10) : A306, 2017.
39. 藤崎 滋, 高階幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 大腸癌の集学的治療の中での肺転移切除の

- 意義, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 459, 2017.
40. 藤崎 滋, 高階幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 転移性肝癌に対する肝切除一肝胆膵難治療の場合の適応決定までのプロセスと治療成績一, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 495, 2017.
 41. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由起子, 藤原麻子, 和賀瑛子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋: 外側側方切開による内視鏡補助下乳頭乳輪温存胸筋温存乳房切除術の検討, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 519, 2017.
 42. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由起子, 藤原麻子, 和賀瑛子, 渡邊美帆, 後藤洋伯, 富田涼一, 藤崎滋: 超音波検査で診断が困難であった乳腺繊維腺腫摘出部位より発生した葉状腫瘍の1例, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 630, 2017.
 43. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由起子, 藤原麻子, 和賀瑛子, 渡邊美帆, 後藤洋伯, 富田涼一, 藤崎 滋: 急速に増大し乳癌との鑑別が困難であった乳管内乳頭腫の1例, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 630, 2017.
 44. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由起子, 藤原麻子, 和賀瑛子, 渡邊美帆, 後藤洋伯, 禹有佳里, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋: 乳房切除後疼痛症候群 (PMPS) に対する Lafutidine 投与の有効性検討, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 634, 2017.
 45. 富田涼一, 藤崎 滋, 小豆畑丈夫, 高本雄幸, 櫻井健一, 朴 英智: 腹膜播種性転移による再発大腸癌の悪性小腸イレウスについて, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 389, 2017.
 46. 禹有佳里, 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 胆嚢回腸瘻による胆石イレウスの1例, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 674, 2017.
 47. 禹有佳里, 藤崎 滋, 高階 幹, 櫻井健一, 鈴木周平, 窪田仁美, 富田涼一, 高山忠利: 片側が破骨細胞様巨細胞を伴う乳癌の診断であった両側乳癌の一例, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 776, 2017.
 48. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 根治切除不能再発大腸癌に対し症状緩和と予後改善をめざす手術, 日本臨床外科学会雑誌, 78 (10) : 797, 2017.
 49. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 和賀瑛子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋: 若年男性に発症した巨大甲状腺癌の1例, 示説, 第50回日本甲状腺外科学会学術集会プログラム集, 3, 2017.
 50. 窪田仁美, 安達慶太, 鈴木周平, 藤崎 滋, 原由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛, 櫻井健一: 超音波検査で微小な所見を認めた DCIS の1例, 一般口演, 日本超音波医学会第29回関東甲信越地方会学術集会プログラム集, 5, 2017.
 51. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 藤原麻子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋: 乳房温存術後炎症性乳癌型再発と蜂窩織炎の鑑別に超音波検査が有用であった1例, 一般口演, 日本超音波医学会第29回関東甲信越地方会学術集会プログラム集, 7, 2017.
 52. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋, 権田憲士: 全自動乳房超音波診断装置 (ABUS) の高齢者への使用経験, 一般口演, 日本超音波医学会第29回関東甲信越地方会学術集会プログラム集, 15, 2017.
 53. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋, 権田憲士: Paget 病診断時の全自動乳房超音波診断装置 (ABUS) の問題点について, 一般口演, 日本超音波医学会第29回関東甲信越地方会学術集会プログラム集, 20, 2017.
 54. 窪田仁美, 安達慶太, 櫻井健一, 鈴木周平, 藤崎 滋, 原由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 超音波検査で診断に難渋した硬癌の1例, 一般口演, 日本超音波医学会第29回関東甲信越地方会学術集会プログラム集, 28, 2017.

55. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋, 権田憲士: 術式決定に全自動乳房超音波診断装置 (ABUS) が有用であった 1 例, 一般口演, 日本超音波医学会第 29 回関東甲信越地方会学術集会プログラム集, 30, 2017.
56. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 藤原麻子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋: 乳癌術後経過観察に超音波検査が有用であった 1 例, 一般口演, 日本超音波医学会第 29 回関東甲信越地方会学術集会プログラム集, 33, 2017.
57. Sakurai K, Fujisaki S, Adachi K, Kubota H, Suzuki S, Hara Y, Enomoto K, Tomita R, Hirano T : Indoleamine 2,3-dioxygenase activity in intra-cystic breast tumors, Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery program book, 279, 2017. (Tokyo, November 23, 2017)
58. Sakurai K, Fujisaki S, Adachi K, Kubota H, Suzuki S, Hara Y, Enomoto K, Tomita R, Hirano T : Menstruation recovery rate after chemo-endocrine therapies for premenopausal patients with breast cancer, Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery program book, 279, 2017. (Tokyo, November 23, 2017)
59. Sakuai K, Fujisaki S, Adachi K, Kubota H, Suzuki S, Hara Y, Enomoto S, Tomita R, Hirano T : The combined effect of paclitaxel and toremifene therapy for estrogen receptor positive and aromatase inhibitor resistant metastatic breast cancer, Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery program book, 279, 2017. (Tokyo, November 23, 2017)
60. Sakuai K, Fujisaki S, Adachi K, Kubota H, Suzuki S, Hara Y, Enomoto S, Tomita R, Hirano T : Efficacy of docetaxel in patients with paclitaxel-resistant metastatic breast cancer, Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery program book, 279, 2017. (Tokyo, November 23, 2017)
61. Kubota H, Sakuai K, Fujisaki S, Adachi K, Hara Y, Suzuki S, Tomita R, Enomoto K, Hirano T : A case of neuro-endocrine ductal carcinoma in situ treated by microdochectomy assisted with endoscopy, Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery program book, 279, 2017. (Tokyo, November 23, 2017)
62. Kubota H, Sakuai K, Adachi K, Hara Y, Suzuki S, Enomoto K, Hirano T, Tomita R, Fujisaki S : Reduction rate for mucinous carcinomas of the breast during neo-adjuvant chemotherapy, Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery program book, 279, 2017. (Tokyo, November 23, 2017)
63. 櫻井健一, 藤崎 滋, 富田涼一, 渡邊美帆, 禹由佳里, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 権田憲士, 増田しのぶ, 大川美沙都, 高階 幹: 一般病院で経験した神経内分泌乳癌の 1 例, 第 14 回日本乳癌学会関東地方会プログラム・抄録集, 112, 2017.
64. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋, 権田憲士: 術式決定に全自動乳房超音波診断装置 (ABUS) が有用であった 1 例, 第 27 回日本乳癌画像研究会プログラム・抄録集, 63, 2018.
65. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋, 権田憲士: 乳癌術後経過観察に超音波検査が有用であった 1 例, 第 27 回日本乳癌画像研究会プログラム集・抄録集, 65, 2018.
66. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋, 権田憲士: 浸潤性神経内分泌乳癌の画像所見について, 第 27 回日本乳癌画像研究会プログラム集・抄録集, 70, 2018.
67. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 窪田仁美: 術式決定に全自動乳房超音波診断装置 (ABUS) が有用であった 1 例, 日本画像医学会雑誌, 36 (1) : 91, 2018.

68. 富田涼一, 小豆畑丈夫, 藤崎 滋, 櫻井健一, 高本雄幸: 早期胃癌幽門輪温存幽門側胃切除術後における腹部膨満感の有無と胃切除後障害の関連について, 第90回日本胃癌学会総会記事, 477, 2018.
69. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 単孔式S状結腸ストマの結腸を自損行為により体外へ引き出し約25cmにわたり用手離断した1例, 日本腹部救急医学会総会雑誌, 38(2): 357, 2018.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 原由紀子, 平野智寛, 榎本克久, 富田涼一, 藤崎 滋: デンスブレストへの対策～ABUSについて～(シンポジウム デンスブレストへの対策～トモシンセスとABUS), 第14回日本乳癌学会関東地方会, シンポジウム, 大宮, 2017年12月2日.
2. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 鈴木周平, 安達慶太, 窪田仁美, 増尾有紀, 榎本克久, 富田涼一, 平野智寛: 超高齢者乳癌における外科的治療の役割(パネルディスカッション高齢乳癌の外科治療), 第26回日本癌病態治療研究会, パネルディスカッション, 横浜, 2017年6月1日.
3. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 高本雄幸, 朴 英智, 小豆畑丈夫, 越永従道: 小児慢性便秘に対するanorectal myectomyの有用性について(パネルディスカッション 29 小児外科領域治療「手術 vs 非手術」), 第79回日本臨床外科学会総会, パネルディスカッション, 東京, 2017年11月25日.
4. 富田涼一, 小豆畑丈夫, 藤崎 滋, 高本雄幸, 櫻井健一: 胃全摘術後のアルカリ性逆流性食道炎予防に対する下部食道括約筋温存について(ワークショップ 2: 胃切除後症候群の予防と治療), 第79回日本臨床外科学会総会, ワークショップ, 東京, 2017年12月23日.
5. 櫻井健一, 安達慶太, 窪田仁美, 鈴木周平, 原由紀子, 藤原麻子, 和賀瑛子, 渡邊美帆, 後藤洋伯, 禹由佳理, 榎本克久, 平野智寛, 富田涼一, 藤崎 滋: 高齢者局所進行(T4b)乳癌に対する手術療法の効用について(ワークショップ 23: 高齢者乳癌の治療上の問題点), 第79回日本臨床外科学会総会, ワークショップ, 東京, 2017年12月24日.

(2) 講演会・研究会・研修会での講演

記載事項なし

1. 所属構成員等

教 授 羽村 章 (併任), 沼部 幸博 (併任)
准 教 授 安藤 文人 (併任)
講 師 北原 和樹 (併任), 石黒 一美 (併任)
医 療 職 員 赤間 亮一 (併任)

2. 研究テーマ

- 1) 授業の教育設計分析と改善 Analysis of Learning Design and Learning Improvement.
- 2) 学内教育データの活用に関する研究 On-Campus Data Utilization: Institutional Research in Our University.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 石黒一美: 一般社団法人 日本レーザー歯学会 専門医取得, 専門医番号 第 222 号, 2017 年 1 月 14 日.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) ヒューマノイド歯科教育研究会第 1 回研究発表会, 大阪 (株式会社モリタプラザ OSAKA 2F 100 周年記念ホール), 2017 年 11 月 18 日, 羽村 章.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 文部科学省大学改革推進等補助金, 課題解決型高度医療人材養成プログラム (健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成), 「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム」(継続), 平成 26~30 年度, 地域連携と摂食支援, 羽村 章 (分担代表), ほかに 4 大学連携, 33,606,000 円, 平成 29 年度 4,776,000 円.
- 2) 科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~31 年度, 歯周病再発予防のための歯肉溝滲出液 (GCF) 検査法の開発, 沼部幸博 (代表), 伊藤 弘 (分担), 4,550,000 円, 平成 29 年度 1,560,000 円.
- 3) 平成 29 年度生命歯学部研究プロジェクト (学内研究), 公募研究 2 (新規), 平成 29 年度, 低出力レーザー照射による歯肉組織創傷治癒促進のメカニズム解明—バイオインフォマティクス解析ツールを用いた新たな解析—, 村檉悦子 (代表), 沼部幸博 (分担), 鈴木麻美 (分担), 石黒一美 (分担), 五十嵐 (武内) 寛子 (分担), 和田祐季 (分担), 3,000,000 円.

8. 研究業績

A. 著書

- 1) 羽村 章 (分担編集) : 疾患を有する高齢者の口腔健康管理, 一般財団法人口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN : 978-4-89605-336-4.
- 2) 羽村 章 (分担執筆) : 第 10 章 うつ病患者の口腔健康管理, 211-219, 羽村 章ほか (編集), 疾患を有する高齢者の口腔健康管理, 一般財団法人口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN : 978-4-89605-336-4.
2. 羽村 章 (分担執筆) : 第 7 章 訪問歯科診療における有病者歯科治療の実際 1. 訪問歯科患者の状況と歯科治療の留意点, 279-284, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 有病者歯科学, 有病者歯科学, 永末書店, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
3. 鴨井久一 (編著), 沼部幸博 (著) : 新・歯周病をなおそう 第 2 版, 砂書房, 東京, 2017, ISBN : 978-4-901894-64-7.
4. 1) 沼部幸博 (分担執筆) : Chapter 4 レーザーと生体反応 section 5 抗菌 PDT と LED の応用, 79-81, インプラント周囲炎とレーザー 効果的で安全なテクニックとエビデンスによる検証, 一般社団法人日本レーザー歯学会 (編), 渡辺 久 (監修), クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0558-8.
- 2) 関野 愉, 沼部幸博, 石黒一美, 村樫悦子, 伊藤 弘 (分担執筆) : Chapter 7 インプラント周囲炎へのレーザー治療の指針・クリニカルクエスション section 1 文献レビュー, 115-122, インプラント周囲炎とレーザー 効果的で安全なテクニックとエビデンスによる検証, 一般社団法人日本レーザー歯学会 (編), 渡辺 久 (監修), クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0558-8.
5. 沼部幸博 (分担執筆) : 6 章 メンテナンス・SPT 85 メンテナンスで何をみるのか, 133-135, 86 メンテナンスや SPT はどのくらいの間隔でおこなうのか, 136-137, 87 メンテナンスと SPT の違い, 138, 88 歯肉増殖症への対応, 139, 聞くに聞けない歯周病治療 100, 若林健史 (総監修), 小方頼昌 (監修), デンタルダイヤモンド社, 東京, 2018, ISBN : 978-4-88510-398-8.
6. 沼部幸博, 関野 愉 (分担執筆) : Part 2 第 1 章 1-2 高齢者における歯周病罹患率の推移から考える, 33-37, 患者さんのエイジングに備える 高齢者への歯周治療と口腔管理, 吉江弘正, 吉成伸夫, 米山武義 (監著), インターアクション, 東京, 2018, ISBN : 978-4-909066-05-3.
7. 沼部幸博 (監修) : マンガでわかる 歯と口の力 ステップアップガイド, 1-34, 東京法規出版, 東京, 2017.
8. 沼部幸博 (監修) : 口腔ケアで全身ケア, 歯周病予防ではじめよう健康づくり, 1-8, 株式会社ライズファクトリー, 東京, 2017.
9. 沼部幸博 (監修) : セルフケアと健診で歯と口の健康づくり, よい歯は一生の宝もの, 1-12, 東京法規出版, 東京, 2017.
10. 沼部幸博 (監修) : どうして私が保健指導? “歯や口” にトラブルはありませんか?, 1-2, 東京法規出版, 東京, 2017.
11. 北原和樹 (分担執筆) : 感染症化学療法, 549-553, 向精神薬, 559-560, 最新 口腔外科学 第 5 版, 榎本昭二, 道 健一, 天笠光雄, 小村 健 (監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45806-8.

B. 原著

1. *Ishii M. H, Murakashi E, Igarashi-Takeuchi H, Shoji H, Numabe Y : Alpha-Lipoic Acid inhibits NF-

- κB signal transduced inflammatory cytokines secretion in LPS-induced Human Gingival Fibroblasts, ○日歯周誌, 2017 ; 59 (1) : 28-38, doi : 10.2329/periodo.59.28. (学位論文)
2. *Uehara S, Ito H, Hashimoto S, Numabe Y : Relationship between bone-type alkaline phosphatase levels in gingival crevicular fluid and clinical parameters during supportive periodontal therapy, ○日歯周誌, 2018 ; 60 (1) : 26-34, doi : 10.2329/periodo.60.26. (学位論文)
 3. 沼部幸博, 村樫悦子 : Nd:YAG レーザー照射による細胞への生物学的効果, ○日レ医誌, 2017 ; 38 (2) : 145-152.
Numabe Y, Murakashi E : Biological Effect of Nd:YAG laser Irradiation on cultured cells, ○JJSLSM, 2017 ; 38 (2) : 145-152.
 4. Nomura Y, Morozumi T, Nakagawa T, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Sekino S (20th), Numabe Y (21st) (38 authors) : Site-level progression of periodontal disease during a follow-up period, ◇◎PLoS One, 2017 ; 12 (12) : e0188670, doi : 10.1371/journal.pone.0188670.
 5. Ichimaru R, Tominari T, Yoshinouchi S, Matsumoto C, Watanabe K, Hirata M, Numabe Y (7th) (11 authors) : Raloxifene reduces the risk of local alveolar bone destruction in a mouse model of periodontitis combined with systemic postmenopausal osteoporosis, ☆◎Arch. Oral Biol., 2018 ; 85 : 98-103, doi : 10.1016/j.archoralbio.2017.09.017.
 6. 沼部幸博 : 「メタボ」と「ペリオ」～多職種連携の共通言語を巡って～, ○日歯医師会誌, 2018 ; 70 (11) : 19-28.
 7. Kuraji R, Fujita M, Ito H, Hashimoto S, Numabe Y : Effects of experimental periodontitis on the metabolic system in rats with diet-induced obesity (DIO) : an analysis of serum biochemical parameters, ☆◎Odontology, 2018 ; 106 (2) : 162-170, doi : 10.1007/s10266-017-0322-5.
 8. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, ○日歯医療管理, 2017 ; 52 (2) : 115-119.
Ishigaki Y, Ando F, Kobayashi S, Kita D, Ootsu M, Mishiro F, Uchikawa Y : Clinico-statistical Observation of After-hours Consultation Patients at The Nippon Dental University Hospital, ○Jpn. J. Dent Prac. Admin., 2017 ; 52 (2) : 115-119.

C. 総説・解説

1. 羽村 章 (共著) : わが国の歯科大学・大学歯学部における老年歯科医学教育の実態, 伊藤加代子, 福島正義, 川良美佐雄, 阪口英夫, 大渡凡人, 小笠原正, 日山邦枝, 羽村 章, 櫻井 薫, 老年歯科医学, 32 (2) : 65-71, 一般社団法人日本老年歯科医学会, 東京, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 羽村 章 : Close Up 《未来の医療人を作る場》 徹底した現場主義で意欲的な人材の育成, 月刊医歯薬進学, 2017 (12) : 16-19, 2017.
2. 羽村 章 : 目指せ 8020～歯が元気なら体も元気～, きょうの健康, 347 : 16-17, 2017.
3. 沼部幸博 : 知識・技能・態度を学ぶ, MilchZahn, 平成 29 年度版 : 4, 2017.
4. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 1 ギネス認定の歯周病!, 安全と健康, 68 (7) : 82-83, 2017.
5. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 2 戦う相手をよく知ろう!, 安全と健康, 68 (8) : 82-83, 2017.
6. 沼部幸博 : 歯周病予防で健康寿命アップ 3 歯みがきか死か?～歯周病の危険因子とさまざまな

疾患との関係～，安全と健康，68（9）：86-87，2017.

7. 沼部幸博：歯周病予防で健康寿命アップ 4 歯周病予防の秘訣はプラークコントロールにあり！，安全と健康，68（10）：82-83，2017.
8. 沼部幸博：歯周病予防で健康寿命アップ 5 歯周病治療は根気よく続ける必要あり！，安全と健康，68（11）：82-83，2017.
9. 沼部幸博：歯周病予防で健康寿命アップ 6 歯周病対策と全身の健康，安全と健康，68（12）：80-81，2017.
10. 沼部幸博：すべてが「supreme」！，第 62 回富士見祭パンフレット，3，2017.
11. 沼部幸博：大学院生命歯学研究科歯周病学について，歯学，105（秋季特集号），31，2017.
12. 佐藤 巖，代居 敬，沼部幸博，関野 愉，倉治竜太郎，小森 成：ポストグラデュエート・コース<A コース>日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる—歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用—，日本歯科大学校友会・歯学会会報，43（2）：43-50，2017.
13. 沼部幸博：ステップアップ歯科衛生士 7step で挑戦！ザ・シャープニング（書評），デンタルハイジーン，37（11），1270，2017.
14. 石黒一美：基礎から学べる歯周治療，日本歯科大学校友会・歯学会会報，42（4）：53，2017.
15. 石黒一美：医学教育セミナーとワークショップ初参加，新しい医学教育の流れ，17（3）：271-274，2017.
16. 石黒一美：医学教育セミナーとワークショップ初参加，新しい医学教育の流れ，17（4）：355-358，2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 上原 直，伊藤 弘，沼部幸博，小川智久，川村弘樹，鈴木麻美，橋本修一：ポケットの分類による GCF 酵素量の比較～生化学マーカーから見た病状安定～，日歯周誌，59（春季特別号）：142，2017.
2. 藤田美也子，倉治竜太郎，伊藤 弘，戸田智幸，深田哲也，橋本修一，沼部幸博：高脂肪食摂取ラットの歯周組織に投与した *Porphyromonas gingivalis* 由来 LPS の動態，日歯周誌，59（春季特別号）：37，2017.
3. 倉治竜太郎，関野 愉，沼部幸博：リスクアセスメントに基づき広範型重度慢性歯周炎患者に歯周治療を行った一症例，日歯周誌，59（春季特別号）：156，2017.
4. 高橋亮一，関野 愉，伊藤 弘，沼部幸博：唾液検査，アンケート調査，および CPI による歯周疾患のスクリーニング検査の有用性の分析，日歯周誌，59（春季特別号）：136，2017.
5. 五十嵐（武内）寛子，沼部幸博：限局性重度慢性歯周炎を有する患者の一症例，日歯保誌（春季特別号）：103，2017.
6. 五十嵐（武内）寛子，沼部幸博：Er:YAG レーザーによるメラニン色素除去を行った一症例—フェノール法とレーザー法の比較—，第 29 回日本レーザー歯学会総会・学術大会抄録集，44，2017.
7. 仲谷 寛，大澤銀子，沼部幸博：歯周病学基礎実習におけるスケーリング・ルートプレーニングについての教授錯覚—歯石付実習棒の試用—，第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集，112，2017.

8. 滑川初枝, 青木春美, 田中とも子, 中西生美, 横澤 茂, 富永徳子, 沼部幸博, 松野智宣, 千葉忠成, 田谷雄二, 松岡孝典, 大津光寛, 仲谷 寛, 石田鉄光: 日本歯科大学生命歯学部第1学年PBL テュートリアル教育における意識調査—平成23年度と平成28年度との比較—, 第36回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 122, 2017.
9. 宮坂孝弘, 北原和樹, 小林さくら子, 菊池憲一郎, 新谷明一, 柴田 潔, 佐藤 勉, 内川喜盛, 大津光寛, 小川智久, 筒井健夫, 沼部幸博, 羽村 章: チーム基盤型学習法(TBL)を活用した禁煙支援教育への取り組み, 第36回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 134, 2017.
10. 伊藤 弘, 沼部幸博, 橋本修一, 伊藤明子, 永田達也, 濱田 亮: BOP検査に歯肉溝滲出液(GCF)のhemoglobin(Hb)検査併用の有用性, 日歯保誌(秋季特別号): 123, 2017.
11. 五十嵐(武内)寛子, 立花利公, 沼部幸博: ヒト歯肉線維芽細胞はニコチンを取り込み空胞変性を生じる, 日歯保誌(秋季特別号): 123, 2017.
12. 五十嵐(武内)寛子, 立花利公, 沼部幸博: ニコチンがヒト歯根膜由来内皮細胞に与える影響について, 第11回日本禁煙学会学術総会 プログラム・抄録集, 192, 2017.
13. 村樫悦子, 五十嵐寛子, 沼部幸博: Nd:YAGレーザー照射による細胞への生物学的効果, 第38回日本レーザー医学会総会 プログラム・講演抄録集, 270, 2017.
14. Takeuchi-Igarashi H, Kubota S, Tachibana T, Murakashi E, Takigawa M, Numabe Y: Matrix remodeling response of human periodontal fibroblasts and periodontal ligament cells towards fibrosis upon nicotine exposure, The 65th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research program, 113, 2017.
15. 沼部幸博: Nd:YAGレーザーの歯周治療応用におけるエビデンス, 第17回日本歯科用レーザー・ライト学会総会・学術大会抄録集, 22, 2017.
16. 関野 愉, 沼部幸博, 田村文誉, 菊谷 武: 介護老人福祉施設入居者の口腔衛生状態と歯周疾患罹患状況—検診事業開始10年後の観察研究—, 老年歯科医学, 32(2): 188-189, 2017.
17. 伊藤 弘, 橋本修一, 沼部幸博: 歯肉溝滲出液(GCF)におけるhemoglobin検査と歯周組織検査との比較, 日歯周誌, 59(60周年記念大会特別号): 37, 2017.
18. 呉 亞欣, 倉治竜太郎, 田谷雄二, 伊藤 弘, 沼部幸博: ラット実験的歯周炎におけるテアフラビンの組織炎症および骨吸収抑制効果に関する研究, 日歯周誌, 59(60周年記念大会特別号): 39, 2017.
19. 沼部幸博: 唾液を歯周病診断にどう利用するか?, 日歯周誌, 59(60周年記念大会特別号): 123, 2017.
20. 五十嵐(武内)寛子, 立花利公, 沼部幸博: ヒト歯周組織由来線維芽細胞, 血管内皮細胞および上皮細胞におけるニコチンの取り込みについての検討, 日歯周誌, 59(60周年記念大会特別号): 195, 2017.
21. 石黒一美, 呉 亞欣, 藤田美也子, 沼部幸博: 研究体験による歯学部学生に対する研究マインドの涵養—乳酸菌による歯周病原細菌の増殖抑制効果—, 日歯周誌, 59(60周年記念大会特別号): 205, 2017.
22. 倉治竜太郎, 橋本修一, 伊藤 弘, 沼部幸博: マウス口腔内実験に用いる開口器の開発と使用例—実験的歯周炎モデルへの応用—, 日歯周誌, 59(60周年記念大会特別号): 206, 2017.
23. 石井マイケル大宜, 関野 愉, 沼部幸博: 広範型慢性歯周炎に対して歯周外科処置を行った一症例, 日歯周誌, 59(60周年記念大会特別号): 214, 2017.
24. 松野智宣, 浅野一成, 北原和樹: FGF-2を局所除法するゼラチン/ハイドロキシアパタイト複合体顆粒による骨再生, 歯薬療法, 36: 77, 2017.

25. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, 日歯医療管理誌, 52 (1): 40, 2017.
26. 安藤文人, 小林みなみ: 矯正歯科における歯科衛生士の役割, 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 76 回, 125, 2017.
27. 鈴木 恵, 茂原宏美, 浦野瑤子, 小倉千幸, 池田亜紀子, 須田真理, 関口洋子, 市川順子, 野村正子, 合場千佳子, 池田利恵, 内川喜盛, 北原和樹, 佐藤 勉, 小口春久, 奈良陽一郎: 日本歯科大学東京短期大学におけるコミュニケーション学の効果と問題点, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 133, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 羽村 章: 健康長寿に貢献する歯科医療従事者を輩出する歯学教育, 日本学咬合学会第 35 回学術大会, 依頼講演, 東京, 2017 年 6 月 10 日.
2. 羽村 章: 支部組織・地域保健医療福祉検討委員会シンポジウム 地域歯科医療から学会を再考する, 第 28 回日本老年歯科医学会, シンポジウム, 名古屋, 2017 年 6 月 16 日.
3. 羽村 章: 診療参加型臨床実習に参加する学生への患者からの評価を考える, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, シンポジウム, 松本, 2017 年 7 月 29 日.
4. Hamura A: The effect of Xylitol in caries prevention, The 10th Vietnam International Dental Exhibition & Congress, 招待講演, ハノイ (ベトナム), 2017 年 8 月 24 日.
5. 沼部幸博: 超高齢社会に対峙する歯周治療～健康寿命延伸への挑戦～, GCF で探知する歯周病. 新たな検査の登場, 日本歯科大学歯周病学講座同門会沼部幸博教授就任 10 周年記念講演会, 日本歯科大学生命歯学部九段ホール, 東京, 2017 年 4 月 1 日.
6. 沼部幸博: Nd:YAG レーザーの歯周治療応用におけるエビデンス, 第 17 回日本歯科用レーザー・ライト学会総会・学術大会シンポジウム, 歯科医師会館大会議室, 東京, 2017 年 12 月 9 日.
7. 沼部幸博: 唾液を歯周病診断にどう利用するか?, 日本歯周病学会 60 周年記念京都大会シンポジウム I 「医科歯科連携を目指した歯周病の検査と診断」, 日本歯周病学会 60 周年記念京都大会シンポジウム, 京都国際会館, 京都, 2017 年 12 月 16 日.
8. 沼部幸博: 歯周組織検査の現在と未来. 歯周病を伝える検査を考える. 多職種連携に向けて, 日本大学松戸歯学部特別講演会, 日本大学松戸歯学部 MD ホール, 松戸, 2018 年 3 月 15 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 沼部幸博: CBT Type A, L, W, Q の作問方法, 岩手医科大学歯学部共用試験歯学系 CBT 問題作成に関わる FD 講習会, 岩手医科大学内丸キャンパス歯学部, 盛岡, 2017 年 4 月 22 日.
2. 沼部幸博: 免疫応答と組織変化, 日本歯科大学新潟生命歯学部第 3 学年交換講義, 日本歯科大学新潟生命歯学部講堂, 新潟, 2017 年 5 月 23 日.
3. 沼部幸博: 命をねらう歯周病, 歯周病と全身疾患との関わりとその仕組み, 全身の健康は口の中から, 医療技術セミナースキルアップ, スタンダード会議室銀座二丁目店, 東京, 2017 年 6 月 4 日.
4. 沼部幸博: CBT Type Q, Type W の作問法, 朝日大学歯学部共用試験歯学系 CBT 問題作成に関わる FD 講習会, 朝日大学歯学部講堂, 岐阜, 2017 年 6 月 6 日.
5. 沼部幸博: 生命歯学部の入試, 日本歯科大学入試学内説明会, 日本歯科大学生命歯学部九段ホール, 東京, 2017 年 7 月 2 日.

6. 沼部幸博：罹患率 8 割への挑戦—歯周病は治せないのか？そして歯科衛生士の役割は？—，秋田県歯科衛生士会講演会，秋田文化会館，秋田，2017 年 7 月 9 日。
7. 沼部幸博：加齢と歯周病：老年歯周病学の落とし穴，平成 29 年度日本歯科大学四国地区歯学研修会，ホテルクレメント徳島，徳島，2017 年 7 月 16 日。
8. 沼部幸博：第 111 回歯科医師国家試験について，平成 29 年度臨実ゼミナール，日本歯科大学生命歯学部 135 講堂，東京，2017 年 7 月 21 日。
9. 沼部幸博：歯周外科手術に必要な解剖，日本歯科大学校友会ポストグラデュエートコース，日本歯科大学生命歯学部 151 講堂・解剖学実習室，東京，2017 年 7 月 22・23 日。
10. 沼部幸博，関野 愉，倉治竜太郎：解剖標本観察 歯周病学的立場からの示説，日本歯科大学校友会平成 29 年度ポストグラデュエート・コース（A コース） 日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる—歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用—，日本歯科大学生命歯学部，2017 年 7 月 23 日。
11. 沼部幸博：歯医者さんになろう！，日本歯科大学生命歯学部オープンキャンパス，日本歯科大学生命歯学部 152 講堂，東京，2017 年 8 月 26 日。
12. 沼部幸博：20 年後の歯科医師の可能性と夢，平成 29 年度第 3 学年日本歯科大学ワークショップ講演，日本歯科大学生命歯学部富士見ホール，東京，2017 年 9 月 22 日。
13. 沼部幸博：歯周病専門医から学ぶ「歯周病と全身疾患との深いかかわり」—全身との関係，予防から治療法まで—，足立区歯周病予防教室，足立保健所 2 階会議室，東京，2017 年 11 月 17 日。
14. 沼部幸博：専門職が知っておきたい歯周病最前線，歯周病と全身疾患のエビデンス，平成 29 年度口腔保健支援センター医療従事者向け講演会，八王子医師会館，八王子，2017 年 11 月 22 日。
15. 沼部幸博：生命歯学部の概要，日本歯科大学・日本歯科大学校友会共催入試説明会，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2017 年 11 月 26 日。
16. 沼部幸博：命をねらう歯周病，歯周病予防で健康寿命アップ，千代田区民公開講座，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2018 年 2 月 15 日。
17. 沼部幸博：歯周病予防で健康寿命アップ!!～お口のケアですこやかなからだづくり～，墨田区民公開講座，墨田区リバーサイドホール，東京，2018 年 2 月 26 日。
18. 沼部幸博：歯科医師と喫煙，平成 29 年度第 4 学年臨床実習オリエンテーション，日本歯科大学附属病院牛込ホール，東京，2018 年 3 月 14 日。